

令和3年度入学生2年次開講

シラバス

幼児教育保育学科

幼児教育保育学科専門科目

音 楽	Ⅲ	松 井 典 子 柚 木 たまみ 他	180P
図 画 工 作	Ⅱ	安 井 良 尚	182P
造 形 保 育		吉 岡 千 尋	184P
幼 児 体 育	Ⅲ	山 中 博 史 北 尾 岳 夫	186P
情 報 処 理 基 礎	Ⅱ	林 泰 子	188P
算 数		久 米 央 也	190P
教 育 の 方 法 及 び 技 術		李 霞	192P
保 育 ・ 教 育 課 程 論		李 霞	194P
保 育 者 論		永 久 欣 也	196P
領 域 指 導 法 (人 間 関 係)		保 田 恵 莉	198P
乳 児 保 育 Ⅱ (A ・ C)		内 藤 幸 枝 杉 田 のり子	200P
乳 児 保 育 Ⅱ (B ・ D)		内 藤 幸 枝 杉 田 のり子	202P
特 別 支 援 教 育 (幼 教)		太 田 容 次	204P
子 ど も の 食 と 栄 養 (A ・ C)		原 知 子 小 谷 清 子	206P
子 ど も の 食 と 栄 養 (B ・ D)		原 知 子 小 谷 清 子	208P
子 ど も の 健 康 と 安 全		上 田 香	210P
子 ど も 理 解 と 援 助 の 心 理 学		菅 眞 佐 子	212P
幼 児 理 解 と 教 育 相 談		菅 眞 佐 子	214P
子 ど も 家 庭 支 援 論		前 川 頼 子	216P
臨 床 福 祉 学		田 中 彰	218P
子 ど も 家 庭 支 援 の 心 理 学		菅 眞 佐 子	220P
子 育 て 支 援		松 村 都 子	222P
地 域 福 祉 (幼 教)		岡 本 芳 也	224P
保 育 実 習 指 導 Ⅱ (保 育 所) A		三 上 佳 子 松 村 都 子 松 井 典 子	226P
保 育 実 習 指 導 Ⅱ (保 育 所) B		三 上 佳 子 松 村 都 子 松 井 典 子	228P
保 育 実 習 指 導 Ⅱ (保 育 所) C		三 上 佳 子 松 村 都 子 松 井 典 子	230P
保 育 所 実 習 Ⅱ		三 上 佳 子 松 村 都 子 松 井 典 子	232P
教 育 実 習 (事 前 事 後 指 導 を 含 む) 1		久 米 央 也 三 上 佳 子 柚 木 たまみ 菅 眞 佐 子	234P
教 育 実 習 (事 前 事 後 指 導 を 含 む) 2		久 米 央 也 三 上 佳 子 柚 木 たまみ 菅 眞 佐 子	236P

教育実習(事前事後指導を含む) 3	久三 米上 央佳 也子 三柚 木たま 菅眞 佐子	238P	
保育・教職実践演習(幼稚園)(A1C1)	三上 永久 久米 李	佳欣 子也 央也 霞	240P
保育・教職実践演習(幼稚園)(A2C2)	三上 永久 久米 李	佳欣 子也 央也 霞	242P
保育・教職実践演習(幼稚園)(B1D1)	三上 永久 久米 李	佳欣 子也 央也 霞	244P
保育・教職実践演習(幼稚園)(B2D2)	三上 永久 久米 李	佳欣 子也 央也 霞	246P
専門演習 I	北尾 岳夫	248P	
専門演習 I	柚木 たまみ	250P	
専門演習 I	深尾 秀一	252P	
専門演習 I	久米 央也	254P	
専門演習 I	李 霞	256P	
専門演習 I	三上 佳子	258P	
専門演習 I	松井 典子	260P	
専門演習 I	永久 欣也	262P	
専門演習 I	保田 恵莉	264P	
専門演習 I	菅 眞佐子	266P	
専門演習 II	北尾 岳夫	268P	
専門演習 II	柚木 たまみ	270P	
専門演習 II	深尾 秀一	272P	
専門演習 II	久米 央也	274P	
専門演習 II	李 霞	276P	
専門演習 II	三上 佳子	278P	
専門演習 II	松井 典子	280P	
専門演習 II	永久 欣也	282P	
専門演習 II	保田 恵莉	284P	
専門演習 II	菅 眞佐子	286P	
保育リ－ダ－論 II	三上 佳子	288P	
公務員教育保育職特別講義 II	久米 央也 松村 都子	290P	
専門演習 I	松村 都子	292P	
専門演習 II	松村 都子	294P	

幼児教育保育学科選択自由科目

レクリエーション演習(幼教)	山中 博史	296P
レクリエーション指導法実習(幼教)	山中 博史	298P

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
音楽Ⅲ	松井 典子(専任) 袖木たまみ(専任) 他	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Music Ⅲ							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・伴奏を簡易化できる知識を身に付け、コード奏による弾き歌いのレパートリーを増やす。 ・童謡弾き歌いのレパートリーを増やすとともに、伴奏技術を高める。 ・より音楽的な演奏が出来るようにピアノ演奏技術や表現力の向上を目指し、実践することができる。							
授業の内容 国際バカロレア (IB) 認定校のプライマリー・イヤーズ・プログラム (PYP) において幼児音楽教育の実務経験を持つ教員による演習授業である(松井)。 音楽Ⅰ・Ⅱで修得したピアノ奏法を基に応用、発展し学外実習や卒業後、現場で活用することができる実践力を身につける。 クラス授業〔45分〕では、主要三和音・コードネームを理解し、童謡の簡易伴奏付け、伴奏形のアレンジ、活動目的に応じたリズム遊びの伴奏法について学びを深める。また、コードによる簡易伴奏付けによる弾き歌いのレパートリーの強化を行う。クラス授業の弾き歌いでは、ピアノ片手連弾奏を適宜取り入れ、旋律と伴奏のバランス、歌唱と伴奏のバランスを考え、弾き歌いの技能のスキルアップを目指す。 ピアノレッスン〔45分〕は3人単位のグループで、1人15分の個人レッスンを行う。コードネームによる童謡の伴奏付けと、音楽表現の幅を広げる目的で「ブルグミュラー25の練習曲」「ソナチネアルバム」「ソナタアルバム」など個々の進度に応じた楽曲の習得を目指す。							
教科書	『子どもの音楽表現・うたあそび』 袖木たまみ 松井典子他 (三学出版) 価格(本体2,100円+税) 『ピアノへのアプローチ 4 steps』 伊藤 嘉子他 (音楽之友社) 価格(本体2,600円+税)						
参考書	授業内で適宜提示する						
担当者からのメッセージ	ピアノ教則本は、「バイエル」「ブルグミュラー25の練習曲」「ソナチネ」「ソナタ」等 個々の演奏技能に応じて担当者が指示します。本授業は、学外実習や卒業後、現場で弾き歌いやリズム遊びに即実践することができるピアノ奏法を身に付けることを目的としています。楽器演奏の習得は、日々の練習の積み重ねが大切です。15回の授業には、必ず復習・予習し、ピアノ課題を練習して臨んでください。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	授業内で行う課題や試験は、個々にコメントし、今後の練習方法をアドバイスする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	受講態度				
	小テスト	20	歌唱テスト(弾き歌い課題)				
	定期試験	50	ピアノ実技試験				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	松井研究室 火曜日 12時15分～12時50分 その他随時受付(電子メールによる事前予約が望ましい)						
担当教員E-mail	n-matsui@sumire.ac.jp (松井)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	音楽Ⅱの振り返り 音楽Ⅲの課題を発表 音程について(長三和音、短三和音、減三和音、増三和音) ピアノ個人レッスン	松井 他	講義と演習	音楽Ⅱの振り返りをしておく ピアノ曲の練習	210
2 /	短音階について(イ短調を例に挙げて) 長音階の復習 主要三和音について ピアノ個人レッスン	松井 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
3 /	前回の振り返り 主要三和音について コードネームについて ピアノ個人レッスン	松井 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
4 /	主要三和音について コードネームの解説(C Major) コードネームによる弾き歌いモデル1 ピアノ個人レッスン (C Major)	松井 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
5 /	コードネームの解説(C Major) 和音の転回と連結 コードネームによる弾き歌いモデル2 (C Major) 伴奏形のアレンジ ピアノ個人レッスン	松井 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
6 /	コードネームの解説(G Major) 和音の転回と連結 コードネームによる弾き歌いモデル1 (G Major) ピアノ個人レッスン	松井 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
7 /	コードネームの解説(G Major) 和音の転回と連結 コードネームによる弾き歌いモデル2 (G Major) 伴奏形のアレンジ ピアノ個人レッスン	松井 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
8 /	G Majorのまとめ コードネームによる弾き歌いモデル3 (G Major) 伴奏形のアレンジ ピアノ個人レッスン	松井 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
9 /	コードネームの解説(F Major) 和音の転回と連結 コードネームによる弾き歌いモデル1 ピアノ個人レッスン	松井 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
10 /	コードネームの解説(F Major) コードネームによる弾き歌いモデル2 伴奏形のアレンジ ピアノ個人レッスン	松井 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
11 /	F Majorのまとめ コードネームによる弾き歌いモデル3 伴奏形のアレンジ ピアノ個人レッスン	松井 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
12 /	コードによる弾き歌いモデルの振り返り1 歌唱テスト(弾き歌い課題曲から)の予告 ピアノ個人レッスン	松井 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習 歌唱試験課題の練習	210
13 /	コードによる弾き歌いモデルの振り返り2 歌唱試験課題の練習 ピアノ個人レッスン	松井 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習 歌唱試験課題の練習	210
14 /	歌唱テスト ピアノ個人レッスン	松井 他	歌唱テスト	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習 歌唱試験課題の復習	210
15 /	まとめ 振り返りと成果の確認 ピアノ個人レッスン	松井 他	演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
図画工作Ⅱ	安井 良尚(非常勤)	2年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
Arts and Crafts II							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・保育における実践的展開を支える基礎技能として、造形表現の基本的な、空間、形、質感、量感、構成などを学び理解する。 ・作品制作体験を通して、造形の分野でこどもの表現を積極的に展開できる基本的事項とその要因を理解する。 ・自らの感性を磨き、造形の分野での表現を積極的にできる。							
授業の内容 造形表現の分野の、空間・形・構成の基礎について学ぶ。様々な素材を使いながら立体作品や版画を制作することにより、材料や用具の特性や取り扱いに慣れるとともに、造形表現活動の楽しさを感じ、自らの感性や表現力を磨く。併せて、幼児の表現の姿やその発達理解と幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などについて実践的に学ぶ。 なお授業では、PCやスマートフォンを利用し、Google Classroom を使用し課題提出や評価に使用する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	毎回授業の初めに課題制作についての説明を行います。制作のための汚れてもいい服装など準備も大事なポイントです。教科書は図画工作Ⅰで購入したものを 사용합니다。積極的に課題制作に取り込みましょう。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	課題制作作品については、個々評価し返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	授業に対する主体的な学びを評価する				
	小テスト	10	理解度確認のためのテストを実施				
	定期試験						
	レポート						
	その他	70	各課題の、造形表現における基本的事項について評価する				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	8回目の授業を公開する(参加の2週間前までにご連絡ください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	釘うちあそび 1 木片材料の切断	安井	講義と演習 課題作品制作	道具の使い方をまとめ、実際に使えるように理解する	90
2 /	釘うちあそび 2 くぎ打ち、完成、提出	安井	演習 課題作品制作	必ず授業前までに、部品の木片を切断しておき釘が打てる状態しておく	90
3 /	土粘土による表現1 基本パーツの制作	安井	演習 粘土を使った活動を体験	教科書を参考にし、土粘土の制作過程をしっかりと学んでおく	90
4 /	土粘土による表現2 組み立て	安井	講義と演習 課題作品制作 課題作品の完成予想図を制作	乾燥の進み方に注意し湿度を調整しておく	90
5 /	土粘土による表現3 成形の完成	安井	演習 課題作品制作 完成予想図をもとにパーツ制作	組み立てられた作品の乾燥度合いを調節し素焼きまでしっかりと乾燥させる	90
6 /	版画による表現1 紙版画版の制作	安井	演習 課題作品制作 パーツを合体させ成形	授業をまとめ、教科書の版画のところをしっかりと読み理解する	90
7 /	版画による表現2 スチレン版画版の制作	安井	演習 課題作品制作	紙版画 スチレン版を完成し、刷り前日までにのりを乾燥させる	90
8 /	版画による表現3 紙版画、スチレン版の刷り	安井	演習 課題作品制作	刷りを行った状況や、環境設定をまとめる	90
9 /	紙を使った表現	安井	演習 課題作品制作	紙による、3次元表現の可能性についてまとめておく	90
10 /	グリーティングカード1 構想と試作	安井	演習 課題作品制作	立体カードの基本を考えておく	90
11 /	グリーティングカード2 完成	安井	演習 課題作品制作	相手の情報や、相手への思いをカードの表現する手法を調べておく	90
12 /	総合技法による表現1 保育の構想	安井	演習 グループワーク 課題作品制作	表現の技法集を参考に原画を完成させる	90
13 /	総合技法による表現2 教材及びオブジェの制作	安井	演習 グループワーク 課題作品制作	教材や部品を完成させる	90
14 /	総合技法による表現3 作品の完成と展示	安井	演習 グループワーク 課題作品制作	課題制作をとおして学んだことをまとめる	90
15 /	土粘土による表現4 作品焼成後の着色仕上げ、提出 & 総括(小テスト)	安井	講義と演習 課題作品制作	図画工作Ⅱで学んだことをまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
造形保育	吉岡 千尋(非常勤)	2年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
Creative Art in Childcare							
資格等取得との関連		保育士資格の選択					
授業の到達目標 ・ 幼児の自由な造形表現活動を保障し、安心安全に育てる上での必要な配慮や内容について理解する。 ・ 環境設定や、造形素材や用具類の扱いから、準備、片付け、保管方法に至る具体的手順を身に付け、保育現場で活かせることができる。							
授業の内容 保育者は、モノと戯れる中で生み出される幼児の造形を、開かれた心で受けとめることが要求される。また、幼児の描きつくるそのあるがままの姿を、幼児の側に立って、とらわれのない目でしっかりと見据えることが重要である。さらに、幼児が安心して安全に造形活動が行えるような環境や素材への理解を深めなければならない。この授業では、幼児の造形表現の特色・意義を考え、具体的な配慮や内容のあり方について演習の中から学ぶ。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	卒業後すぐに活躍できるだけの力をつけるために、準備から場の設定、後片付けに至るまで、すべて受講生の手で行います。積極的に制作活動を楽しみ、主体的にグループ活動にも参加し、意欲的な学習態度で取り組んでください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出課題については、評価し返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	70	各課題に対する主体的な学びを評価				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート						
	その他	30	制作課題作品を評価				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	c-yoshioka@sumire.ac.jp (吉岡)						
教員相互授業参観	13回目の授業を公開する（参加の2週間前までにご連絡ください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 保育と造形教育について 教材や素材全般の基礎知識 紙による型取り	吉岡	講義と演習	造形表現と保育について講義をまとめる 保育所、幼稚園で使用されている 造形素材について、調べてまとめる	90
2 /	ハロウィンのための造形活動(1) 紙によるカボチャからの型取り1 ランタンの制作	吉岡	演習	保育における造形と季節・生活とのつながりについて学ぶ	90
3 /	ハロウィンのための造形活動(2) 紙によるカボチャからの型取り2 ランタンの完成	吉岡	演習	準備や活動の流れをまとめる	90
4 /	幼児の造形素材と技法研究(1) 絵の具での表現	吉岡	演習 グループ活動	言葉との関係、造形表現方法として学ぶ オノマトペを絵の具によって表現する	90
5 /	幼児の造形素材と技法研究(2) 絵の具であそぶ	吉岡	演習 グループ活動	絵の具の表現性、筆や描画用具の制作、からだ全体を使ったドリッピングなどの表現についてまとめる	90
6 /	幼児の造形素材と技法研究(3) 造形あそび1 小麦粉粘土	吉岡	演習 グループ活動	造形あそびのための環境設定や流れをまとめる	90
7 /	幼児の造形素材と技法研究(4) 造形あそび2 緩衝材(エココーン)で遊ぶ	吉岡	演習 グループ活動	造形あそびのための環境設定や流れをまとめる	90
8 /	幼児の造形素材と技法研究(5) 砂場であそび1 管理と準備	吉岡	演習 グループ活動	砂場の管理などについて学ぶ	90
9 /	幼児の造形素材と技法研究(6) 砂場であそび2	吉岡	演習 グループ活動	準備や活動の流れをまとめる	90
10 /	幼児の造形素材と技法研究(7) 版画遊び1 凸凹を刷りとる	吉岡	演習	レリーフなどの凸凹を写し取る	90
11 /	幼児の造形素材と技法研究(8) 版画遊び2 色であそぶ	吉岡	演習	スタンピングなどの間接表現について学ぶ	90
12 /	幼児の造形素材と技法研究(9) おもちゃの制作	吉岡	演習	動く仕組みのあるおもちゃについて学ぶ	90
13 /	幼児の造形素材と技法研究(10) おもちゃの完成	吉岡	演習 グループ活動	完成したものを使えるように調整しておく	90
14 /	様々な表現について まとめ	吉岡	演習	課題プリントを完成させる	90
15 /	多様な幼児の造形表現の理解と総括	吉岡	講義	多様な造形表現について調査しまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
幼児体育Ⅲ	山中 博史(専任) 北尾 岳夫(専任)	2年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
Physical Education and Exercise for Children Ⅲ							
資格等取得との関連	保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・幼児体育Ⅰ・Ⅱで得た指導法等を活かして、実際に園児の指導ができることを目指す。							
授業の内容 幼児体育Ⅰ・Ⅱで得た指導法等を元に、実際に子どもへ運動指導を行う。幼児体育Ⅲは附属幼稚園の協力を得て、すみれルームに参加する園児の体育活動の補助や、実際の指導を行う。これらの体験を通じて、幼児の実態を捉え、自分と幼児の認識の違いを知り、運動あそび等の指導力向上を目指す。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	本演習は、短大の附属幼稚園の協力のもと、すみれルームに参加する園児を対象に指導を行う。特に安全面での配慮を十分にしてもらいたい。 受講態度は、演習に積極的に参加しているかどうかで評価します。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	指導の前に指導案をWordを使用して作成し、担当の教員に提出して指導を受けること。 指導後は振り返りを行い、次の指導に活かすこと。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	積極的に保育に関わっているかを評価する				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	20	振り返りのレポートを提出し、評価する				
	その他	30	園児の指導が適切に行われているか評価する				
自由記載							
オフィスアワー	山中研究室 月～水曜日 16時30分～18時 北尾研究室 月～木曜日 16時30分～18時						
担当教員E-mail	hyamanaka@sumire.ac.jp (山中) t-kitao@sumire.ac.jp (北尾)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	授業の全体を把握する	北尾 山中	講義	実施要項の理解	90
2 /	器具を使わない体育遊びの教材研究	北尾 山中	グループワーク	指導案の作成	90
3 /	器具を使わない体育遊びの指導	北尾 山中	実習	指導の振り返り	90
4 /	縄を使った体育遊びの教材研究	北尾 山中	グループワーク	指導案の作成	90
5 /	縄を使った体育遊びの指導	北尾 山中	実習	指導の振り返り	90
6 /	マットを使った体育遊びの教材研究	北尾 山中	グループワーク	指導案の作成	90
7 /	マットを使った体育遊びの指導	北尾 山中	実習	指導の振り返り	90
8 /	巧技台を使った体育遊びの教材研究	北尾 山中	グループワーク	指導案の作成	90
9 /	巧技台を使った体育遊びの指導	北尾 山中	実習	指導の振り返り	90
10 /	トランポリンを使った体育遊びの教材研究	北尾 山中	グループワーク	指導案の作成	90
11 /	トランポリンを使った体育遊びの指導	北尾 山中	実習	指導の振り返り	90
12 /	ボールを使った体育遊びの教材研究	北尾 山中	グループワーク	指導案の作成	90
13 /	ボールを使った体育遊びの指導	北尾 山中	実習	指導の振り返り	90
14 /	それぞれのクラスで園児の希望する体育遊びの指導	北尾 山中	実習	指導の振り返り	90
15 /	振り返り・レポート	北尾 山中	講義	今までを振り返りレポート作成	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
情報処理基礎Ⅱ	林 泰子(非常勤)	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
Basic Information Processing Ⅱ							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修						
授業の到達目標 ・表計算ソフトの基本操作ができる。また表計算ソフトを応用して、効率の良い業務活動をすることができる。 ・プレゼンテーションソフトの基本操作ができる。また、幼児教育教材作成ができる。 ・社会人としての情報モラル・個人情報について理解を深めることができる。							
授業の内容 表計算ソフト「Excel」の基本的な操作（計算処理、関数機能、グラフ作成）ができるようになり、会計報告書の作成や園児台帳の作成など保育者として必要なスキルを学ぶ。また、プレゼンテーションソフト「Power Point」を活用し、幼児教育に活かせる教材を作成する。さらに、保育現場における個人情報の取り扱いや情報モラルについて講義、演習を通して事例をもとに学んでいく。							
教科書	『保育者のためのパソコン講座—Windows10/8.1/7 Office2010/2013/2016対応版』 阿部正平・阿部和子・二宮祐子（萌文書林） 価格（本体2,000円＋税）						
参考書	適宜紹介する						
担当者からのメッセージ	きっちりと出席し、授業中の課題をしっかりとこなしていきましょう。そしてパソコン等を活用してさまざまなことが出来るようになりましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	Google Classroomを使用し、課題提出をしてもらいます。そして、Google Classroomを使用し、フィードバックします。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業中に取り組んだ課題をGoogle Classroomを使って提出する				
	小テスト	30	授業中にコンピュータを使った実技試験を行う				
	定期試験						
	レポート						
	その他	20	課題プレゼンテーションについて、内容および表現方法を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	y.hayashi@ashiya-u.ac.jp（林）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション ワードの復習とエクセルの説明	林	講義とパソコンを用いた演習	パソコンの基本的な操作方法を復習する	30
2 /	エクセルの基本操作(1)簡単な計算	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
3 /	エクセルの基本操作(2)ワークシートの書式設定	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
4 /	エクセルの基本操作(3)データベース機能	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
5 /	エクセルの基本操作(4)グラフの作成と編集	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
6 /	エクセルの基本操作(5)関数による計算	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
7 /	エクセルの応用 ワードへの活用	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
8 /	エクセルの実技試験	林	パソコンを用いた実技試験	講義で学んだことを振り返り総復習する	30
9 /	情報モラルと個人情報の管理	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
10 /	パワーポイントの基本操作(1)スライドの作成	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
11 /	パワーポイントの基本操作(2)画像の挿入・アニメーションの設定	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
12 /	電子紙芝居の作成(計画)	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
13 /	電子紙芝居の作成(コンテンツの作成)	林	講義、パソコンを用いた演習、アクティブ・ラーニング	講義で学んだことを復習する	30
14 /	電子紙芝居の作成(編集と発表準備)	林	講義とアクティブ・ラーニング	講義で学んだことを復習する	30
15 /	課題発表・相互評価	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
算 数	久米 央也(専 任)	2年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
Elementary Mathematics							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の選択						
授業の到達目標 ・小学校学習指導要領に示されている「算数科」のねらい、学習内容を理解する。 ・小学校における「算数科」の指導方法を知ること、幼児教育と小学校教育の学び方を比較し「共通点」と「相違点」を考察することができる。 ・幼児教育における数学的思考の芽生えを生み出す環境について調べることができる。							
授業の内容 幼稚園教育要領には「数量・図形の関心、感覚」を育成することが明記されている。幼児期に「数量・図形の関心、感覚」を育てるための環境構成や援助について学んでいく。小学校における算数科の授業の実際を知ること、幼児教育と小学校教育の「共通点」と「相違点」を学び、保育の「学び」の本質について理解を深める。また、算数的活動の事例を学び、算数が好きになる遊びや教材を実際に作っていく。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	幼稚園教育要領の領域「環境」では、数量・図形への興味や関心、感覚を養うことが明記されている。幼児期にどのような算数的活動を体験すればよいのか、そのためにどんな遊びや教材などを用意すればいいのかについて実際に教材を作ったり遊んだりして学んでいく。また小学校算数科では、どんなことをどんな風に学んでいくのかを知ること、幼児期にすべきことを考えていく。成績評価の授業態度では、積極的にディスカッションに参加したり、発表したりする姿から評価していく。算数科に興味を持ち、考えることを楽しむ姿勢を持つことが大切である。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	課題については、解説を加えた後、回収しコメントをつけて返却します。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	積極的に授業に参加しているかを評価する				
	小テスト						
	定期試験	50	授業で学んだことを理解しているかを評価する				
	レポート	20	授業の終わりに出す課題に丁寧に取り組んでいるかを評価する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	久米研究室 火曜日 12時15分～12時50分（事前に連絡をください）						
担当教員E-mail	h-kume@sumire.ac.jp（久米）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 幼児教育にとって「算数」を学ぶことの意義 について	久米	講義と演習	講義のまとめと復習	90
2 /	小学校学習指導要領を読み解く(ねらい、領域、学習内容、配列) 幼稚園教育要領にある算数を知る 1対1対応	久米	講義と演習	小学校学習指導要領・幼稚園 教育要領を読む・講義のまとめ	90
3 /	数と計算領域1 数の概念(記号としての数) 数絵本の作成	久米	講義と演習	講義のまとめと復習 数絵本を完成する	90
4 /	数と計算領域2 数の合成・分解 十進位置取り数法の誕生、ハルカリゲーム	久米	講義と演習	講義のまとめと復習	90
5 /	数と計算領域3 大きな数の表し方 すごろくの制作	久米	講義と演習	講義のまとめと復習 すごろくを完成する	90
6 /	数と計算領域4 加法・減法 手遊び歌の中にある算数	久米	講義と演習	講義のまとめと復習	90
7 /	数と計算領域5 かけ算 幼児期のかけ算場面	久米	講義と演習	講義のまとめと復習	90
8 /	測定領域(1) 長さ、面積、体積の直接比較、任意単位、普通 単位による比較	久米	講義と演習	講義のまとめと復習	90
9 /	幼児の遊びに隠れている算数的活動を調査す る	久米	講義と演習	講義のまとめと復習 実習で見つけた算数的活動を まとめる	90
10 /	測定領域(2) 日常生活にある時間と時刻 時計絵本の制作	久米	講義と演習	講義のまとめと復習 時計絵本を完成する	90
11 /	図形領域 三角形、四角形、正方形、長方形、直角三角 形、はこの形 幼児期の形とのかかわり	久米	講義と演習	講義のまとめと復習	90
12 /	変化と関係領域 伴って変わる二つの数量の関係 折り紙の研究 数学的思考の芽生えについて	久米	講義と演習	講義のまとめと復習	90
13 /	かたち絵本の作成 データの活用領域 表とグラフ 幼児期の遊びの中の算数について調査・研究	久米	講義と演習	調査したことをまとめる かたち絵本を完成する	90
14 /	数学的思考の芽生えについて 幼児期の遊びの中の算数について調査・研究 のまとめ	久米	講義と演習	調査したことをまとめる	90
15 /	数学的思考の芽生えについて 手遊び歌の研究 調査・研究したことのまとめ、振り返り	久米	講義と演習	講義のまとめと復習	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
教育の方法及び技術	李 霞(専 任)	2年次	後期	2	演習	選択	○
							実務経験
Technical Methods of Teaching							
資格等取得との関連		幼稚園教諭二種免許の必修					
授業の到達目標 ・ 幼児教育・保育の特徴を知る。 ・ 幼児教育・保育に関する理論と実践の方法を習得する。 ・ 子どもに寄り添い、自らの実践について反省する態度を養う。 ・ これからの幼児教育・保育のあり方について理解を深める。 ・ コンピューターやタブレット等の情報機器を使い、幼児の興味を引き出す教材づくりを行う。							
授業の内容 平成29年に『幼稚園教育要領』や『保育所保育指針』が新たに改訂された。今回の改訂により、幼児教育の重要性が再確認され、幼児の発達や学びの連続性を確保しながら、とりわけ家庭・地域と連携し、意図的・計画的に保育環境を整えることのできる保育者の育成が求められるようになった。このような資質を持つ保育者の育成を目指して、本授業では、発達と教育に関する理論と方法を中心に検討を行い、特に幼児理解に基づいた具体的な保育場面における保育者の援助のあり方について、事例を中心に議論していく。また総合的な知見を広げるために、諸外国の幼児教育の方法についても深く学習する。 なお、コンピューターやタブレットの使用が幼児教育段階にも普及しつつある現状から、これらの情報機器を用いて幼児の興味を引き出す教材開発のできる保育者の育成も視野に、授業では積極的にコンピューターやタブレット等の情報機器を活用する。 講義（視聴覚教材を含む）を中心に、個人ワークやグループワークも取り入れる。							
教科書	なし						
参考書	新しい保育・幼児教育方法（広岡義之編、ミネルヴァ書房） 保育・幼児教育方法（小田 豊・中坪史典編、建帛社） 幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省） 幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府）ほか						
担当者からのメッセージ	授業内ではそれぞれの考えを発表するアクティブ・ラーニングを重視する。 毎回授業の終わりにその時間に学んだことや考えたことをミニレポートという形でまとめて提出する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回、授業を受けた感想を一枚ミニレポートに書く。 授業内容に対する学生たちの理解を深めるために、重要な視点・論点が含まれるものは授業開始時にスライドにて紹介する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	ポートフォリオの記入内容や予習・復習用のワークシートを評価の対象である				
	小テスト						
	定期試験	40	授業内容全体に対する理解度				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	月・火曜日12:15~12:45 李研究室にて 事前にsumireにて連絡ください。（お名前・相談事項・希望入室時間を明示すること）						
担当教員E-mail	k-lee@sumire.ac.jp（李）						
教員相互授業参観	7~13回公開、二週間前まで連絡ください						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 現代の子ども事情と幼児教育の基本	李	講義及び演習	予習 予習用ワークシートを配り、 次回の授業内容について調べ 学習を行ってもらう	60
2 /	諸外国における幼児教育の方法(北欧)	李	講義及び演習	予習 授業で取り扱い内容について調べ 学習を行い、予習用のワークシ ートに関連情報を記入してもらう	60
3 /	諸外国における幼児教育の方法(仏独)	李	講義及び演習	予習 授業で取り扱い内容について調べ 学習を行い、予習用のワークシ ートに関連情報を記入してもらう	60
4 /	諸外国における幼児教育の方法(英米)	李	講義及び演習	予習 授業で取り扱い内容について調べ 学習を行い、予習用のワークシ ートに関連情報を記入してもらう	60
5 /	諸外国における幼児教育の方法(オセアニア)	李	講義及び演習	予習 授業で取り扱い内容について調べ 学習を行い、予習用のワークシ ートに関連情報を記入してもらう	60
6 /	諸外国における幼児教育の方法(アジア)	李	講義及び演習	予習 授業で取り扱い内容について調べ 学習を行い、予習用のワークシ ートに関連情報を記入してもらう	60
7 /	保育方法の本質について考える	李	講義及び演習	予習 授業で取り扱い内容について調べ 学習を行い、予習用のワークシ ートに関連情報を記入してもらう	60
8 /	幼児理解と保育者の援助 ・幼児理解とは？ ・幼児理解のプロセス ・幼児理解の手立て ・幼児理解の更新	李	講義及び演習	予習 授業で取り扱い内容について調べ 学習を行い、予習用のワークシ ートに関連情報を記入してもらう	60
9 /	幼児の遊びと発達	李	講義及び演習	予習 授業で取り扱い内容について調べ 学習を行い、予習用のワークシ ートに関連情報を記入してもらう	60
10 /	幼児の遊びの発展と保育者の援助	李	講義及び演習	予習 授業で取り扱い内容について調べ 学習を行い、予習用のワークシ ートに関連情報を記入してもらう	60
11 /	人との関わりを持つ力を育てるためにⅠ 協同する経験と保育者の援助	李	講義及び演習	予習 授業で取り扱い内容について調べ 学習を行い、予習用のワークシ ートに関連情報を記入してもらう	60
12 /	人との関わりを持つ力を育てるためにⅡ 幼児同士のトラブルと保育者の援助	李	講義及び演習	予習 授業で取り扱い内容について調べ 学習を行い、予習用のワークシ ートに関連情報を記入してもらう	60
13 /	連続性を踏まえた保育と保育者の援助	李	講義及び演習	予習 授業で取り扱い内容について調べ 学習を行い、予習用のワークシ ートに関連情報を記入してもらう	60
14 /	幼児教育の教材開発Ⅰ ・幼児教育現場に生きる教材開発のアイ ディア	李	講義及びグループワーク	予習 グループごとでオリジナルな幼児 教育教材の開発を行い、その成果 の発表に向けて作業をしておく	60
15 /	幼児教育の教材開発Ⅱ ・教材開発の実践	李	講義及びグループワーク	予習 グループごとでオリジナルな幼児 教育教材の開発を行い、その成果 の発表に向けて作業をしておく	60
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
保育・教育課程論	李 霞(専 任)	2年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
Childcare, curriculum theory							
資格等取得との関連		幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修					
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程・保育課程の歴史の変遷を把握する。 ・教育課程・保育課程の編成をめぐる現状を知る。 ・幼稚園・保育園・保育者が抱える今日的な課題を把握する。 ・教育課程・保育課程の編成の基本的原理と基礎的技法を学習し、運用する力を身につける。 授業の内容 <p>教育保育課程論は、教育・保育の目的や目標を達成するための組織的な教育・保育計画について論究する科目である。教育・保育計画は日々の教育・保育活動を展開するための依拠であり、その編成においては、教育・保育実践を展開していく上での指針となる方向性（目標）、内容、方法、評価についての理解が求められる。</p> <p>本授業では、教育課程・保育課程の歴史の変遷や、教育課程・保育課程をめぐる現状とともに、幼稚園・保育園・保育者が抱える今日的な課題を把握し、教育課程の編成に関わる基本的な知識・技能を習得し、それらを運用する力を身につけることを目指す。</p> <p>講義（視聴覚教材を含む）を中心に、個人ワークやグループワークも取り入れる。</p>							
教科書	なし						
参考書	保育とカリキュラム（ひかりのくに出版社）ほか 幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省） 幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府）						
担当者からのメッセージ	授業内ではそれぞれの考えを発表するアクティブ・ラーニングを重視する。 毎回授業の終わりにその時間に学んだことや考えたことをミニレポートという形でまとめて提出する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回、授業を受けた感想を一枚ミニレポートに書く。 授業内容に対する学生たちの理解を深めるために、重要な視点・論点が含まれるものは授業開始時にスライドにて紹介する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	ミニレポートの記入内容や予習・復習用のワークシートを評価の対象である				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	40	授業の内容全般についての理解度を評価する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	月・火12：15～12：45 李の研究室にて（事前にsumireメールで連絡ください。お名前・相談事項・来室時間を明記すること）						
担当教員E-mail	k-lee@sumire.ac.jp（李）						
教員相互授業参観	10～15回目公開、二週間前に連絡してください						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション：教育・保育課程とは	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	復習 授業プリントを授業後に読み返して復習し、授業で学んだことを確実に身につけること。	60
2 /	教育課程・保育課程の歴史	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	復習 授業プリントを授業後に読み返して復習し、授業で学んだことを確実に身につけること。	60
3 /	近年の教育課程・保育課程の動向	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	復習 授業プリントを授業後に読み返して復習し、授業で学んだことを確実に身につけること。	60
4 /	教育・保育における指導計画	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	復習 授業プリントを授業後に読み返して復習し、授業で学んだことを確実に身につけること。	60
5 /	指導計画作成の基本	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	復習 授業プリントを授業後に読み返して復習し、授業で学んだことを確実に身につけること。	60
6 /	計画に必要な子ども理解	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	復習 授業プリントを授業後に読み返して復習し、授業で学んだことを確実に身につけること。	60
7 /	幼稚園における教育課程と指導計画 （「カリキュラム・マネジメント」の内容を含む）	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	復習 授業プリントを授業後に読み返して復習し、授業で学んだことを確実に身につけること。	60
8 /	保育所における保育課程と指導計画 （「カリキュラム・マネジメント」の内容を含む）	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	復習 授業プリントを授業後に読み返して復習し、授業で学んだことを確実に身につけること。	60
9 /	認定子ども園における教育・保育課程と指導計画 （「カリキュラム・マネジメント」の内容を含む）	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	復習 授業プリントを授業後に読み返して復習し、授業で学んだことを確実に身につけること。	60
10 /	0歳児の指導計画	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	復習 授業プリントを授業後に読み返して復習し、授業で学んだことを確実に身につけること。	60
11 /	1～2歳児の指導計画	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	復習 授業プリントを授業後に読み返して復習し、授業で学んだことを確実に身につけること。	60
12 /	3～5歳児の指導計画	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	復習 授業プリントを授業後に読み返して復習し、授業で学んだことを確実に身につけること。	60
13 /	指導計画作成しようⅠ	李	班ごとに指導計画を作成する	予習 次回の授業のために、指導計画を構想する	60
14 /	指導計画作成しようⅡ	李	班ごとに指導計画を作成する	予習 次回の授業のために、指導計画を構想する	60
15 /	指導計画発表会	李	班ごとに作成した指導計画を発表する	予習 発表に向けて、作成した指導計画を練り直す	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
保育者論	永久 欣也(専 任)	2年次	前期	2	講義	必修	○
							実務経験
Introduction to Teacher Education							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・保育者・保育職の存在意義や職業的特性および専門性について理解することができる。 ・保育に関する諸課題を認識し、課題解決に向けて論理的に自らの考えを言語化することができる。 ・保育者・保育職の本質を捉え、求められる役割や資質能力を理解することで具体的ななかかわりの土台を構築する。 ・保育所およびその他の児童福祉施設、幼稚園、幼保連携型認定こども園等におけるチーム組織・チーム学校運営としての対応および必要性を理解する。 							
授業の内容 <p>幼稚園(kinder garten)を創設したフレーベルは、保育者を「園丁」(Gartner)のような存在だと考えた。保育者とは、幼児一人ひとりが自己の可能性や個性を生き生きと発揮できるよう、植物でいうところの陽の光や水、土や養分を整える存在だからである。授業では、個人ワークとグループディスカッションを通して、保育・学校教育を中心とする今日の社会的課題への理解を多角的に深めていく。その際、歴史・思想・制度も手がかりのひとつとする。現代社会において求められる保育者・保育職の専門性や意義・役割・キャリア形成について考える。また、対人援助職である保育職において、保育所およびその他児童福祉施設、幼稚園、認定こども園等が果たすチーム組織・チーム学校運営としての対応および必要性を理解する。</p>							
教科書	『最新保育講座2 保育者論』 汐見稔幸・大豆生田啓友編 (ミネルヴァ書房) 価格(本体2,200円+税)						
参考書	幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領ほか授業にて随時紹介						
担当者からのメッセージ	授業時における積極的な質問はおおいに歓迎。また、新聞やニュースなどの「保育者」に関する時事的な事柄にも関心を深めてほしい。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出課題は内容を確認し、不十分な点やさらに内容が豊かになるための記述方法などを授業において全体に説明するとともに個別にも対応する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	授業への積極的な取り組みの姿勢				
	小テスト						
	定期試験	60	授業理解の確認				
	レポート						
	その他	20	提出課題の有無や内容				
自由記載							
オフィスアワー	永久研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 事前にメール等での連絡があれば他の時間への調整は可						
担当教員E-mail	k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 「保育者になるということ」	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
2 /	子どもを取り巻く環境の変化	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
3 /	保育・幼児教育の特性	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
4 /	保育者の専門性 1 「幼児理解」	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
5 /	保育者の専門性 2 「社会理解」	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
6 /	保育者の専門性 3 「多文化共生の保育」	永久	講義 課題を提出	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
7 /	子どもの「人権」について考える	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
8 /	「見えやすい」専門性と「見えにくい」専門性について	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
9 /	中間まとめ	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
10 /	保護者や家庭と共に歩む	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
11 /	保育者の成長と同僚関係	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
12 /	保育者の専門性への再考察	永久	講義 課題を提出	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
13 /	保育者と地域社会	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
14 /	省察的保育者について	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
15 /	総括 「理想的保育者とは」	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
領域指導法(人間関係)	保田 恵莉(専 任)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Instruction Method of area (Human Relations)							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・幼稚園教育要領・保育所指針などに示された領域「人間関係」のねらい及び内容について述べるができる。 ・領域「人間関係」のねらいや及び内容について、その背景となる専門領域と関連させて理解できる。 ・幼児の発達に即して、具体的な指導場面を想定した保育を構想し実践する方法（指導案など）を述べ、実施することができる。 ・保育・教育において育みたい資質・能力を踏まえ、乳幼児の発達に即した主体的なコミュニケーション力を自ら獲得できる。							
授業の内容 本講義は、領域「人間関係」の観点やねらい及び内容を学ぶために、基礎的な知識のみではなく、教育・保育現場での事例検討なども実施する。具体的には、幼児が（１）幼稚園・保育所等での生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わうことができ、（２）身近な人と親しみ、かかわりを深め、愛情や信頼感などをもつことができ、（３）社会生活における望ましい習慣や態度を身に付けることができるように、コミュニケーションを含めた人間関係の基礎的な知識の修得と援助・指導の具体的な方法などについて学ぶ。さらに、幼児を中心とした人間関係の広がりや子育ての今日的意義、小学校との連携等についても学んでいく。なお、本講義では、グループワークの授業を中心に実施するので、積極的な参加を重視する。							
教科書	『『生活事例から始める 保育内容人間関係』 徳安敦・阪上節子編著（青鞞社） 価格（本体2,000円＋税）						
参考書	保育所指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園保育教育要領						
担当者からのメッセージ	本授業は、アクティブ・ラーニングの手法で実施するので、学生の積極的な参加を重視する。授業の詳細は、第1回目に説明をする。評価は、課題として毎回提出する「テーマシート」及び授業内で実施する発表、授業の理解力等を総合的に判断する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	15回の授業後に試験(持込み可)を実施する。毎回課題を「テーマシート」として実施し、次週に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	小テスト						
	定期試験	50	理解度確認のための試験を実施する(持込み可)				
	レポート	30	毎時授業後の小レポート				
	その他	20	ノート、グループワーク、指導計画案作成				
	自由記載						
オフィスアワー	保田研究室 木曜日 13時00分～14時30分 事前に連絡してください 質問などは、授業終了後にも受け付けます						
担当教員E-mail	e-yasuda@sumire.ac.jp（保田）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	イントロダクション －授業の進め方及び『人間関係』をなぜ勉強するのか－	保田	講義とグループ討議	教科書を読む 講義内容をまとめる	60
2 /	「人間関係」 幼児の援助・指導でどのような点を重視しますか？	保田	講義とグループ討議	教科書を読む 講義内容をまとめる	60
3 /	3歳未満児の発達と人間関係の育ち、どのような点を重視しますか？	保田	講義とグループ討議	教科書を読む 講義内容をまとめる	60
4 /	3歳以上児の発達と人間関係の育ち、どのような点を重視しますか？	保田	講義とグループ討議	教科書を読む 講義内容をまとめる	60
5 /	グループワーク1 －「やさしさ」を育てるには？－	保田	グループ討議と発表	教科書を読む 講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
6 /	グループワーク2 －「自立心」を育てるには？－	保田	グループ討議と発表	教科書を読む 講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
7 /	グループワーク3 －「協同性」を育てるには？－	保田	グループ討議と発表	教科書を読む 講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
8 /	グループワーク4 －「感謝の気持ち」を育てるには？－	保田	グループ討議と発表	教科書を読む 講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
9 /	グループワーク5 －「道徳性・規範意識の芽生え」を育てるには？－	保田	グループ討議と発表	教科書を読む 講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
10 /	グループワーク6 －園で気になる子、どう関わりますか－	保田	グループ討議と発表	教科書を読む 講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
11 /	グループワーク7 －こどもにとっての『あそび』とは？－	保田	グループ討議と発表	教科書を読む 講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
12 /	グループワーク8 －幼児の援助・指導でどのような点を重視しますか：指導案の作成－	保田	グループで指導案作成	教科書を読む 指導案を完成させる	60
13 /	グループワーク9 －指導案を実際にしてみよう：模擬活動の準備－	保田	グループで教材作成	模擬授業に向けて教材を完成させる	90
14 /	グループワーク10 －指導案を実際にしてみよう：模擬活動の実施－	保田	模擬授業	模擬授業の反省をまとめる・評価表を確認する	90
15 /	まとめ －幼稚園教諭・保育者と係わる人たち－	保田	グループ討議と発表	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
乳児保育Ⅱ (A・C)	内藤 幸枝(非常勤) 杉田のり子(非常勤)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Theory of Baby Care Ⅱ							
資格等取得との関連	保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・3歳未満児の発育・発達のプロセスや特性を踏まえた援助や関わりの方針について理解する。 ・養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。 ・乳児保育における配慮の実践について、具体的に理解する。 ・上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、具体的に理解する。							
授業の内容 乳児保育に携わり、現在も現役である担当教員により、リアルタイムでの保育の実際を学ぶ。 乳児保育Ⅰで学んだ基本をさらに深めるとともに、アクティブ・ラーニングとして実際の子どもの姿から発育・発達を踏まえた生活と遊びについて学ぶ。 保育所保育指針に基づいた保育のねらい・内容・環境・援助・配慮を、実際に子どもの姿から考え、意見交換等により多様に理解を深め、計画の大切さを学ぶ。 就学前までの保育を見通して、乳児保育の重要性を再認識すると共に、子どもと保育士、保護者と保育士、保育現場の職員間などの連携の大切さを知り、子どもの育ちを中心とした最善の利益がもたらされる保育とは何かを学ぶ。							
教科書	『シードブック 乳児保育Ⅰ・Ⅱ - 科学的観察力と優しい心 - 』 古橋紗人子 中谷奈津子 (建帛社) 価格(本体2,000円+税)						
参考書	月刊「保育とカリキュラム」(ひかりのくに)						
担当者からのメッセージ	自主的に予習をおこない授業に臨む姿勢が必要である。授業中のグループ討議や課題に対しても積極的に取り組む姿勢を重視する。 また、疑問点を調べたり、ディスカッションすることで学びを深めたことや、授業内容、考察の記入内容について確認し、平常点として評価する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	必要に応じて添削したり、授業中に解説等を行い、適宜返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	授業内容のまとめやグループ討議の参加度、ノート提出、課題提出等積極的な授業参加				
	小テスト	40	まとめ授業時に乳児保育Ⅱの授業内容全般についての理解度確認				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載	ノート提出や必要に応じてのレポート提出を課す。最終授業で振り返りのテストをおこなう。						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	乳児の発育・発達を踏まえた生活の援助の実際 食事・食育	杉田	講義演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
2 /	乳児の発育・発達を踏まえた生活の援助の実際 排泄・着脱・まとめ	杉田	講義演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
3 /	乳児の発育・発達を踏まえた生活の援助の実際 生活リズム	杉田	講義演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
4 /	まとめ(1~4の振り返り)	杉田	講義演習 まとめ(1~4の振り返り テスト)	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
5 /	子育て支援 子育て支援の必要性	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、授業内容を まとめ、予習学習をする	90
6 /	子育て支援の姿勢と保育所の特性	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習を する	90
7 /	乳児保育における今後の課題と展望	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習を する	90
8 /	まとめ(5~8の振り返り)	内藤	講義 グループ討議 まとめ(5~8の振り返り テスト)	テキストを読み、予習学習を する 乳児保育Ⅱを通してのまとめ をする	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
乳児保育Ⅱ (B・D)	内藤 幸枝(非常勤) 杉田のり子(非常勤)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Theory of Baby Care Ⅱ							
資格等取得との関連	保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・3歳未満児の発育発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。 ・養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。 ・乳児保育における配慮の実際について、具体的に理解する。 ・上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、具体的に理解する。							
授業の内容 乳児保育に携わり、現在も現役である担当教員により、リアルタイムでの保育の実際を学ぶ。 乳児保育Ⅰで学んだ基本をさらに深めるとともに、アクティブ・ラーニングとして実際の子どもの姿から発育・発達を踏まえた生活と遊びについて学ぶ。 保育所保育指針に基づいた保育のねらい・内容・環境・援助・配慮を、実際に子どもの姿から考え、意見交換等により多様に理解を深め、計画の大切さを学ぶ。 就学前までの保育を見通して、乳児保育の重要性を再認識すると共に、子どもと保育士、保護者と保育士、保育現場の職員間などの連携の大切さを知り、子どもの育ちを中心とした最善の利益がもたらされる保育とは何かを学ぶ。							
教科書	『シードブック 乳児保育Ⅰ・Ⅱ - 科学的観察力と優しい心 - 』 古橋紗人子 中谷奈津子 (建帛社) 価格(本体2,000円+税)						
参考書	月刊「保育とカリキュラム」(ひかりのくに)						
担当者からのメッセージ	自主的に予習をおこない授業に臨む姿勢が必要である。授業中のグループ討議や課題に対しても積極的に取り組む姿勢を重要視する。 疑問点を調べたり自分の意見をまとめ、さらに他者の意見も参考にしながら、学びを深める過程や授業内容、考察の記入内容について理解度を確認し、平常点として評価する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	必要に応じて添削したり、授業中に解説等を行い、適宜返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	授業内容のまとめやグループ討議の参加度、ノート提出、課題提出等積極的な授業参加				
	小テスト	40	まとめ授業時に乳児保育Ⅱの授業内容全般についての理解度確認				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載	ノート提出や必要に応じてのレポート提出を課す。最終授業で振り返りのテストをおこなう。						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	子育て支援 子育て支援の必要性	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、授業内容を まとめる	90
2 /	子育て支援の姿勢と保育所の特性	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習を する	90
3 /	乳児保育における今後の課題と展望	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習を する	90
4 /	まとめ (1~4の振り返り)	内藤	講義 グループ討議 まとめ (1~4の振り返り テスト)	テキストを読み、予習学習を する	90
5 /	乳児の発育・発達を踏まえた生活の援助の実際 食事・食育	杉田	講義演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
6 /	乳児の発育・発達を踏まえた生活の援助の実際 排泄・着脱・清潔	杉田	講義演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
7 /	乳児の発育・発達を踏まえた生活の援助の実際 生活リズム	杉田	講義演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
8 /	まとめ (5~8の振り返り)	杉田	講義演習 まとめ (5~8の振り返り テスト)	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする 乳児保育Ⅱを通してのまとめ をする	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
特別支援教育(幼教)	太田 容次(非常勤)	2年次	後期	1	講義	選択	○
							実務経験
							○
Special Needs education							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の選択						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・特別の支援を必要とする子どもの障害の特性及び心身の発達を理解する。 ・特別の支援を必要とする子どもの教育課程及び支援の方法を理解する。 ・障害はないが特別の教育的ニーズのある子どもの学習上又は生活上の困難とその対応を理解する。 ・将来教員や保育者として求められる社会人基礎力を、講義を聴くだけでなく、演習などを通して主体的に向上させる。 							
授業の内容 <p>特別支援学校(知・肢・病)で勤務経験を持つ教員が担当する。</p> <p>幼稚園や保育園、認定こども園等に、発達障害や知的障害をはじめとする障害や、障害はないが特別の教育的ニーズがある特別な支援が必要な幼児(以下、子どもと記す)が在籍している。教員や保育士は、子ども一人一人が実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるよう、学習上または生活上の困難を理解することが必要である。また、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関等と連携しながら組織的に指導・支援していくことも求められる。この科目では、専門職として将来働くために必要な特別支援教育に関する最低限の知識や支援方法の基礎・基本を理解し、実際の場面で生かすことを目標とする。そのために、アクティブラーニングの一環として、具体的な問題となる事例を考え、グループ討議して、意見交換、発表という学びの形態を講義の中で取り入れる。</p>							
教科書	『教員と教員になりたい人のための特別支援教育のテキスト―気付き、工夫して、つなげる。(教育ジャーナル選書)』 小林 倫代, 藤井 茂樹, 廣瀬 由美子, 星 祐子 (学研プラス) 価格(本体1,980円+税)						
参考書	特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編(幼稚園・小学部・中学部)/文部科学省/開隆堂出版/2018/9784304042294 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編(幼稚園・小学部・中学部)/文部科学省/開隆堂出版/2018/9784304042317						
担当者からのメッセージ	卒業後、必要な基礎的な知識・技能を身につけるだけでなく、専門職として求められる社会人基礎力の考え方を理解し、将来発揮できることを期待している。そのためにレポートのみで評価するのではなく、講義で示すルーブリックの項目を基に、総合的に評価する。ルーブリックの評価基準の例として、「講義に出席するだけで、特別支援教育について、自ら考え学ぼうとする態度が見られない。」などを示している。そのため担当者が、出席しているだけで、寝ている、スマホ等を操作している、その他学ぼうとする姿勢が見られないと判断した場合は、出席していても欠席と判断する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	講義を中心に、演習も必要に応じて行う。授業後に学修したことを振り返るために、Google Classroomで振り返りレポートを提出する。その中で共有すべき情報や課題、疑問については、次の授業で全体にフィードバックを行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	Google Classroomでの毎回の振り返りレポート(到達目標1~4に対応)				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	40	期末の個別レポート(到達目標1~3に対応)				
	その他	20	発表や授業参画等をルーブリックから総合的に評価(到達目標4に対応)				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける また、電子メールでの質問等は随時受け付ける						
担当教員E-mail	h-oota@sumire.ac.jp(太田)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	特別支援教育に関する制度の理念や仕組み (インクルーシブ教育システム含む)の理解	太田	講義中心 学んだことをもとに学習	教科書の該当ページを事前に 読み予習し、本時の授業ノート を見直し、追記すること	60
2 /	発達障害や軽度知的障害をはじめとする特別 の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の心 身の発達、心理的特性及び学習の過程の理解	太田	講義中心 学んだことをもとに学習	教科書の該当ページを事前に 読み予習し、本時の授業ノート を見直し、追記すること	60
3 /	視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・ 病弱等を含む様々な障害のある幼児、児童及 び生徒の学習上又は生活上の困難について基 礎的な知識を身に付ける	太田	講義中心 学んだことをもとに学習	教科書の該当ページを事前に 読み予習し、本時の授業ノート を見直し、追記すること	60
4 /	発達障害や軽度知的障害をはじめとする特別 の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対 する支援の方法について例示することができる	太田	講義中心 学んだことをもとに学習	教科書の該当ページを事前に 読み予習し、本時の授業ノート を見直し、追記すること	60
5 /	「通級による指導」及び「自立活動」の教育 課程上の位置付けと内容の理解	太田	講義中心 学んだことをもとに学習	教科書の該当ページを事前に 読み予習し、本時の授業ノート を見直し、追記すること	60
6 /	個別の指導計画及び個別の教育支援計画を作 成する意義と方法の理解	太田	講義中心 学んだことをもとに学習	教科書の該当ページを事前に 読み予習し、本時の授業ノート を見直し、追記すること	60
7 /	特別支援教育コーディネーター、関係機関・ 家庭と連携しながら支援体制を構築すること の必要性の理解	太田	講義中心 学んだことをもとに学習	教科書の該当ページを事前に 読み予習し、本時の授業ノート を見直し、追記すること	60
8 /	母国語や貧困の問題等により特別の教育的 ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又 は生活上の困難や組織的な対応の必要性の理 解	太田	講義中心 学んだことをもとに学習	教科書の該当ページを事前に 読み予習し、本時の授業ノート を見直し、追記すること	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子どもの食と栄養(A・C)	原 知子(非常勤)	2年次	後期	2	演習	選択	○
	小谷 清子(非常勤)						実務経験
Food and Nutrition for Child-care							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
授業の到達目標 ・知識・理解：食を食べること・食事に関する基礎知識を修得する。子どもの食生活の現状と課題を把握し、食育の重要性を理解する。 ・思考・判断：子どもの食生活において想定されるさまざまな問題を科学的な根拠に基づいて考え、対応する能力を身につける。 ・関心・意欲：心が食べる、という観点から食卓のあり方を考えることができる。また、食生活の文化的側面にも関心を持つ。 ・態度：子どもの食生活に保育者としてかかわることの責任の大きさに対して自覚を持つ。 ・技能・表現：地域や家庭と連携して、こどもの健全な食生活の設計に積極的にかかわることができる。							
授業の内容 幼少期の食生活は、生涯にわたる健康の基礎となる。食生活の意義や栄養に関する基本的知識を学び、こどもの成長および発達と食生活の関連について理解を深める。 食育の基本とその実際について、地域社会や文化とのかかわりの中で理解する。 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について、また、特別な配慮を必要とする子どもの食と栄養について理解する。 子どもたちに「食事は楽しいものである」と感じられるように環境を考え、食育事業や保護者への支援ができるようになるための知識理解や演習を行う。							
教科書	『最新子どもの食と栄養－食生活の基礎を築くために』 飯塚・瀬尾・曽根・濱谷（学建書院） 価格（本体2,400円＋税）						
参考書	子どもの食と栄養 演習書 小川雄二（医歯薬出版） 新版 子どもの食生活－栄養・食育・保育－上田玲子（ななみ書房） 子どもの食と栄養 堤ちはる・土井正子（明文書林） など						
担当者からのメッセージ	調理師・栄養士に任せてしまうのではなく、子どもの食事に楽しんで積極的にかかわれるようになってください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	練習問題により授業内容を確認する。 提出レポートについて、興味深い内容を講義内にてコメント紹介する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	5	授業への積極的な参加を評価				
	小テスト						
	定期試験	80	筆記試験により授業内容の理解度を評価				
	レポート	15	授業内の課題レポートを評価				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	原：授業終了後に教室で質問を受け付ける 小谷：授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	t-hara@sumire.ac.jp（原） odani@st.sumire.ac.jp（小谷）						
教員相互授業参観	第2回～第13回を公開します（参観予定を1週間前までにあらかじめご連絡願います）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	子どもの健康における栄養・食事・食生活の意義、 保護者支援と家庭における食事の役割	原	講義・演習	教科書の関連項目第1章を読んでおく	45
2 /	子どもの発達・発育と食行動、 妊娠期	原	講義・演習	教科書の関連項目第3章Bを読んでおく	60
3 /	乳汁栄養・調乳法	原	講義・演習	教科書の関連項目第3章Cを読んでおく	45
4 /	離乳・離乳食、 献立作成と調理の基本	原	講義・演習	教科書の関連項目第3章Cを読んでおく	45
5 /	幼児期の食生活	原	講義・演習	教科書の関連項目第3章Dを読んでおく 課題作成	60
6 /	幼児期の間食 食文化と行事食	原	講義・演習 アクティブ・ラーニング	教科書の関連項目第3章Dを読んでおく 課題作成	60
7 /	食育の基本と内容	原	講義・演習	教科書の関連項目第4章を読んでおく 課題作成	60
8 /	子どもの発育・発達の特徴、 栄養状態の評価	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第3章Aを読んでおく	45
9 /	栄養に関する基本知識(三大栄養素)、 消化吸収	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第2章B・C を読んでおく	45
10 /	栄養に関する基本知識(ビタミン・ミネラル・ 水)	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第2章Bを読んでおく	45
11 /	食事摂取基準・食生活指針・食事バランスガ イドについて	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第2章A・D を読んでおく バランスガイドをマスターす る	60
12 /	疾病および体調不良の子どもへの対応	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第6章を読んでおく	45
13 /	食物アレルギーのある子どもへの対応	小谷	講義・演習 アクティブラーニング	教科書の関連項目第6章を読んでおく	45
14 /	児童福祉施設における食事と栄養、 保育所給食、衛生管理	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第5章を読んでおく	45
15 /	まとめ	原 小谷	講義・演習	プリント・ノートの総まとめ をする	120
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子どもの食と栄養(B・D)	原 知子(非常勤)	2年次	後期	2	演習	選択	○
	小谷 清子(非常勤)						実務経験
Food and Nutrition for Child-care							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・知識・理解：食を食べること・食事に関する基礎知識を修得する。子どもの食生活の現状と課題を把握し、食育の重要性を理解する。 ・思考・判断：子どもの食生活において想定されるさまざまな問題を科学的な根拠に基づいて考え、対応する能力を身につける。 ・関心・意欲：心が食べる、という観点から食卓のあり方を考えることができる。また、食生活の文化的側面にも関心を持つ。 ・態度：子どもの食生活に保育者としてかかわることの責任の大きさに対して自覚を持つ。 ・技能・表現：地域や家庭と連携して、こどもの健全な食生活の設計に積極的にかかわることができる。 							
授業の内容 <p>幼少期の食生活は、生涯にわたる健康の基礎となる。食生活の意義や栄養に関する基本的知識を学び、こどもの成長および発達と食生活の関連について理解を深める。</p> <p>食育の基本とその実際について、地域社会や文化とのかかわりの中で理解する。</p> <p>家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について、また、特別な配慮を必要とする子どもの食と栄養について理解する。</p> <p>子どもたちに「食事は楽しいものである」と感じられるように環境を考え、食育事業や保護者への支援ができるようになるための知識理解や演習を行う。</p>							
教科書	『最新子どもの食と栄養－食生活の基礎を築くために』 飯塚・瀬尾・曽根・濱谷（学建書院） 価格（本体2,400円＋税）						
参考書	子どもの食と栄養 演習書 小川雄二（医歯薬出版） 新版 子どもの食生活－栄養・食育・保育－上田玲子（ななみ書房） 子どもの食と栄養 堤ちはる・土井正子（明文書林） など						
担当者からのメッセージ	調理師・栄養士に任せてしまうのではなく、子どもの食事に楽しんで積極的にかかわれるようになってください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	練習問題により授業内容の理解を確認する。 提出レポートについて、興味深い内容を講義内にて紹介する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	5	授業への積極的な参加を評価				
	小テスト						
	定期試験	80	筆記試験により授業内容の理解度を評価				
	レポート	15	授業内の課題レポートを評価				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	原：授業終了後に教室にて質問を受け付ける 小谷：授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	t-hara@sumire.ac.jp（原） odani@st.sumire.ac.jp（小谷）						
教員相互授業参観	第2回～第13回を公開します（参観予定を1週間前までにあらかじめご連絡願います）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(幼DP1)【専門知識と教養】</p> <p>子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。</p>						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	子どもの発育・発達の特徴、 栄養状態の評価	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第3章Aを 読んでおく	45
2 /	栄養に関する基本知識(三大栄養素)、 消化吸収	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第2章B・C を読んでおく	45
3 /	栄養に関する基本知識(ビタミン・ミネラル・ 水)	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第2章Bを 読んでおく	45
4 /	食事摂取基準・食生活指針・食事バランスガ イドについて	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第2章A・D を読んでおく 食事バランスガイドをマス ターする	60
5 /	疾病及び体調不良の子どもへの対応	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第5章を読 んでおく	45
6 /	食物アレルギーのある子どもへの対応	小谷	講義・演習 アクティブラーニング	教科書の関連項目第6章を読 んでおく	45
7 /	児童福祉施設における食事と栄養、 保育所給食、 衛生管理	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第6章を読 んでおく	45
8 /	子どもの健康における栄養・食事・食生活の 意義、 保護者支援と家庭における食事の役割	原	講義・演習	教科書の関連項目第1章を読 んでおく	45
9 /	妊娠期、 子どもの発達・発育と食行動	原	講義・演習	教科書の関連項目第3章Bを 読んでおく	45
10 /	乳汁栄養・調乳法	原	講義・演習	教科書の関連項目第3章Cを 読んでおく	45
11 /	離乳・離乳食、 献立作成と調理の基本	原	講義・演習	教科書の関連項目第3章Cを 読んでおく	45
12 /	幼児期の食生活	原	講義・演習	教科書の関連項目第3章Dを 読んでおく、課題作成	60
13 /	幼児期の間食、 食文化と行事食	原	講義・演習 アクティブ・ラーニング	教科書の関連項目第3章Dを 読んでおく	60
14 /	食育の基本と内容	原	講義・演習	教科書の関連項目第4章を読 んでおく	60
15 /	まとめ	小谷 原	講義・演習	プリント・ノートの総まとめ をする	120
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子どもの健康と安全	上田 香(非常勤)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Health and security of child							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。 ・保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策について、具体的に理解する。 ・子どもの体調不良などに対する適切な対応について、具体的に理解する。 ・保育における感染症対策について、具体的に理解する。 ・子どもの発達や状態等に即した適切な対応について、具体的に理解する。 ・子どもの健康及び安全の管理に関わる、組織的取組や保健活動の計画及び評価等について、具体的に理解する。 							
授業の内容 <p>保育所や子育て支援において、子どもの健康管理や保育保健活動の実際を経験した専門職（看護師）により、1年次に学んだ「子どもの保健」の基礎知識を基に、保育所保育指針第3章「健康及び安全」を踏まえ、感染症や事故及び災害から子どもを守るために保育者として、必要な知識と具体的な方法等について講義する。</p> <p>また、アレルギー対応、感染症対策、事故防止及び事故発生時の対応の授業では、グループワークや演習を通じて具体的な対応を学ぶ。</p>							
教科書	『演習 子どもの保健Ⅱ 第2版』 今井七重編（株式会社みらい） 価格（本体2,200円＋税）						
参考書	「今日から役立つ保育園の保健の仕事」 東社協保育士会保健部会編集 定価（本体2,300円＋税） 赤ちゃんとママ社発行						
担当者からのメッセージ	<p>教科書を基本に授業を進めます。予習復習に努め、ノートへの記録も必要です。ノートの提出を求める場合もあります。授業で配付する資料やプリントは、大切にファイルしてください。</p> <p>授業態度は、保育の資格を取る者としての自覚を持ち、私語は慎み、携帯電話等授業に不要なものは机の上に置かないようにしてください。</p> <p>授業中の態度も評価の対象になります。</p>						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	<p>次回の授業で、課題の中の特徴的な見解や誤解についてコメントする。</p>						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	私語は慎み、教科書忘れなどのないよう注意する。				
	小テスト						
	定期試験	70	理解度確認のためのテストを実施する。				
	レポート	10	課題により実践能力や意欲を確認する。				
	その他	10	必要に応じた課題を考える。				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける。						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。</p> <p>(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。</p> <p>(幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。</p> <p>(幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。</p>						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 子どもの保育にかかわる保健活動 保育における健康観察1 健康観察の意義 健康観察の方法	上田	講義 課題1を与える	講義内容をまとめ、保健計画 を作成する 各目のバイタルサインを記録 する	90
2 /	保育における健康観察2 発育の観察と評価 発達の観察と評価	上田	講義	講義内容をまとめる	90
3 /	子どもの保健と環境 子どもの病気と適切な対応1 子どもの病気の特徴、起こりやすい症状とケア	上田	講義 DVD視聴	講義内容およびDVD視聴内容を まとめる	90
4 /	子どもの病気と適切な対応2 冷却用具の種類と作り方、薬の与え方 個別的な配慮を必要とする子どもへの対応 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン	上田	講義 DVD視聴	講義内容およびDVD視聴内容を まとめる	90
5 /	事故防止および健康安全管理 教育、保育施設等における事故防止及び事故 発生時の対応のためのガイドライン	上田	講義	講義内容をまとめる	90
6 /	救急蘇生法およびその他の救急処置	上田	講義 DVD視聴	講義内容およびDVD視聴内容を まとめる	90
7 /	感染症の予防と対策 保育所における感染症対策ガイドライン	上田	講義	講義内容をまとめる	90
8 /	母子保健対策と集団保育における健康管理 復習とまとめ	上田	講義	これまでの講義内容を振り返り、 復習しておく	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子ども理解と援助の心理学	菅 眞佐子(専 任)	2年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
Psychology of child understanding and care							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・ 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関するさまざまな理論の理解を深める。 ・ 発達を踏まえた学習を支える指導に関する基礎的な考え方の理解を深める。							
授業の内容 一人一人の子どもによりそい適切に援助していくためには、子どもを理解しその行為の意味を丁寧に読み取るための視点とそれを発達過程において位置づける力を持つことが肝要である。このような視点や力をつけるために、この授業では、これまで学んできた発達や学習、援助に関わる理論を整理しとらえ直して、子どもを深く理解しそれを具体的な援助に繋いでいける力の定着をめざす。							
教科書	『よくわかる！保育士エクササイズ8 子ども理解と援助 演習ブック』 松本峰雄 監修（ミネルヴァ書房） 価格（本体2,500円＋税）						
参考書	適宜紹介する						
担当者からのメッセージ	心理学についてこれまで学んできたことをしっかりと消化し自分のものにしていくために、事例についての意見交換・討論やグループワークを多く取り入れます。積極的に参加して、一人一人の子どもと向かい合い援助していくための自分らしい取り組みのありかたを探っていきましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回、授業のまとめの課題を行い、Google Classroomを利用して評価・フィードバックを行います。また、理解を確認するための小テスト・レポートを随時実施し、授業内でクラス全体にフィードバックします。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	授業のまとめの課題と受講態度を評価します				
	小テスト	20	授業内で小テストを課します				
	定期試験						
	レポート	20	授業内でレポートを課します				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	菅研究室 前期火曜日12：15～12：45、後期金曜日12：15～12：45 事前にメールでの連絡をお願いします。 授業終了後にも質問等を受け付けます。						
担当教員E-mail	m-suga@sumire.ac.jp（菅（すが））						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	子どもの発達と保育実践1(実態に応じた発達や学びの把握)	菅	講義、アクティブ・ラーニング	授業内容の復習 テキストの予習	60
2 /	子どもを理解する視点1(子どもの生活と遊び)	菅	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容の復習 テキストの予習	60
3 /	子どもを理解する視点2(保育の人的環境としての保育者と子どもの発達)	菅	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容の復習 テキストの予習	60
4 /	子どもを理解する視点3(個と集団)	菅	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容の復習 テキストの予習	60
5 /	子ども理解の方法(保育者間での協働、保護者との協働)	菅	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容の復習 テキストの予習	60
6 /	子ども理解に基づく援助1(発達の課題に応じた援助)	菅	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容の復習 テキストの予習	60
7 /	子ども理解に基づく援助2(発達の連続性と就学への支援)	菅	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容の復習 テキストの予習	60
8 /	まとめと討論	菅	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容の復習	30
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
幼児理解と教育相談	菅 眞佐子(専 任)	2年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
Infant understanding and education consultation							
資格等取得との関連		幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の選択、准学校心理士資格の選択					
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども理解の意義、幼児理解の具体的な方法を理解している。 ・子ども理解から発達や学びを捉える原理を理解している。 ・子ども理解を深めるための教師・保育者の基礎的な態度を理解している。 ・幼児教育保育における教育相談の意義と理論を理解している。 ・教育相談を進める際に必要な基礎的知識（カウンセリングに関する基礎的事柄を含む）を理解している。 ・教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組みや連携の必要性を理解している。 							
授業の内容 <p>発達相談員・幼稚園園長としての経験、ならびに臨床発達心理士の資格を基盤にして講義を行う。授業では、前半に幼児理解の意義、幼児理解の具体的な方法、幼児理解から発達や学びを捉える原理について学ぶ。それらの学びを踏まえ、後半ではカウンセリングの基礎理論等の心理学的知見を学び、教育相談を中心として保護者支援の具体について学ぶ。</p>							
教科書	『子ども理解と援助』 高嶋景子・砂上史子 編著（ミネルヴァ書房） 価格（本体2,200円＋税）						
参考書	適宜紹介します						
担当者からのメッセージ	「子どもの心理学」「子ども家庭支援の心理学」など、1年次に学んだことをベースにし、「子ども理解」についての理解を深め、教育相談を実践するための理論やスキルについて学びを広げていきます。基礎の定着を図り、それを基盤にして実践で活かせる視点やスキルを身につけていきましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回、授業の振り返り（感想や質問）の提出を求めます。フィードバックは、次の授業でクラス全体に行います。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	受講態度と授業の振り返りから評価する				
	小テスト						
	定期試験	70	筆記試験で理解を確認する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	菅研究室 前期火曜日12：15－12：45、後期金曜日12：15－12：45 事前にメールでの連絡をお願いします。						
担当教員E-mail	m-suga@sumire.ac.jp（菅（すが））						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。</p> <p>(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。</p> <p>(幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。</p> <p>(幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。</p>						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	・オリエンテーション ・保育における「子ども理解」とは	菅	講義 アクティブ・ラーニング	キーワードを理解し覚える テキストを予習する	60
2 /	子ども理解と援助の展開	菅	講義 アクティブ・ラーニング	キーワードを理解し覚える テキストを予習する	60
3 /	子ども理解における発達の視点	菅	講義 アクティブ・ラーニング	キーワードを理解し覚える テキストを予習する	60
4 /	子ども理解における保育者の姿勢とカウンセリングマインド	菅	講義 アクティブ・ラーニング	キーワードを理解し覚える テキストを予習する	60
5 /	子ども理解を深める観察と記録 1. 観察の意義と方法	菅	講義 アクティブ・ラーニング	キーワードを理解し覚える テキストを予習する	60
6 /	子ども理解を深める観察と記録 2. 観察・記録の実際	菅	講義 アクティブ・ラーニング	キーワードを理解し覚える テキストを予習する	60
7 /	子ども理解を深める観察と記録 3. 観察・記録から援助を探る	菅	講義 アクティブ・ラーニング	キーワードを理解し覚える テキストを予習する	60
8 /	記録にもとづく保育カンファレンス	菅	講義 アクティブ・ラーニング	キーワードを理解し覚える テキストを予習する	60
9 /	保育における個と集団の関係の理解と援助	菅	講義 アクティブ・ラーニング	キーワードを理解し覚える テキストを予習する	60
10 /	保育における保護者理解と援助の基本	菅	講義 アクティブ・ラーニング	キーワードを理解し覚える テキストを予習する	60
11 /	カウンセリングマインドの基本と教育相談への援用	菅	講義 アクティブ・ラーニング	キーワードを理解し覚える テキストを予習する	60
12 /	教育相談の実際	菅	講義 アクティブ・ラーニング	キーワードを理解し覚える テキストを予習する	60
13 /	園内の協力体制と保育共同体の構築	菅	講義 アクティブ・ラーニング	キーワードを理解し覚える テキストを予習する	60
14 /	一人一人の子どもの特別なニーズの理解と援助	菅	講義 アクティブ・ラーニング	キーワードを理解し覚える テキストを予習する	60
15 /	全授業を通した振り返りと討論	菅	講義 アクティブ・ラーニング	定期試験に向けてキーワード をチェックし、理解・記憶を 確認する	120
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子ども家庭支援論	前川 頼子(非常勤)	2年次	後期	2	講義	選択	
							実務経験
							○
Child home support theory							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
授業の到達目標 ・子育て世帯の生活問題を理解できる。 ・各世帯の状況に合わせた支援のあり方を考えることができる。 ・「社会福祉」「子ども家庭福祉」での学びを踏まえ、保育の専門性を生かした支援のあり方を考えることができる。							
授業の内容 保育施設での実務経験を持つ教員による講義である。 幼児教育保育の現場では、しばしば子育てに関して悩みを抱える保護者に出会う。そうしたとき、支援の方法や制度の枠組みを知っておくことで余裕を持った対応ができる。加えて、子育て世帯の生活実態を知ることで寄り添った支援が可能となる。現場に出ればすぐに直面する問題として、理解しやすい授業を目指す。							
教科書	『子ども家庭支援論』 児童育成協会 監修 (中央法規) 価格(本体2,000円+税)						
参考書	授業の中で紹介する						
担当者からのメッセージ	福祉系科目の総まとめとなる。これまで学んだ知識や保育実習での様々な経験を思い起こし、真剣に授業と向き合ってもらいたい。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	ほぼ毎回何らかの提出課題を科す。課題は教員がチェックしたのち学生へ返却する。返却された提出物はなくさないように保管しておくこと。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業内でおこなう小レポート				
	小テスト	70	子ども家庭支援に対する基本的知識を問う				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	y-maekawa@sumire.ac.jp (前川)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 子ども家庭支援とは	前川	講義	配付資料を読み返す	30
2 /	子ども家庭支援の必要性・意義	前川	講義	テキストを読み返す	60
3 /	子ども家庭支援の目的と機能	前川	講義	テキストを読み返す	60
4 /	子育て支援施策・次世代育成支援施策	前川	講義	テキストを読み返す	60
5 /	子育て世帯を支える福祉施策	前川	講義	テキストを読み返す	60
6 /	保育の専門性を活かした子ども家庭支援	前川	講義	テキストを読み返す	60
7 /	「子どもの育ち」の共有	前川	講義	テキストを読み返す	60
8 /	保護者・地域の子育て実践力	前川	講義	テキストを読み返す	60
9 /	保育士に求められる基本的姿勢	前川	講義	テキストを読み返す	60
10 /	世帯の状況に合わせた支援	前川	講義	テキストを読み返す	60
11 /	自治体・関係機関との連携、地域資源の活用	前川	講義	テキストを読み返す	60
12 /	保育所等を利用する子育て世帯への支援	前川	講義	テキストを読み返す	60
13 /	地域の子育て世帯への支援	前川	講義	テキストを読み返す	60
14 /	要保護児童とその家庭への支援 授業のまとめ	前川	講義	テキストを読み返す	60
15 /	今までの授業の振り返り まとめテスト	前川	講義	講義内容をまとめる	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
臨床福祉学	田中 彰(非常勤)	2年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Clinical Socialwork							
資格等取得との関連		保育士資格の選択					
授業の到達目標 ・人の幸せ「福祉」社会の幸せ「社会福祉」のための、今日社会におけるさまざまな福祉の支援について知ることができる。 ・生存権に基づく「最後のセーフティネット」生活保護の制度、救護施設とその支援について理解することができる。 ・誰もがその人らしく「生きるを支える」ことについて考える力を培い、福祉の支援、人への支援について、思いや考えを深めることができる。							
授業の内容 今日のさまざまな福祉対象者への支援の中から、児童養護、高齢者支援、障害者支援、精神障害者支援に関し、それぞれの制度や支援について、施設の支援を中心に論点を示しつつ紹介する。特に憲法25条の生存権に基づく生活保護制度、保護施設・救護施設について理解することにより、障害や貧困・生活困難に限らない、現代社会の生きにくさへの知見と理解を深め、学生の疑義への応接、ときにグループワークを交えながら、福祉の支援、人への支援について考察する。							
教科書	『救護施設からの風』 加美嘉文、松木宏史、高槻温心察（クリエイツかもがわ） 価格（本体2,200円＋税）						
参考書	季刊「公的扶助研究」全国公的扶助研究会 「福祉のひろば」総合社会福祉研究所 「健康で文化的な最低限度の生活」 柏木ハルコ その他、生活保護制度に関するもの 社会福祉制度、福祉施設の支援に関するもの						
担当者からのメッセージ	いまを生きる私たちの社会における、それぞれさまざまな福祉の対象、仕組みや制度について、ポイントを示しながら施設における支援を中心に紹介します。特に最後のセーフティネットである生活保護制度と、年齢も障害もさまざまな人たちの生活施設である救護施設について知ってもらい、誰もが生きていてよかったと思える、その人らしく「生きるを支える」ことについて、時にみなさんの視点も織りませ、話しあい深めたいと考えています。気楽に受講してください。コロナ感染症の状況にもよりますが、グループワークやアイマスク体験などの実習も実施検討します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	○今回（前回）学んだこと○疑問に感じたこと○感想・意見等の、簡単な設問を設定した振り返りのレポートを、2～3テーマごとをめぐりに提出してもらおう。このレポートおよび毎回の講義感想により、授業の始めの時間を使って応答をおこなう。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	講義の感想、振り返りレポートによる理解の的確さ、内容と視点観点のゆたかさ				
	小テスト						
	定期試験	80	理解度の確認のため				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	onsinryo@guitar.ocn.ne.jp（田中）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	シリーズの紹介 救護施設と高槻温心寮のお話	田中	パワーポイントなどを使った講義	講義内容を理解しまとめる	90
2 /	生活保護とは コロナ禍に生きる、活かすため	田中	パワーポイントなどを使った講義	講義内容を理解しまとめる	90
3 /	生活保護法 制度と権利、仕組みと運用	田中	パワーポイントなどを使った講義、グループワークや実習など	内容を理解しまとめ、考察する	90
4 /	福祉の支援1—児童福祉 ①社会的養護と支援のあり様	田中	パワーポイントなどを使った講義	講義内容を理解しまとめる	90
5 /	福祉の支援1—児童福祉 ②児童養護施設と子どもたち、子どもの貧困	田中	パワーポイント、DVDなどを使った講義、グループワークなど	内容を理解しまとめ、考察する	90
6 /	福祉の支援2—高齢者福祉 ①措置から契約 公的福祉から福祉サービスへ	田中	パワーポイントなどを使った講義	講義内容を理解しまとめる	90
7 /	福祉の支援2—高齢者福祉 ②高齢化社会と介護保険 制度の現実	田中	パワーポイントなどを使った講義	講義内容を理解しまとめる	90
8 /	福祉の支援3—障害者福祉 ①やまゆり園の事件から 障害とは「いのち」とは	田中	パワーポイント、DVDなどを使った講義、グループワークなど	内容を理解しまとめ、考察する	90
9 /	福祉の支援3—障害者福祉 ②社会モデルと当事者運動	田中	パワーポイントなどを使った講義、実習など	講義内容を理解しまとめる	90
10 /	福祉の支援4—精神障害 ①精神保健福祉 歴史、制度の移り変わり	田中	パワーポイントなどを使った講義	講義内容を理解しまとめる	90
11 /	福祉の支援4—精神障害 ②精神医学、精神科病院と社会的入院	田中	パワーポイントなどを使った講義	講義内容を理解しまとめる	90
12 /	福祉の支援5—生活困窮生活困難 ①貧困と生活保護をとりまく情勢について	田中	パワーポイント、DVDなどを使った講義、グループワークなど	内容を理解しまとめ、考察する	90
13 /	福祉の支援5—生活困窮生活困難 ②健康で文化的な最低限度の生活を考える	田中	パワーポイントなどを使った講義、グループワークなど	内容を理解しまとめ、考察する	90
14 /	福祉の支援5—生活困窮生活困難 ③生きづらさ、生きにくさへの支援について	田中	パワーポイント、DVDなどを使った講義、グループワークなど	内容を理解しまとめ、考察する	90
15 /	その他の福祉の支援について 婦人保護施設、ハンセン病、無料低額診療、他	田中	パワーポイントなどを使った講義	講義内容を理解しまとめる	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子ども家庭支援の心理学	菅 眞佐子(専 任)	2年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
Psychology of child home support							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
授業の到達目標 ・生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について説明できる。 ・家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の視点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点について説明できる。 ・子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題や子どもの精神保健とその課題について習得・理解ができ、その問題点や改善点についての支援などについて言及できる。							
授業の内容 発達相談員・幼稚園園長としての経験、ならびに臨床発達心理士の資格に基づいて講義する。本授業では、生涯発達の視点から心理学的基礎知識を捉えなおし、初期経験の重要性、発達の連続性、各時期の発達課題についての理解を深める。また、それらと密接に関連する家族・家庭の意義や機能を理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点の修得を目指す。子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題、特別な配慮や発達の支援が必要な子どもとその家庭、についても理解を深め、援助の方法について具体的に検討する視点を身につける。							
教科書	『子ども家庭支援の心理学入門』 大倉得史・新川泰弘編著 (ミネルヴァ書房) 価格(本体2,400円+税)						
参考書	適宜紹介する						
担当者からのメッセージ	この授業は、テキストの構成からもわかるように、心理学、社会福祉学、児童福祉学、家族社会学など様々な分野から「子育て支援」をキーワードに切り込んでいく科目である。これまでの知識も総動員しながら、それらが全体としてどう関わり合っているのか理解を深めてほしい。また、これから結婚し、子どもを持つかもしれない学生にとっては、自らの関心ともかかわるテーマも多く含まれており、積極的に授業に参加することを希望する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	・毎回、授業のまとめ課題を行い、Google Classroomを通じて評価・フィードバックを行う。 ・理解を確認するための課題・小テストを適宜行い、Google Classroomを通じて評価・フィードバックを行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	授業参加への意欲、態度(私語、居眠り等)を評価する				
	小テスト	20	復習を兼ねて小テストを行う				
	定期試験	50	理解度確認のためのテストを行う				
	レポート	20	理解を確認するためのレポートを課す				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	管研究室 前期火曜日12:15-12:45、後期金曜日12:15-12:45 事前にメールでの連絡をお願いします。 質問については授業終了後にもお答えします。						
担当教員E-mail	m-suga@sumire.ac.jp (菅(すが))						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	授業のオリエンテーション 親子関係・家族関係における発達の理論と実際	菅	講義	講義内容をまとめる・次回の予定部分についてテキストを一通り読み、分からない用語を調べておく	60
2 /	乳幼児期の子どもの発達と家庭ー赤ちゃんのめざましい成長とそれを支えるものー	菅	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・次回の予定部分についてテキストを一通り読み、分からない用語を調べておく	60
3 /	乳幼児期の子どもの発達と家庭ー幼児期：世界との関わりの広がりと主体としての自立ー	菅	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・次回の予定部分についてテキストを一通り読み、分からない用語を調べておく	60
4 /	児童期の子どもの発達と家庭	菅	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・次回の予定部分についてテキストを一通り読み、分からない用語を調べておく	60
5 /	青年期以降の発達と家庭	菅	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・次回の予定部分についてテキストを一通り読み、分からない用語を調べておく	60
6 /	家族・家庭の意義と機能	菅	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・次回の予定部分についてテキストを一通り読み、分からない用語を調べておく	60
7 /	子育て家庭を取り巻く社会的状況と課題	菅	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・次回の予定部分についてテキストを一通り読み、分からない用語を調べておく	60
8 /	子育て・仕事とライフコース	菅	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・次回の予定部分についてテキストを一通り読み、分からない用語を調べておく	60
9 /	特別な配慮や支援が必要な子どもと家庭の理解と援助	菅	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・次回の予定部分についてテキストを一通り読み、分からない用語を調べておく	60
10 /	発達支援が必要な子どもと家族の理解と援助	菅	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・次回の予定部分についてテキストを一通り読み、分からない用語を調べておく	60
11 /	子どもの生活・生育環境とその影響	菅	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・次回の予定部分についてテキストを一通り読み、分からない用語を調べておく	60
12 /	基本的な生活習慣と事故防止	菅	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・次回の予定部分についてテキストを一通り読み、分からない用語を調べておく	60
13 /	子どもの心の健康に関わる問題の理解と子ども家庭支援	菅	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・次回の予定部分についてテキストを一通り読み、分からない用語を調べておく	60
14 /	子育て家庭をめぐる現代の社会状況と課題 1. 最近の報道や議論から事象をとらえる	菅	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・次回の予定部分についてテキストを一通り読み、分からない用語を調べておく	60
15 /	子育て家庭をめぐる現代の社会状況と課題 2. 保育者として可能な援助について考える	菅	講義とグループ討議と発表	講義内容をまとめる・次回の予定部分についてテキストを一通り読み、分からない用語を調べておく	60
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子育て支援	松村 都子(専 任)	2年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Child care support							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
授業の到達目標 ・子育て支援の意義について理解する。 ・子育て支援の基本原則や社会的資源としても園の役割を理解する。 ・支援の内容や方法を理解する。 ・保育所や児童福祉施設における保護者支援の実際から、保育者に求められることについて理解する。							
授業の内容 幼児教育・保育現場・保育行政の経験を踏まえ、具体的な現場の実際から講義を行う。授業では個人ワークやグループワークを取り入れる。子育て世代の子育ての現状から、現代社会の中で保護者がどんな子育ての状態にあるのかを知り、社会的資源としての園に求められていることを理解する。保護者理解から適切な子育ての支援を行うために、信頼関係を築いていく関わりや方法を学び、子どもの最善の利益を広い視野でとらえる保育者の専門性について理解を深める。							
教科書							
参考書		保育所保育指針他 授業内で紹介する					
担当者からのメッセージ		子育て支援は、現代社会の子育て世代には重要な支援です。授業を通して、子どもや保護者、園が社会的にどのような状況の中にあるのかを知り、保育者の役割について理解を深めながら、就職後の保育者としての自分を考えることにつなげたいと思います。授業内容をしっかり記録すること、積極的な発表や話し合いへの参加、学びをレポートにまとめる力等を授業の評価とします。保育士資格必修の科目です。欠席した場合は授業内容相当の課題を課すので期限内に提出してください。					
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック		レポートは、次週に返却する。また、必要に応じ、授業内のレポートの内容を口頭等でフィードバックする。					
成績評価の方法及び基準		種別	割合(%)	評価基準等			
		平常点	25	積極的に授業に参加していることを評価する			
		小テスト	25	自分なりの考えを論じているかを評価する			
		定期試験					
		レポート	40	授業の終わりに振り返りレポートを実施する			
		その他	10	提出物の期限厳守等規範的態度を評価する			
自由記載							
オフィスアワー		授業終了後に教室で質問を受け付ける					
担当教員E-mail		m-matumura@sumire.ac.jp (松村)					
教員相互授業参観		全て公開する（参観の前に連絡してください）					
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連		(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。					

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	子育て支援とは (基礎と意義)	松村	講義	講義内容をまとめる	90
2 /	園の実際① 地域の子育て世代への子育て支援	松村	講義	講義内容をまとめる	90
3 /	園の実際② 在園児の家庭への子育て支援	松村	講義	講義内容をまとめる	90
4 /	園の実際③ 保育者の日常と子育て支援	松村	講義・演習	講義・演習内容をまとめる	90
5 /	子育て支援の技術 (理解する、伝える)	松村	講義・演習	講義・演習内容をまとめる	90
6 /	一緒に遊ぼう、作ろう (保育参観や保育参加の意義)	松村	講義・演習	講義・演習内容をまとめる	90
7 /	多様な子育て家庭への子育て支援	松村	講義・演習	講義・演習内容をまとめる	90
8 /	これからの子育て支援(総括) 小テスト	松村	講義・演習	授業を振り返りまとめる	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
地域福祉（幼教）	岡本 芳也(非常勤)	2年次	後期	2	講義	選択	実務経験
							○
Community Social Work							
資格等取得との関連		保育士資格の選択					
授業の到達目標 ・ 地域にある様々な福祉問題について、その問題の現状や背景について理解する。 ・ 地域にある様々な福祉問題に対して提供されている福祉サービスの内容について理解する。 ・ 地域における福祉問題の解決のための住民参加の意義について理解する。							
授業の内容 社会福祉士として成年後見業務を通じて地域福祉に携わっている教員による講義である。本講義では、地域社会の中に起こっているさまざまな福祉問題を取り上げながら、それらの問題の現状、実情がどのようなものであるのか、現代社会においてなぜそれらの問題が起こるのか、そして、その問題に対してどのような実践が行われ、どのような支援、サービスが提供されているのか、さらには問題の解決のために地域に住む住民がどのようなことをしていくことが求められているのか、といったことについて学び、考えていく。その中で地域における福祉問題というものが身近な、そして自分たち自身に関わりのある問題であることについて理解を図っていく。							
教科書	『新版 よくわかる地域福祉』 上野谷加代子・松端克文・山縣文治編（ミネルヴァ書房） 価格（本体2,400円＋税）						
参考書	特になし 資料については、講義時間に必要に応じて配付します。						
担当者からのメッセージ	地域福祉とは皆さん自身も暮らす地域社会の中で行われる実践であり、皆さん自身の身近なところにあるものです。講義に並行して自分の身近な地域がどのような現状か、どんな問題があるか、どのような福祉活動があるのか関心を持ってみてください。成績評価の一環として、授業毎に簡単なまとめレポートを作成していただきます。講義内容の理解度を確認すると共に、感想、質問、疑問点などについても対応していきたいと思っておりますので、積極的に取り組んでください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	まとめレポートについては、必要に応じて感想、意見などについて取り上げコメントする。また、学習した内容に関して寄せられた疑問、質問についても回答、説明などを行い、より深い理解ができるようにしたいと考える。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	授業時間中に実施する小レポートで評価する				
	小テスト						
	定期試験	60	地域福祉に関する知識の習得と理解度を確認する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	地域福祉の背景 (社会問題と社会の変化)	岡本	講義とレポート作成	授業ノートを見直すこと	60
2 /	地域福祉の背景 (家庭・地域社会の変化)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
3 /	地域福祉の背景 (諸外国からの影響)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
4 /	地域福祉の背景 (ノーマライゼーション、脱 施設化等についての理解)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
5 /	地域福祉の歴史 (日本における発展)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
6 /	地域福祉の手法について理解する (在宅福祉 サービス等についての理解)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
7 /	地域福祉の手法について理解する (コミュニ ティディベロップメントなど)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
8 /	地域福祉における社会資源 (行政機関など)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
9 /	地域福祉における社会資源 (社会福祉協議会)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
10 /	地域福祉における社会資源 (ボランティア・ NPOなど)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
11 /	地域社会における障害者福祉問題の現状につ いて (バリアフリー、就労状況などを中心に)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
12 /	地域社会における高齢者福祉の現状について (現状と課題について)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
13 /	地域社会における貧困問題について (現状と 課題について)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
14 /	地域福祉における権利擁護の活動について (支援・制度内容と現状について)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
15 /	地域での生活を守る様々な実践について (様々な社会資源、サービスの理解)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
保育実習指導Ⅱ（保育所）A	三上 佳子(専任) 松村 都子(専任) 松井 典子(専任)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Guidance with Child-care Practice Ⅱ (nursery school)							
資格等取得との関連	保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・保育所実習Ⅱの意義・目的・実習生としての厳守すべき事項について理解を深め、明確な目的をもつ。 ・指導案に基づいた生活や遊びの実践を体験的に理解することができる。 ・演習を通して、子ども・保育への理解を深める。 ・直後指導を通して実習の振り返りや自己評価をふまえた課題が認識できている。							
授業の内容 幼稚園や保育所等での勤務経験を有する教員が、その経験を活かして、教材研究、指導案について講義する。 具体的な事例に基づきながらロールプレイやグループディスカッションを行い、観察の仕方やポイント、保育者のかかわりについて検討・考察する。指導案を作成し、指導案に基づいた子どもの遊びの実践について体験的に学ぶ。実践力を身につけるために各自指導案を作成する。保育所実習Ⅱにおいて講義や演習を通して保育所の機能や役割（保護者支援や倫理綱領）を理解する。直後指導でのグループディスカッションを通して実習を振り返り自己評価を行う。また自己評価を基に今後の課題を明確にする。							
教科書	なし						
参考書	保育所保育指針解説他 随時紹介していく						
担当者からのメッセージ	「保育実習において厳守すべきルール」や提出期限等を守れない者は不合格となることがある。保育実習Ⅰで経験したことを踏まえ、実際の子どもの姿を想定しながら教材研究、指導案の作成を行ってもらう。授業には積極的に参加すること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題は担当者が確認し、返却する。返却された提出物は、必ずまとめて保管しておくこと。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	受講態度				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート						
	その他	70	提出課題				
自由記載							
オフィスアワー	三上研究室 水曜日 12時20分～12時50分 事前にメール等で連絡あれば時間の調整は可 松井研究室 火曜日 12時20分～12時50分 事前にメール等にて連絡あれば調整は可能 松村研究室 火曜日 12時20分～12時50分 事前にメール等にて連絡あれば調整は可能						
担当教員E-mail	m-matsumura@sumire.ac.jp（松村） n-matsui@sumire.ac.jp（松井） y-mikami@sumire.ac.jp（三上）						
教員相互授業参観	公開します。（事前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 保育実習Ⅰを振り返る	三上 松村 松井	保育実習Ⅰをグループワークで振り返る	授業内容を振り返り、要点を整理する 保育実習Ⅲに向けた学習課題を明らかにする	90
2 /	一日の中の部分に着目した保育記録—遊び— 考察・気づきの書き方	三上	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
3 /	一日の中の部分に着目した保育記録—生活の指導— 考察と気づきの書き方	松村	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
4 /	一日の保育記録 考察と気づきの書き方	松井	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
5 /	教材研究と部分実習指導案の作成指導 1 「体を使う遊び」	三上	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
6 /	教材研究と部分実習指導案の作成指導 2 「造形遊び」	松村	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
7 /	教材研究と部分実習指導案の作成指導 3 「音遊び」	松井	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
8 /	実習簿指導案作成演習 1 指導案の総括	三上 松村 松井	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
9 /	実習簿記録作成演習 2 子育て支援・子どもをみつめて	三上 松村 松井	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
10 /	実習に関する事務手続き説明	三上 松村 松井	講義 事務連絡	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
11 /	模擬保育の実践 1 「体を使う遊び」	三上	演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
12 /	模擬保育の実践 2 「造形遊び」	松村	演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
13 /	模擬保育の実践 3 「音遊び」	松井	演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
14 /	直前指導	三上 松村 松井	保育実習Ⅱ直前指導 実習に関するルールの確認	配付資料を読み返し、実習へ向けた最終準備を整える	90
15 /	直後指導	三上 松村 松井	保育実習Ⅱ直後指導 実習後の省察 実習記録の振り返り	授業内容を振り返り今後の課題をより明確にする	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
保育実習指導Ⅱ（保育所）B	三上 佳子(専任) 松村 都子(専任) 松井 典子(専任)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Guidance with Child-care Practice Ⅱ (nursery school)							
資格等取得との関連	保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・保育所実習Ⅱの意義・目的・実習生としての厳守すべき事項について理解を深め、明確な目的をもつ。 ・指導案に基づいた生活や遊びの実践を体験的に理解することができる。 ・演習を通して、子ども・保育への理解を深める。 ・直後指導を通して実習の振り返りや自己評価をふまえた課題が認識できている。							
授業の内容 幼稚園や保育所等での勤務経験を有する教員が、その経験を活かして、教材研究、指導案について講義する。 具体的な事例に基づきながらロールプレイやグループディスカッションを行い、観察の仕方やポイント、保育者のかかわりについて検討・考察する。指導案を作成し、指導案に基づいた子どもの遊びの実践について体験的に学ぶ。実践力を身につけるために各自指導案を作成する。保育所実習Ⅱにおいて講義や演習を通して保育所の機能や役割（保護者支援や倫理綱領）を理解する。直後指導でのグループディスカッションを通して実習を振り返り自己評価を行う。また自己評価を基に今後の課題を明確にする。							
教科書	なし						
参考書	保育所保育指針解説他 随時紹介していく						
担当者からのメッセージ	「保育実習において厳守すべきルール」や提出期限等を守れない者は不合格となることがある。保育実習Ⅰで経験したことを踏まえ、実際の子どもの姿を想定しながら教材研究、指導案の作成を行ってもらう。授業には積極的に参加すること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題は担当者が確認し、返却する。返却された提出物は、必ずまとめて保管しておくこと。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	受講態度				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート						
	その他	70	提出課題				
自由記載							
オフィスアワー	三上研究室 水曜日 12時20分～12時50分 事前にメール等で連絡あれば時間の調整は可 松井研究室 火曜日 12時20分～12時50分 事前にメール等にて連絡あれば調整は可能 松村研究室 火曜日 12時20分～12時50分 事前にメール等にて連絡あれば調整は可能						
担当教員E-mail	y-mikami@sumire.ac.jp（三上） m-matsumura@sumire.ac.jp（松村） n-matsui@sumire.ac.jp（松井）						
教員相互授業参観	公開します（事前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 保育実習Ⅰを振り返る	三上 松村 松井	保育実習Ⅰをグループワークで振り返る	授業内容を振り返り、要点を整理する 保育実習Ⅱに向けた学習課題を明らかにする	90
2 /	一日の中の部分に着目した保育記録—生活の指導— 考察と気づきの書き方	松村	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
3 /	一日の保育記録 考察と気づきの書き方	松井	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
4 /	一日の中の部分に着目した保育記録—遊び— 考察・気づきの書き方	三上	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
5 /	教材研究と部分実習指導案の作成指導1 「造形遊び」	松村	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
6 /	教材研究と部分実習指導案の作成指導2 「音遊び」	松井	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
7 /	教材研究と部分実習指導案の作成指導3 「体を使う遊び」	三上	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
8 /	実習簿指導案作成演習1 指導案の総括	三上 松村 松井	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
9 /	実習簿記録作成演習2 子育て支援・子どもをみつめて	三上 松村 松井	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
10 /	実習に関する事務手続き説明	三上 松村 松井	講義 事務連絡	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
11 /	模擬保育の実践1 「造形遊び」	松村	演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
12 /	模擬保育の実践2 「音遊び」	松井	演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
13 /	模擬保育の実践3 「体を使う遊び」等	三上	演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
14 /	直前指導	三上 松村 松井	保育実習Ⅱ直前指導 実習に関するルールの確認	配付資料を読み返し、実習へ向けた最終準備を整える	90
15 /	直後指導	三上 松村 松井	保育実習Ⅱ直後指導 実習後の省察 実習記録の振り返り	授業内容を振り返り今後の課題をより明確にする	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
保育実習指導Ⅱ（保育所）C	三上 佳子(専任) 松村 都子(専任) 松井 典子(専任)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Guidance with Child-care Practice Ⅱ (nursery school)							
資格等取得との関連	保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・保育所実習Ⅱの意義・目的・実習生としての厳守すべき事項について理解を深め、明確な目的をもつ。 ・指導案に基づいた生活や遊びの実践を体験的に理解することができる。 ・演習を通して、子ども・保育への理解を深める。 ・直後指導を通して実習の振り返りや自己評価をふまえた課題が認識できている。							
授業の内容 幼稚園や保育所等での勤務経験を有する教員が、その経験を活かして、教材研究、指導案について講義する。 具体的な事例に基づきながらロールプレイやグループディスカッションを行い、観察の仕方やポイント、保育者のかかわりについて検討・考察する。指導案を作成し、指導案に基づいた子どもの遊びの実践について体験的に学ぶ。実践力を身につけるために各自指導案を作成する。保育所実習Ⅱにおいて講義や演習を通して保育所の機能や役割（保護者支援や倫理綱領）を理解する。直後指導でのグループディスカッションを通して実習を振り返り自己評価を行う。また自己評価を基に今後の課題を明確にする。							
教科書	なし						
参考書	保育所保育指針解説他 随時紹介していく						
担当者からのメッセージ	「保育実習において厳守すべきルール」や提出期限等を守れない者は不合格となることがある。保育実習Ⅰで経験したことを踏まえ、実際の子どもの姿を想定しながら教材研究、指導案の作成を行ってもらう。授業には積極的に参加すること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題は担当者が確認し、返却する。返却された提出物は、必ずまとめて保管しておくこと。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	受講態度				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート						
	その他	70	提出課題				
自由記載							
オフィスアワー	三上研究室 水曜日 12時20分～12時50分 事前にメール等での連絡あれば時間の調整は可能 松井研究室 火曜日 12時20分～12時50分 事前にメール等にて連絡あれば調整は可能 松村研究室 火曜日 12時20分～12時50分 事前にメール等にて連絡あれば調整は可能						
担当教員E-mail	y-mikami@sumire.ac.jp（三上） m-matsumura@sumire.ac.jp（松村） n-matsui@sumire.ac.jp（松井）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 保育実習Ⅰを振り返る	三上 松村 松井	保育実習Ⅰをグループワークで振り返る	授業内容を振り返り、要点を整理する 保育実習Ⅱに向けた学習課題を明らかにする	90
2 /	一日の保育記録 考察と気づきの書き方	松井	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
3 /	一日の中の部分に着目した保育記録—遊び— 考察・気づきの書き方	三上	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
4 /	一日の中の部分に着目した保育記録—生活の 指導— 考察と気づきの書き方	松村	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
5 /	教材研究と部分実習指導案の作成指導 1 「音遊び」	松井	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
6 /	教材研究と部分実習指導案の作成指導 2 「体を使う遊び」	三上	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
7 /	教材研究と部分実習指導案の作成指導 3 「造形遊び」	松村	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
8 /	実習簿指導案作成演習 1 指導案の総括	三上 松村 松井	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
9 /	実習簿記録作成演習 2 子育て支援・子どもをみつめて	三上 松村 松井	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
10 /	実習に関する事務手続き説明 実習に関する事務手続き説明 実習に関する事務手続き説明	三上 松村 松井	講義 事務連絡	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
11 /	模擬保育の実践 1 「音遊び」	松井	演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
12 /	模擬保育の実践 2 「造形遊び」	三上	演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
13 /	模擬保育の実践 3 造形遊び 模擬保育の実践 3 「体を使う遊び」	松村	演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
14 /	直前指導	三上 松村 松井	保育実習Ⅱ直前指導 実習に関するルールの確認	配付資料を読み返し、実習へ向けた最終準備を整える	90
15 /	直後指導	三上 松村 松井	保育実習Ⅱ直後指導 実習後の省察 実習記録の振り返り	授業内容を振り返り今後の課題をより明確にする	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
保育所実習Ⅱ	三上 佳子(専任) 松村 都子(専任) 松井 典子(専任)	2年次	前期集中	2	実習	選択	○
							実務経験
							○
Child-care Practice at Nursery School II							
資格等取得との関連	保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・保育実習Ⅰの経験と既習の教科内容を踏まえて、保育所の業務内容を総合的に理解する。 ・観察・記録や子どもとの関わりを通して保育への理解を深める。 ・指導案を立てることができ、計画に基づいた保育を実践することができる。 ・保護者支援および職業倫理の基本を学ぶ。							
授業の内容 保育現場経験者（保育者）による実習内容の指導をする。 保育所実習Ⅱではこれまでの学びを踏まえ、保育所や認定こども園の役割や機能、保育者の職務（子どもとの関わり、保育の実際）について理解を深める。子どもの姿や保育者の配慮等を的確にとらえた実習記録を書くことによって保育への理解を深める。特別な配慮を要する子どもへのかかわりについて実践的に学ぶ。指導案を作成し、計画に基づいた保育を実践する。保護者への支援や家庭との連携について具体的に知る。 参加実習：保育者の指導を受けながら子どもと積極的にかかわることを通して学ぶ。責任実習：指導案を作成しそれに基づいた保育を行う。							
教科書	なし						
参考書	保育所保育指針解説他 随時紹介していく						
担当者からのメッセージ	「保育実習指導Ⅰ」が不合格である者、「保育実習Ⅰにおいて厳守すべきルール」や実習に関する記録などの提出期限等を守れない者の実習は認めない。準備を整えて実習に備えること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	実習先と連絡を取り、巡回訪問で指導する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	小テスト						
	定期試験						
	レポート						
	その他	100	実習記録簿 (50%)、実習園の総合評価 (50%)				
自由記載							
オフィスアワー	三上研究室 水曜日 12時20分～12時50分 事前にメール等で予約を取ること 松井研究室 火曜日 12時20分～12時50分 事前にメール等で予約を取ること 松村研究室 火曜日 12時20分～12時50分 事前にメール等で予約を取ること						
担当教員E-mail	y-mikami@sumire.ac.jp (三上) m-matsumura@sumire.ac.jp (松村) n-matsui@sumire.ac.jp (松井)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	実習期間：2回生の8月中10日間 1日8時間以上	三上 松村 松井	指定保育園での実習	実習期間中、実習記録をまとめる	600
2 /	実習先：学生本人が実習先の内諾を得、「保育実習Ⅱ実習報告書」を指定された日までに提出する	三上 松村 松井	実習の内容については、「保育実習指導Ⅱ（保育所）」において指導していく	実習期間中、実習記録をまとめ、ファイルを整理する	180
3 /					
4 /					
5 /					
6 /					
7 /					
8 /					
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
教育実習（事前事後指導を含む）1	久米 央也(専 任)・三上 佳子(専 任) 柚木たまみ(専 任)・菅 眞佐子(専 任)	2年次	前期集中	5	実習	選択	○
							実務経験
							○
Practice Teaching at Kindergarten							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修						
授業の到達目標 ・幼稚園の保育の流れを理解し、保育に参加する。 ・保育者の援助や役割および保育の内容について学ぶ。 ・子どもの姿に応じた指導計画の立案と実践を学ぶ。 ・実習に関して自分の課題設定を行い、取り組んでいく。							
授業の内容 園長経験・教育委員会勤務経験のある担当教員が現場に則した指導を行う。幼稚園教育実習（以後、実習とする）を中心に据え、実習に行くための様々なトレーニング、準備等を行う。また実習後は、実習の振り返り作業を丁寧に行った上で、幼児教育保育の現場で働くための各自の課題設定を行う。また外部講師の講演による担当者の専門性に基づいた様々な講義を受講することにより、実習での学びを深め、幼稚園において実習を行う。							
教科書	『幼稚園教育実習』 玉置哲淳・島田ミチコ（建帛社） 価格（本体2,100円＋税） 『幼稚園教育要領解説』 フレーベル館（フレーベル館） 価格（本体190円＋税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	教員による演習形式の授業であり、合同授業と分割授業がある。初回に配付する予定表で開講日と教室をチェックすること。ただ出席しているだけでは、成長はできない。目的意識をきっちりと持ち、主体的に学ぶこと。実習の直前指導、事後指導（各々2回）はスーツを着用し、髪の色、爪の長さなど実習にふさわしい装いで受講すること。実習前は、実習園に訪問して現地オリエンテーションを受ける。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	課題提出後にはコメントをいれ適宜返却する。 実習先に連絡を取り、巡回訪問をして指導する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	普段の授業態度を評価				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	40	課題提出で評価				
	その他	50	実習園からの評価				
自由記載							
オフィスアワー	柚木研究室 月・水・金曜日 12時15分～13時 久米研究室 月・火・金曜日 12時15分～13時 菅 研究室 火・水・金曜日 12時15分～12時50分 <small>メールでの質問・相談を随時受け付ける（件名に学生番号氏名を入れること）</small>						
担当教員E-mail	t-yunoki@sumire.ac.jp（柚木） h-kume@sumire.ac.jp（久米） y-mikami@sumire.ac.jp（三上） m-suga@sumire.ac.jp（菅）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 教育実習の意義・目的・実習生としての心構えの説明	柚木 久米 三上 菅	それぞれの担当者が授業内容の詳細及び心構えを説明する	講義内容をまとめる	90
2 /	外部講師に学ぶ 「幼稚園教育実習に向けて」	柚木 久米 三上 菅	講義 (幼稚園の現場の先生による)	講義内容をまとめる	90
3 /	実習に対する自分の課題を考える 「私の課題」の書き方(前期)	柚木 久米 三上 菅	講義 実習の内容と課題の明確化	「私の課題」の作成をする	90
4 /	部分実習指導案の書き方	柚木	講義 グループ演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
5 /	観察の仕方(前期) 子どもの遊びの場면을観察する 守秘義務について(前期)	久米	講義 演習	講義内容をまとめる	90
6 /	実習記録の書き方(前期) 観察・記録・考察	三上 菅	講義 演習	講義内容をまとめる	90
7 /	指導案の書き方 誓約書・実習に関するルールの確認 私の課題の確認	柚木 久米 三上 菅	講義	連絡事項をまとめる	90
8 /	前期実習直前指導	柚木 久米 三上 菅	(前期実習5月31日～6月11日)	連絡事項をまとめる	90
9 /	前期実習直後指導	柚木 久米 三上 菅	前期実習を振り返り、自己評価	実習した内容についての振り返りをまとめる	90
10 /	前期実習の振り返りから自分の課題を見つける 「私の課題」の書き方(後期)	柚木 久米 三上 菅	講義 実習の内容と課題の明確化	「私の課題」の作成をする	90
11 /	責任実習指導案の書き方	柚木	講義 グループ演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
12 /	観察の仕方(後期) 子どもの遊びの場面 守秘義務について(後期)	久米	講義 演習	講義内容をまとめる	90
13 /	実習記録の書き方(後期) 観察・記録・考察	三上 菅	講義 演習	講義内容をまとめる	90
14 /	後期実習直前指導	柚木 久米 三上 菅	(後期実習9月6日～9月17日)	連絡事項をまとめる	90
15 /	後期実習直後指導	柚木 久米 三上 菅	後期実習を振り返り 自己評価	実習した内容についての振り返りをまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
教育実習（事前事後指導を含む）2	久米 央也(専 任)・三上 佳子(専 任) 柚木たまみ(専 任)・菅 眞佐子(専 任)	2年次	前期集中	5	実習	選択	○
							実務経験
							○
Practice Teaching at Kindergarten							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修						
授業の到達目標 ・幼稚園の保育の流れを理解し、保育に参加する。 ・保育者の援助や役割および保育の内容について学ぶ。 ・子どもの姿に応じた指導計画の立案と実践を学ぶ。 ・実習に関して自分の課題設定を行い、取り組んでいく。							
授業の内容 園長経験・教育委員会勤務経験のある担当教員が現場に則した指導を行う。幼稚園教育実習（以後、実習とする）を中心に据え、実習に行くための様々なトレーニング、準備等を行う。また実習後は、実習の振り返り作業を丁寧に行った上で、幼児教育保育の現場で働くための各自の課題設定を行う。また外部講師の講演による担当者の専門性に基づいた様々な講義を受講することにより、実習での学びを深め、幼稚園において実習を行う。							
教科書	『幼稚園教育実習』 玉置哲淳・島田ミチコ（建帛社） 価格（本体2,100円＋税） 『幼稚園教育要領解説』 フレーベル館（フレーベル館） 価格（本体190円＋税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	教員による演習形式の授業であり、合同授業と分割授業がある。初回に配付する予定表で開講日と教室をチェックすること。ただ出席しているだけでは、成長はできない。目的意識をしっかりと持ち、主体的に学ぶこと。 実習の直前指導、事後指導（各々2回）はスーツを着用し、髪の色、爪の長さなど実習にふさわしい装いで受講すること。実習前は、実習園に訪問して現地オリエンテーションを受ける。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	課題提出後にはコメントをいれ適宜返却する。 実習先に連絡を取り、巡回訪問をして指導する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	普段の授業態度を評価				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	40	提出課題で評価				
	その他	50	実習園からの評価				
自由記載							
オフィスアワー	柚木研究室 月・水・金曜日 12時15分～13時 久米研究室 月・火・金曜日 12時15分～13時 三上研究室 水曜日 12時15分～12時50分 菅 研究室 火・水・金曜日 12時15分～13時 メールでの質問・相談を随時受け付ける(件名に学生番号氏名を入れること)						
担当教員E-mail	t-yunoki@sumire.ac.jp（柚木） h-kume@sumire.ac.jp（久米） y-mikami@sumire.ac.jp（三上） m-suga@sumire.ac.jp（菅）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 教育実習の意義・目的・実習生としての心構えの説明	柚木 久米 三上 菅	それぞれの担当者が授業内容の詳細及び心構えを説明する	講義内容をまとめる	90
2 /	外部講師に学ぶ 「幼稚園教育実習に向けて」	柚木 久米 三上 菅	講義 (幼稚園の現場の先生による)	講義内容をまとめる	90
3 /	実習に対する自分の課題を考える 「私の課題」の書き方(前期)	柚木 久米 三上 菅	講義 実習の内容と課題の明確化	「私の課題」の作成をする	90
4 /	観察の仕方(前期) 子どもの遊びの場面 守秘義務について(前期)	久米	講義 演習	講義内容をまとめる	90
5 /	実習記録の書き方(前期) 観察・記録・考察	三上 菅	講義 演習	講義内容をまとめる	90
6 /	部分実習指導案の書き方	柚木	講義 グループ演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
7 /	指導案の書き方 誓約書・実習に関するルールの確認 私の課題の確認	柚木 久米 三上 菅	講義	連絡事項をまとめる	90
8 /	前期実習直前指導	柚木 久米 三上 菅	(前期実習5月31日～6月11日)	連絡事項をまとめる	90
9 /	前期実習直後指導	柚木 久米 三上 菅	前期実習を振り返り、自己評価	実習した内容についての振り返りをまとめる	90
10 /	前期実習の振り返りから自分の課題を見つける 「私の課題」の書き方(後期)	柚木 久米 三上 菅	講義 実習の内容と課題の明確化	「私の課題」の作成をする	90
11 /	観察の仕方(後期) 子どもの遊びの場面 守秘義務について(後期)	久米	講義 演習	講義内容をまとめる	90
12 /	実習記録の書き方(後期) 観察・記録・考察	三上 菅	講義 演習	講義内容をまとめる	90
13 /	責任実習指導案の書き方	柚木	講義 グループ演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
14 /	後期実習直前指導	柚木 久米 三上 菅	(後期実習9月6日～9月17日)	連絡事項をまとめる	90
15 /	後期実習直後指導	柚木 久米 三上 菅	後期実習を振り返り 自己評価	実習した内容についての振り返りをまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
教育実習（事前事後指導を含む）3	久米 央也(専 任)・三上 佳子(専 任) 柚木たまみ(専 任)・菅 眞佐子(専 任)	2年次	前期集中	5	実習	選択	○
							実務経験
							○
Practice Teaching at Kindergarten							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修						
授業の到達目標 ・幼稚園の保育の流れを理解し、保育に参加する。 ・保育者の援助や役割および保育の内容について学ぶ。 ・子どもの姿に応じた指導計画の立案と実践を学ぶ。 ・実習に関して自分の課題設定を行い、取り組んでいく。							
授業の内容 園長経験・教育委員会勤務経験のある担当教員が現場に則した指導を行う。幼稚園教育実習（以後、実習とする）を中心に据え、実習に行くための様々なトレーニング、準備等を行う。また実習後は、実習の振り返り作業を丁寧に行った上で、幼児教育保育の現場で働くための各自の課題設定を行う。また外部講師の講演による担当者の専門性に基づいた様々な講義を受講することにより、実習での学びを深め、幼稚園において実習を行う。							
教科書	『幼稚園教育実習』 玉置哲淳・島田ミチコ（建帛社） 価格（本体2,100円＋税） 『幼稚園教育要領解説』 フレーベル館（フレーベル館） 価格（本体190円＋税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	教員3名による演習形式の授業であり、合同授業と分割授業がある。初回に配付する予定表で開講日と教室をチェックすること。ただ出席しているだけでは、成長はできない。目的意識をしっかりと持ち、主体的に学ぶこと。実習の直前指導、事後指導（各々2回）はスーツを着用し、髪の色、爪の長さなど実習にふさわしい装いで受講すること。実習前は、実習園に訪問して現地オリエンテーションを受ける。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	課題提出後にはコメントをいれ適宜返却する。 実習先に連絡を取り、巡回訪問をして指導する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	普段の授業態度を評価				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	40	提出課題で評価				
	その他	50	実習園からの評価				
自由記載							
オフィスアワー	柚木研究室 月・水・金曜日 12時15分～13時 久米研究室 月・火・金曜日 12時15分～13時 三上研究室 水曜日 12時15分～12時50分 菅 研究室 火・水・金曜日 12時15分～13時 メールでの質問・相談を随時受け付ける(件名に学生番号氏名を入れること)						
担当教員E-mail	t-yunoki@sumire.ac.jp（柚木） h-kume@sumire.ac.jp（久米） y-mikami@sumire.ac.jp（三上） m-suga@sumire.ac.jp（菅）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 教育実習の意義・目的・実習生としての心構えの説明	柚木 久米 三上 菅	それぞれの担当者が授業内容の詳細及び心構えを説明する	講義内容をまとめる	90
2 /	外部講師に学ぶ 「幼稚園教育実習に向けて」	柚木 久米 三上 菅	講義 (幼稚園の現場の先生による)	講義内容をまとめる	90
3 /	実習に対する自分の課題を考える 「私の課題」の書き方(前期)	柚木 久米 三上 菅	講義 実習の内容と課題の明確化	「私の課題」の作成をする	90
4 /	実習記録の書き方(前期) 観察・記録・考察	三上 菅	講義 演習	講義内容をまとめる	90
5 /	部分実習指導案の書き方	柚木	講義 グループ演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
6 /	観察の仕方(前期) 子どもの遊びの場面 守秘義務について(前期)	久米	講義 演習	講義内容をまとめる	90
7 /	指導案の書き方 誓約書・実習に関するルールの確認 私の課題の確認	柚木 久米 三上 菅	講義	連絡事項をまとめる	90
8 /	前期実習直前指導	柚木 久米 三上 菅	(前期実習前期実習5月31日～6月11日)	連絡事項をまとめる	90
9 /	前期実習直後指導	柚木 久米 三上 菅	前期実習を振り返り、自己評価	実習した内容についての振り返りをまとめる	90
10 /	前期実習の振り返りから自分の課題を見つける 「私の課題」の書き方(後期)	柚木 久米 三上 菅	講義 実習の内容と課題の明確化	「私の課題」の作成をする	90
11 /	実習記録の書き方(後期) 観察・記録・考察	三上 菅	講義 演習	講義内容をまとめる	90
12 /	責任実習指導案の書き方	柚木	講義 グループ演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
13 /	観察の仕方(後期) 子どもの遊びの場面 守秘義務について(後期)	久米	講義 演習	講義内容をまとめる	90
14 /	後期実習直前指導	柚木 久米 三上 菅	(後期実習9月6日～9月17日)	連絡事項をまとめる	90
15 /	後期実習直後指導	柚木 久米 三上 菅	後期実習を振り返り 自己評価	実習した内容についての振り返りをまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
保育・教職実践演習(幼稚園)(A1C1)	三上 佳子(専 任)・永久 欣也(専 任) 久米 央也(専 任)・李 霞(専 任)	2年次	後期	2	演習	選択	○
							実務経験
							○
Seminar on Practice Nursery and Kindergarten							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・教職課程の科目や保育の専門科目を振り返り、教育実習・保育実習の経験を通して、これまでの学びを集大成していく。 ・教育実習・保育実習から自己の課題を見つけて、自ら将来保育者として保育の現場に立つ自覚を確認し、さらなる知識と実践力を身につけていく。 ・模擬授業を通して乳児とのかかわり方や援助の方法、幼児とのかかわり方や指導の方法などを再確認し、教育実習・保育実習での課題を学び直していく。 ・教職履修カルテの意義を理解し、活用することができる。							
授業の内容 本演習は、保育教育現場で実務経験に携わった教員などが担当する。 教職履修カルテを活用して、これまでに取得した単位の基礎知識を再確認し、不十分な分野の見直しをするとともに、既習知識と実習の経験から得た教育・保育の技術や指導法を活かせる演習をしていく。 授業の構成は、1. 教育の制度・方法 2. 子ども理解 3. 模擬保育を通しての乳児の保育実践と方法論 4. 模擬保育を通しての幼児の保育実践と方法論の4部構成とする。 教育の制度・方法の分野では、実際の現場の内容を把握した上で保育者としての使命感や責任感及び教育的愛をはじめ、基本的な方法論を踏まえた検討を行う。子ども理解では、乳幼児の成長・発達をふまえながら現場における多様な子どもに寄り添う保育・教育について学ぶ。模擬保育では近隣の提携している保育園で乳児対象の実践を行う。幼児対象の模擬保育は、短大附属幼稚園で実践を行う予定である。教育実習の経験から学んだ実践の方法を活かし、ここでは造形表現に活動を絞って、環境構成の方法、指導の流れや幼児の発達を踏まえた教材研究そして、ワークショップ形式での子どもとのかかわりの中で、一人ひとりに寄り添って指導していく方法について学んでいく。なお、本授業では、教職履修カルテを活用するので、必ず毎回確認をすること。							
教科書	『幼稚園教育要領解説』 文部科学省（フレーベル館） 価格（本体190円＋税） 『保育所保育指針解説』 厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体190円＋税） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体249円＋税）						
参考書	『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針（原本）』 発行人浅香俊二（株式会社チャイルド本社）						
担当者からのメッセージ	この科目の受講資格は、教育実習または保育実習の単位を取得した者である。実習の経験を活かして、もう一度専門科目を振り返り、幼児教育・保育に関する学びをさらに深めていただきたい。また、保育者としての自分をイメージしながら積極的に授業に取り組み実践につながる学びをしていくことが望まれる。事前の連絡や掲示を確認しておくこと。 教科書以外の資料は、各担当教員から授業時に配付される。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	模擬授業に関しては、それぞれの実践をビデオに撮り、総括の授業時に振り返りと考察を行う。 「教育の制度・方法」及び「子ども理解」に関しては、提出課題への添削を行い返却する。また提出課題を通して内容の理解度を確認し、次回授業において補足説明等を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	毎回の授業での課題				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	50	各教員のまとめの課題など				
	その他	30	全体での課題など				
自由記載							
オフィスアワー	永久(金、木以外)・李(金、木以外)・久米(金、木以外)・三上(月、木以外) 研究室 12時20分～12時50分 メールでの質問・相談を随時受け付ける 件名に学生番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	y-mikami@sumire.ac.jp (三上) k-lee@sumire.ac.jp (李) k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久) h-kume@sumire.ac.jp (久米)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 実践演習の意義について 教職履修カルテの意義と活用について	三上 李 永久 久米	それぞれの担当者が授業内容の詳細及び心構え、取り組み方等を説明する	教育実習・保育実習の振り返りをした後、それぞれの専門科目についての教科書や資料を読み返す	90
2 /	特別な配慮を必要とする子どもに理解 乳児の模擬保育内容、指導案の検討	久米	講義および演習 グループで指導案の計画を立てる	復習用ワークシートを配付しまとめる 討議した結果をもとに指導案を完成させる	90
3 /	特別な配慮を必要とする子どもへの関わり方 乳児の模擬保育内容の準備	久米	講義および演習 立案した内容を確認・準備等をする 事例を通して	演習 ワークシートに取り組む	90
4 /	特別な配慮を必要とする子どもについての連携 乳児の模擬保育の実施	久米	講義および演習 保育園で模擬保育を行う グループ発表	他者の発表をまとめる	90
5 /	保育職・教育職を知る ・保育職の意義及び職務内容 ・教育職の意義及び職務内容 ・保育者の責任及び使命	李	チーム活動を踏まえて、講義と演習を行う	予習 『保育所保育指針』及び『幼稚園教育要領』を参考にしながら、事前学習シートを完成させる	60
6 /	保育者としての専門性の向上を図る ・どのような保育記録を書くか ・記録から何を読み取るか ・保育に役立つ記録の書き方	李	講義及びチーム活動を踏まえた演習を行い、確認小テストも行う	復習 授業内容の定着を図り、復習用ワークシートを配付し、完成させる	60
7 /	保育マップ型記録を作ってみよう ・保育マップ型記録とは ・保育マップ型記録の要素 ・保育の狙いをどう設定するか	李	講義及び演習 チーム活動を踏まえたグループ発表を中心に	予習 グループワークがスムーズに展開できるよう、予習用ワークシートを配り、完成してもらう	60
8 /	子ども理解 乳幼児の成長・発達	永久	講義及び確認小テスト	予習 『保育所保育指針』及び『幼稚園教育要領』における乳幼児の成長・発達を再確認しておく	60
9 /	子ども理解 個々へのかかわりと全体へのかかわり	永久	講義及び演習 個別の指導・支援計画の作成	復習 個別の指導・支援計画を仕上げる	60
10 /	子ども理解 乳幼児に寄り添うということ	永久	講義及び演習 グループ発表	予習 ワークシート記入	60
11 /	乳幼児の模擬保育 計画と指導案作成	三上	グループで指導内容を計画し、指導案の作成を行う	乳幼児(3.4.5歳児)の造形遊びについて調べ、資料等を集めておく	90
12 /	乳幼児の模擬保育 計画の確認と準備	三上	立案した内容を確認・準備等をする	造形遊びに必要な材料を集め教材研究をしておく	90
13 /	乳幼児の模擬保育 実践	三上	保育園、附属幼稚園で模擬保育を行う	模擬保育の反省をまとめる	90
14 /	模擬保育授業の振り返りと考察 教職履修カルテのまとめ	三上 李 永久 久米	ビデオに収録した乳児・幼児の模擬保育の様子を観ながら考察を行う	模擬保育の考察をまとめる	90
15 /	授業全体の総括とまとめ 教職履修カルテのまとめ	三上 李 永久 久米	講義 それぞれの授業担当者からの総括	今まで授業で使った資料や教科書を読み返しておく	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
保育・教職実践演習(幼稚園)(A2C2)	三上 佳子(専 任)・永久 欣也(専 任) 久米 央也(専 任)・李 霞(専 任)	2年次	後期	2	演習	選択	○
							実務経験
							○
Seminar on Practice Nursery and Kindergarten							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・教職課程の科目や保育の専門科目を振り返り、教育実習・保育実習の経験を通して、これまでの学びを集大成していく。 ・教育実習・保育実習から自己の課題を見つけて、自ら将来保育者として保育の現場に立つ自覚を確認し、さらなる知識と実践力を身につけていく。 ・模擬授業を通して乳児とのかかわり方や援助の方法、幼児とのかかわり方や指導の方法などを再確認し、教育実習・保育実習での課題を学び直していく。 ・教職履修カルテの意義を理解し、活用することができる。							
授業の内容 本演習は、保育教育現場で実務経験に携わった教員などが担当する。 教職履修カルテを活用して、これまでに取得した単位の基礎知識を再確認し、不十分な分野の見直しをするとともに、既習知識と実習の経験から得た教育・保育の技術や指導法を活かせる演習をしていく。 授業の構成は、1. 教育の制度・方法 2. 子ども理解 3. 模擬保育を通しての乳児の保育実践と方法論 4. 模擬保育を通しての幼児の保育実践と方法論の4部構成とする。 教育の制度・方法の分野では、実際の現場の内容を把握した上で保育者としての使命感や責任感及び教育的愛をはじめ、基本的な方法論を踏まえた検討を行う。子ども理解では、乳幼児の成長・発達をふまえながら現場における多様な子どもに寄り添う保育・教育について学ぶ。模擬保育では近隣の提携している保育園で乳児対象の実践を行う。幼児対象の模擬保育は、短大附属幼稚園で実践を行う予定である。教育実習の経験から学んだ実践の方法を活かし、ここでは造形表現に活動を絞って、環境構成の方法、指導の流れや幼児の発達を踏まえた教材研究そして、ワークショップ形式での子どもとのかかわりの中で、一人ひとりに寄り添って指導していく方法について学んでいく。 なお、本授業では、教職履修カルテを活用するので、必ず毎回確認をすること。							
教科書	『幼稚園教育要領解説』 文部科学省（フレーベル館） 価格（本体190円＋税） 『保育所保育指針解説』 厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体190円＋税） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体249円＋税）						
参考書	『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針（原本）』 発行人浅香俊二（株式会社チャイルド本社）						
担当者からのメッセージ	この科目の受講資格は、教育実習または保育実習の単位を取得した者である。実習の経験を活かして、もう一度専門科目を振り返り、幼児教育・保育に関する学びをさらに深めていただきたい。また、保育者としての自分をイメージしながら積極的に授業に取り組み実践につながる学びをしていくことが望まれる。 模擬保育は附属幼稚園や近隣の保育所で行う予定である。事前の連絡や掲示を確認しておくこと。 教科書以外の資料は、各担当教員から授業時に配付される。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	模擬授業に関しては、それぞれの実践をビデオに撮り、総括の授業時に振り返りと考察を行う。 「教育の制度・方法」及び「子ども理解」に関しては、提出課題への添削を行い返却する。また提出課題を通して内容の理解度を確認し、次回授業において補足説明等を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	毎回の授業での課題				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	50	各教員のまとめの課題など				
	その他	30	全体での課題など				
自由記載							
オフィスアワー	永久(金、木以外)・李(金、木以外)・久米(金、木以外)・三上(月、木以外) 研究室 12時20分～12時50分 メールでの質問・相談を随時受け付ける 件名に学生番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	y-mikami@sumire.ac.jp (三上) k-lee@sumire.ac.jp (李) k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久) h-kume@sumire.ac.jp (久米)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 実践演習の意義について	三上 李 永久 久米	それぞれの担当者が授業内容の詳細及び心構え、取り組み方等を説明する	教育実習・保育実習の振り返りをした後、それぞれの専門科目についての教科書や資料を読み返す	90
2 /	保育職・教育職を知る ・保育職の意義及び職務内容 ・教育職の意義及び職務内容 ・保育者の責任及び使命	李	チーム活動を踏まえて、講義と演習を行う	予習 『保育所保育指針』及び『幼稚園教育要領』を参考にしながら、事前学習シートを完成させる	60
3 /	保育者としての専門性の向上を図る ・どのような保育記録を書くか ・記録から何を読み取るか ・保育に役立つ記録の書き方	李	講義及びチーム活動を踏まえた演習を行い、確認小テストも行う	復習 授業内容の定着を図り、復習用ワークシートを配付し、完成させる	60
4 /	保育マップ型記録を作ってみよう ・保育マップ型記録とは ・保育マップ型記録の要素 ・保育の狙いをどう設定するか	李	講義及び演習 チーム活動を踏まえたグループ発表を中心に	予習 グループワークがスムーズに展開できるように、予習用ワークシートを配り、完成してもらう	60
5 /	子ども理解 乳幼児の成長・発達	永久	講義及び確認小テスト	予習 『保育所保育指針』及び『幼稚園教育要領』における乳幼児の成長・発達を再確認しておく	60
6 /	子ども理解 個々へのかかわりと全体へのかかわり	永久	講義及び演習 個別の指導・支援計画の作成	復習 個別の指導・支援計画を仕上げる	60
7 /	子ども理解 乳幼児に寄り添うということ	永久	講義及び演習 グループ発表	予習 ワークシート記入	60
8 /	乳幼児の模擬保育 計画と指導案作成	三上	グループで指導内容を計画し、指導案の作成を行う	乳幼児(3.4.5歳児)の造形遊びについて調べ、資料等を集めておく	90
9 /	乳幼児の模擬保育 計画の確認と準備	三上	立案した内容を確認・準備等をする	造形遊びに必要な材料を集め教材研究をしておく	90
10 /	乳幼児の模擬保育 実践	三上	保育園、附属幼稚園で模擬保育を行う	模擬保育の反省をまとめる	90
11 /	特別な配慮を必要とする子どもに理解 乳児の模擬保育内容、指導案の検討	久米	講義および演習 グループで指導案の計画を立てる	復習用ワークシートを配付しまとめる 討議した結果をもとに指導案を完成させる	90
12 /	特別な配慮を必要とする子どもへの関わり方 乳児の模擬保育内容の準備	久米	講義および演習 立案した内容を確認・準備等をする 事例を通して	演習 ワークシートに取り組む	90
13 /	特別な配慮を必要とする子どもについての連携 乳児の模擬保育の実施	久米	講義および演習 保育園で模擬保育を行う グループ発表	他者の発表をまとめる	90
14 /	模擬保育授業の振り返りと考察	三上 李 永久 久米	ビデオに収録した乳児・幼児の模擬保育の様子を観ながら考察を行う	模擬保育の考察をまとめる	90
15 /	授業全体の総括とまとめ	三上 李 永久 久米	講義 それぞれの授業担当者からの総括	今まで授業で使った資料や教科書を読み返しておく	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
保育・教職実践演習(幼稚園)(B1D1)	三上 佳子(専 任)・永久 欣也(専 任)	2年次	後期	2	演習	選択	○
	久米 央也(専 任)・李 霞(専 任)						実務経験
							○
Seminar on Practice Nursery and Kindergarten							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
授業の到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・教職課程の科目や保育の専門科目を振り返り、教育実習・保育実習の経験を通して、これまでの学びを集大成していく。 ・教育実習・保育実習から自己の課題を見つけて、自ら将来保育者として保育の現場に立つ自覚を確認し、さらなる知識と実践力を身につけていく。 ・模擬授業を通して乳児とのかかわり方や援助の方法、幼児とのかかわり方や指導の方法などを再確認し、教育実習・保育実習での課題を学び直していく。 ・教職履修カルテの意義を理解し、活用することができる。 							
授業の内容							
<p>本演習は、保育教育現場で実務経験に携わった教員などが担当する。</p> <p>教職履修カルテを活用して、これまでに取得した単位の基礎知識を再確認し、不十分な分野の見直しをするとともに、既習知識と実習の経験から得た教育・保育の技術や指導法を活かせる演習をしていく。 授業の構成は、1. 教育の制度・方法 2. 子ども理解 3. 模擬保育を通しての乳児の保育実践と方法論 4. 模擬保育を通しての幼児の保育実践と方法論の4部構成とする。 教育の制度・方法の分野では、実際の現場の内容を把握した上で保育者としての使命感や責任感及び教育的愛をはじめ、基本的な方法論を踏まえた検討を行う。子ども理解では、乳幼児の成長・発達をふまえながら現場における多様な子どもに寄り添う保育・教育について学ぶ。模擬保育では近隣の提携している保育園で乳児対象の実践を行う。幼児対象の模擬保育は、短大附属幼稚園で実践を行う予定である。教育実習の経験から学んだ実践の方法を活かし、ここでは造形表現に活動を絞って、環境構成の方法、指導の流れや幼児の発達を踏まえた教材研究そして、ワークショップ形式での子どもとのかかわりの中で、一人ひとりに寄り添って指導していく方法について学んでいく。</p> <p>なお、本授業では、教職履修カルテを活用するので、必ず毎回確認をすること。</p>							
教科書	『幼稚園教育要領解説』 文部科学省（フレーベル館） 価格（本体190円＋税） 『保育所保育指針解説』 厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体190円＋税） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体249円＋税）						
参考書	『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針（原本）』 発行人浅香俊二（株式会社チャイルド本社）						
担当者からのメッセージ	この科目の受講資格は、教育実習または保育実習の単位を取得した者である。実習の経験を活かして、もう一度専門科目を振り返り、幼児教育・保育に関する学びをさらに深めていただきたい。また、保育者としての自分をイメージしながら積極的に授業に取り組み実践につながる学びをしていくことが望まれる。 模擬保育は附属幼稚園や近隣の保育所で行う予定である。事前の連絡や掲示を確認しておくこと。 教科書以外の資料は、各担当教員から授業時に配付される。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	模擬授業に関しては、それぞれの実践をビデオに撮り、総括の授業時に振り返りと考察を行う。 「教育の制度・方法」及び「子ども理解」に関しては、提出課題への添削を行い返却する。また提出課題を通して内容の理解度を確認し、次回授業において補足説明等を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	毎回の授業での課題				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	50	各教員のまとめの課題など				
	その他	30	全体での課題など				
自由記載							
オフィスアワー	永久(金、木以外)・李(金、木以外)・久米(金、木以外)・三上(月、木以外) 研究室 12時20分～12時50分 メールでの質問・相談を随時受け付ける 件名に学生番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	y-mikami@sumire.ac.jp (三上) k-lee@sumire.ac.jp (李) k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久) h-kume@sumire.ac.jp (久米)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 実践演習の意義について	三上 李 永久 久米	それぞれの担当者が授業内容の詳細及び心構え、取り組み方等を説明する	教育実習・保育実習の振り返りをした後、それぞれの専門科目についての教科書や資料を読み返す	90
2 /	子ども理解 乳幼児の成長・発達	永久	講義及び確認小テスト	予習 『保育所保育指針』及び『幼稚園教育要領』における乳幼児の成長・発達を再確認しておく	60
3 /	子ども理解 個々へのかかわりと全体へのかかわり	永久	講義及び演習 個別の指導・支援計画の作成	復習 個別の指導・支援計画を仕上げる	60
4 /	子ども理解 乳幼児に寄り添うということ	永久	講義及び演習 グループ発表	予習 ワークシート記入	60
5 /	乳幼児の模擬保育 計画と指導案作成	三上	グループで指導内容を計画し、指導案の作成を行う	乳幼児(3.4.5歳児)の造形遊びについて調べ、資料等を集めておく	90
6 /	乳幼児の模擬保育 計画の確認と準備	三上	立案した内容を確認・準備等をする	造形遊びに必要な材料を集め教材研究をしておく	90
7 /	乳幼児の模擬保育 実践	三上	保育園、附属幼稚園で模擬保育を行う	模擬保育の反省をまとめる	90
8 /	特別な配慮を必要とする子どもに理解 乳児の模擬保育内容、指導案の検討	久米	講義および演習 グループで指導案の計画を立てる	復習用ワークシートを配付しまとめる 討議した結果をもとに指導案を完成させる	90
9 /	特別な配慮を必要とする子どもへの関わり方 乳児の模擬保育内容の準備	久米	講義および演習 立案した内容を確認・準備等をする 事例を通して	演習 ワークシートに取り組む	90
10 /	特別な配慮を必要とする子どもについての連携 乳児の模擬保育の実施	久米	講義および演習 保育園で模擬保育を行う グループ発表	他者の発表をまとめる	90
11 /	保育職・教育職を知る ・保育職の意義及び職務内容 ・教育職の意義及び職務内容 ・保育者の責任及び使命	李	チーム活動を踏まえて、講義と演習を行う	予習 『保育所保育指針』及び『幼稚園教育要領』を参考にしながら、事前学習シートを完成させる	60
12 /	保育者としての専門性の向上を図る ・どのような保育記録を書くか ・記録から何を読み取るか ・保育に役立つ記録の書き方	李	講義及びチーム活動を踏まえた演習を行い、確認小テストも行う	復習 授業内容の定着を図り、復習用ワークシートを配付し、完成させる	60
13 /	保育マップ型記録を作ってみよう ・保育マップ型記録とは ・保育マップ型記録の要素 ・保育の狙いをどう設定するか	李	講義及び演習 チーム活動を踏まえたグループ発表を中心に	予習 グループワークがスムーズに展開できるよう、予習用ワークシートを配り、完成してもらう	60
14 /	模擬保育授業の振り返りと考察	三上 李 永久 久米	ビデオに収録した乳児・幼児の模擬保育の様子を観ながら考察を行う	模擬保育の考察をまとめる	90
15 /	授業全体の総括とまとめ	三上 李 永久 久米	講義 それぞれの授業担当者からの総括	今まで授業で使った資料や教科書を読み返しておく	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
保育・教職実践演習(幼稚園)(B2D2)	三上 佳子(専 任)・永久 欣也(専 任) 久米 央也(専 任)・李 霞(専 任)	2年次	後期	2	演習	選択	○
							実務経験
							○
Seminar on Practice Nursery and Kindergarten							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・教職課程の科目や保育の専門科目を振り返り、教育実習・保育実習の経験を通して、これまでの学びを集大成していく。 ・教育実習・保育実習から自己の課題を見つけて、自ら将来保育者として保育の現場に立つ自覚を確認し、さらなる知識と実践力を身につけていく。 ・模擬授業を通して乳児とのかかわり方や援助の方法、幼児とのかかわり方や指導の方法などを再確認し、教育実習・保育実習での課題を学び直していく。 ・教職履修カルテの意義を理解し、活用することができる。							
授業の内容 本演習は、保育教育現場で実務経験に携わった教員などが担当する。 教職履修カルテを活用して、これまでに取得した単位の基礎知識を再確認し、不十分な分野の見直しをするとともに、既習知識と実習の経験から得た教育・保育の技術や指導法を活かせる演習をしていく。 授業の構成は、1. 教育の制度・方法 2. 子ども理解 3. 模擬保育を通しての乳児の保育実践と方法論 4. 模擬保育を通しての幼児の保育実践と方法論の4部構成とする。 教育の制度・方法の分野では、実際の現場の内容を把握した上で保育者としての使命感や責任感及び教育的愛をはじめ、基本的な方法論を踏まえた検討を行う。子ども理解では、乳幼児の成長・発達をふまえながら現場における多様な子どもに寄り添う保育・教育について学ぶ。模擬保育では近隣の提携している保育園で乳児対象の実践を行う。幼児対象の模擬保育は、短大附属幼稚園で実践を行う予定である。教育実習の経験から学んだ実践の方法を活かし、ここでは造形表現に活動を絞って、環境構成の方法、指導の流れや幼児の発達を踏まえた教材研究そして、ワークショップ形式での子どもとのかかわりの中で、一人ひとりに寄り添って指導していく方法について学んでいく。 なお、本授業では、教職履修カルテを活用するので、必ず毎回確認をすること。							
教科書	『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 (フレーベル館) 価格(本体190円+税) 『保育所保育指針解説』 厚生労働省 (フレーベル館) 価格(本体190円+税) 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省 (フレーベル館) 価格(本体249円+税)						
参考書	『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針(原本)』 発行人浅香俊二(株式会社チャイルド本社)						
担当者からのメッセージ	この科目の受講資格は、教育実習または保育実習の単位を取得した者である。実習の経験を活かして、もう一度専門科目を振り返り、幼児教育・保育に関する学びをさらに深めていただきたい。また、保育者としての自分をイメージしながら積極的に授業に取り組み実践につながる学びをしていくことが望まれる。事前の連絡や掲示を確認しておくこと。 教科書以外の資料は、各担当教員から授業時に配付される。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	模擬授業に関しては、それぞれの実践をビデオに撮り、総括の授業時に振り返りと考察を行う。 「教育の制度・方法」及び「子ども理解」に関しては、提出課題への添削を行い返却する。また提出課題を通して内容の理解度を確認し、次回授業において補足説明等を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	毎回の授業での課題				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	50	各教員のまとめの課題など				
	その他	30	全体での課題など				
自由記載							
オフィスアワー	永久(金、木以外)・李(金、木以外)・久米(金、木以外)・三上(月、木以外) 研究室 12時20分～12時50分 メールでの質問・相談を随時受け付ける 件名に学生番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	y-mikami@sumire.ac.jp (三上) k-lee@sumire.ac.jp (李) k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久) h-kume@sumire.ac.jp (久米)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 実践演習の意義について	三上 李 永久 久米	それぞれの担当者が授業内容の詳細及び心構え、取り組み方等を説明する	教育実習・保育実習の振り返りをした後、それぞれの専門科目についての教科書や資料を読み返す	90
2 /	乳幼児の模擬保育 計画と指導案作成	三上	グループで指導内容を計画し、指導案の作成を行う	乳幼児(3.4.5歳児)の造形遊びについて調べ、資料等を集めておく	90
3 /	乳幼児の模擬保育 計画の確認と準備	三上	立案した内容を確認・準備等をする	造形遊びに必要な材料を集め教材研究をしておく	90
4 /	乳幼児の模擬保育 実践	三上	保育園、附属幼稚園で模擬保育を行う	模擬保育の反省をまとめる	90
5 /	特別な配慮を必要とする子どもに理解 乳児の模擬保育内容、指導案の検討	久米	講義および演習 グループで指導案の計画を立てる	復習用ワークシートを配付しまとめる 討議した結果をもとに指導案を完成させる	90
6 /	特別な配慮を必要とする子どもへの関わり方 乳児の模擬保育内容の準備	久米	講義および演習 立案した内容を確認・準備等をする 事例を通して	演習 ワークシートに取り組む	90
7 /	特別な配慮を必要とする子どもについての連携 乳児の模擬保育の実施	久米	講義および演習 保育園で模擬保育を行う グループ発表	他者の発表をまとめる	60
8 /	保育職・教育職を知る ・保育職の意義及び職務内容 ・教育職の意義及び職務内容 ・保育者の責任及び使命	李	チーム活動を踏まえて、講義と演習を行う	予習 『保育所保育指針』及び『幼稚園教育要領』を参考にしながら、事前学習シートを完成させる	60
9 /	保育者としての専門性の向上を図る ・どのような保育記録を書くか ・記録から何を読み取るか ・保育に役立つ記録の書き方	李	講義及びチーム活動を踏まえた演習を行い、確認小テストも行う	復習 授業内容の定着を図り、復習用ワークシートを配付し、完成させる	60
10 /	保育マップ型記録を作ってみよう ・保育マップ型記録とは ・保育マップ型記録の要素 ・保育の狙いをどう設定するか	李	講義及び演習 チーム活動を踏まえたグループ発表を中心に	予習 グループワークがスムーズに展開できるよう、予習用ワークシートを配り、完成してもらう	60
11 /	子ども理解 乳幼児の成長・発達	永久	講義及び確認小テスト	予習 『保育所保育指針』及び『幼稚園教育要領』における乳幼児の成長・発達を再確認しておく	60
12 /	子ども理解 個々へのかかわりと全体へのかかわり	永久	講義及び演習 個別の指導・支援計画の作成	復習 個別の指導・支援計画を仕上げる	60
13 /	子ども理解 乳幼児に寄り添うということ	永久	講義及び演習 グループ発表	予習 ワークシート記入	60
14 /	模擬保育授業の振り返りと考察	三上 李 永久 久米	ビデオに収録した乳児・幼児の模擬保育の様子を観ながら考察を行う	模擬保育の考察をまとめる	90
15 /	授業全体の総括とまとめ	三上 李 永久 久米	講義 それぞれの授業担当者からの総括	今まで授業で使った資料や教科書を読み返しておく	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
専門演習 I	北尾 岳夫(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
Seminar I							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・子どもの`野外活動、や`体験活動、の意義を理解し、その計画の立案と実践ができる。 ・保育現場での様々な行事やイベントの企画立案ができ、中心となって運営することができる。 ・`運動遊び、に関する指導計画の立案と実践ができる。							
授業の内容 北尾が担当する専門演習については、`体験活動、`野外活動、`運動遊び、という3つのキーワードを設定する。取り組む内容によっては、授業時間以外の活動も必要となり、土日や休暇中の活動も行う場合がある。子どもたちを元気にするために、私たちにできることを一緒に考えて実践したい。 北尾担当の専門演習を選択した学生は、幼児体育Ⅲも受講すること。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	専門演習は、担当教員の専門性のもとに、各自の興味関心に対する知識と理解を深める科目である。したがって、主体的な`学び、の度合いが受講態度として評価の対象となる。受け身になることなく、担当教員との積極的なコミュニケーションを図りながら、自分の得意分野を作り上げて欲しい。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	必要に応じて、質問に対する回答やフィードバックを行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	ゼミの活動に対する積極的な姿勢				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	ゼミでの取り組みに関わる貢献度とグループ内での人間関係性				
自由記載							
オフィスアワー	北尾研究室 月曜～木曜日 12時15分～12時45分 *木曜日は12時40分～13時10分						
担当教員E-mail	t-kitao@sumire.ac.jp (北尾)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	専門演習Ⅰ(北尾ゼミ)の流れを理解する	北尾	演習	各自の興味関心について、発言できるように準備しておく	90
2 /	キーワードについて調べる	北尾	演習	各グループ内で決められた役割に沿って、ゼミ勉強会に向けて準備を進める	180
3 /	キーワードについて調べたことをまとめる	北尾	演習	各グループ内で決められた役割に沿って、ゼミ勉強会に向けて準備を進める	180
4 /	ゼミ勉強会	北尾	演習	各グループ内で決められた役割に沿って、ゼミ勉強会に向けて準備を進める	180
5 /	ウォームアップイベントの企画	北尾	演習	ゼミ内で行うイベントについて、各自の考えをまとめておく	180
6 /	ウォームアップイベントの具体的な立案	北尾	演習	決められたイベントに向けて、授業時間内ではできなかった準備作業を行う	180
7 /	ウォームアップイベントの実施	北尾	演習	イベントに向けて準備作業を行う	180
8 /	〘運動遊び、の意義について理解を深める	北尾	演習	内容についてまとめておく	180
9 /	〘運動遊び、の実際について理解を深める	北尾	演習	内容についてまとめておく	180
10 /	〘野外活動、〘体験活動、の意義について理解を深める	北尾	演習	内容についてまとめておく	180
11 /	〘野外活動、〘体験活動、の実際について理解を深める	北尾	演習	内容についてまとめておく	180
12 /	〘野外活動、〘体験活動、の安全について理解を深める	北尾	演習	内容についてまとめておく	180
13 /	〘野外活動、〘体験活動、の実践について検討する	北尾	演習	内容についてまとめておく	180
14 /	〘野外活動、〘体験活動、の実践の際の役割分担を決める	北尾	演習	内容についてまとめておく	180
15 /	まとめ	北尾	演習	専門演習Ⅱに向けての準備活動をする	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
専門演習 I	柚木たまみ(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar I							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・ 幼児教育保育における音楽表現領域の役割、可能性を知り、主体的に実践準備を進めることができる。 ・ 現場での実践を通して、さまざまな音楽の使い方、音楽活動のあり方を理解する。							
授業の内容 この授業では、教員の長年にわたる教育者、演奏家としてのキャリア、そして音楽療法士としての臨床経験を生かし、「生きた」音楽の情報を発信していく。 音楽表現は、他の領域とつながり、さまざまなねらいを持って展開することができる重要なツールである。 具体的な実践やロールプレイ、活動参観を通してそのイメージを捉え、各々決めたテーマの研究を進めていく。							
教科書	なし						
参考書	「クロックオーケストラ」 https://bunkyo.repo.nii.ac.jp/ 他、授業内に提示、紹介						
担当者からのメッセージ	音楽の使い方をいろいろ知ることにより、表現手段を多く持ち、表現能力を磨きましょう。 そして、幼児教育保育の現場で自信を持って実践する最後の準備をしましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	教員からのフィードバックは、活動の節目で必ず口頭によるコメントや添削により行います。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	研究テーマの決定に向けた意欲的、積極的な活動を評価する				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	決定した研究テーマの発表と専門演習IIIに向けた計画内容の充実度を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	柚木研究室 金曜日 12時15分～13時 その他随時応じる e-mailによる予約が望ましい						
担当教員E-mail	t-yunoki@sumire.ac.jp (柚木)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション ゼミナールの進め方について説明	柚木	講義 演習	ノート作成	30
2 /	音楽表現領域でのテーマ決定に向けて 学生各々の研究テーマにより指導内容は異なる	柚木	講義、文献購読、演習等、 学生各々に方法を提示する	ノート作成 関心のあるテーマをピック アップ	60
3 /	テーマ決定のための活動	柚木	講義、文献購読、演習、実 習	ノート作成 情報収集	60
4 /	テーマ決定のための活動	柚木	講義、文献購読、演習、実 習	ノート作成 情報収集	60
5 /	テーマ決定のための活動	柚木	講義、文献購読、演習、実 習	ノート作成 情報収集	60
6 /	テーマ決定のための活動	柚木	講義、演習、実習	発表準備	60
7 /	テーマ決定に向けての活動	柚木	演習、実習	発表準備	90
8 /	研究テーマについて中間発表	柚木	演習、発表	発表準備	90
9 /	テーマ決定に向けての活動	柚木	講義、文献購読、演習、実 習	ノート作成 情報収集	60
10 /	テーマ決定に向けての活動	柚木	講義、文献購読、演習、実 習	ノート作成 情報収集	60
11 /	テーマ決定に向けての活動	柚木	講義、文献購読、演習、実 習	ノート作成 情報収集	60
12 /	テーマ決定に向けての活動	柚木	講義、文献購読、演習、実 習	ノート作成 情報収集	60
13 /	テーマ決定に向けての活動 テーマ発表の準備	柚木	講義、文献購読、演習、実 習	ノート作成 情報収集 発表準備	60
14 /	テーマ決定に向けての活動 テーマ発表の準備	柚木	演習、実習	発表準備	90
15 /	研究テーマ発表 専門演習IIIに向けて	柚木	演習、発表	発表準備	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
専門演習 I	深尾 秀一(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
Seminar I							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・造形作品制作をとおして「自己における絶対」の探求ができる。 ・素材の扱いについて、技術や知識を学ぶ。 ・美術教育の重要性を理解する。							
授業の内容 領域を造形とし、個々の作品制作をとおして「自己における絶対」の探求を主眼としています。自己に内在するイメージの造形表現における具現化を目標にし、そのための素材研究や教材研究などの美術教育についても考えていきます。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	個々の問題意識を中心に進めるため、主体的な取り組みが必須です。素材の取り扱いの違いにより、時間外作業もあります。なお、作品制作に関する材料費は個人持ちとなる場合があります。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	研究課題作品に関して、中間発表、および発表展覧会の評価を行います。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	個々の研究課題や制作への主体的な取り組みを評価				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート						
	その他	70	研究成果及びその研究作品の評価				
自由記載							
オフィスアワー	深尾研究室 水曜日 16時30分～17時10分（事前予約が望ましい） その他メールでの質問随時受付 件名に学籍番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	h-fukao@sumire.ac.jp（深尾）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 造形の領域と研究について	深尾	講義、演習	研究の方向性を広い視野で検討しておく	90
2 /	前期プロジェクト研究計画書の作成	深尾	演習	計画書案を完成させる	90
3 /	研究計画書に基づいて個人指導を行う	深尾	演習	計画書の再検討および完成	90
4 /	作品制作指導とセミナー 前期プロジェクト エスキースの作成	深尾	演習	エスキースの制作を進める	90
5 /	作品制作指導とセミナー 前期プロジェクト作品試作	深尾	演習	試作作品制作を進める	90
6 /	作品制作指導とセミナー 前期プロジェクト制作	深尾	演習	研究作品制作を進める	90
7 /	作品制作指導とセミナー 前期プロジェクト完成	深尾	演習	中間発表準備	90
8 /	作品制作指導とセミナー 展示発表	深尾	演習	展示発表準備	90
9 /	前期 中間発表 制作された複数の作品展示、前期前半プロジェクト研究の総括	深尾	演習 合評	他の学生の研究もしっかりと理解しまとめてお	90
10 /	前期後半プロジェクト研究計画書作	深尾	演習	研究計画の改定調整を行う	90
11 /	前期後半プロジェクト研究計画書、ポートフォリオに基づいて個人指導	深尾	演習	研究作品制作を進める	90
12 /	作品制作指導とセミナー 前期後半プロジェクト エスキース制作と試作	深尾	演習	研究作品制作を進める	90
13 /	作品制作指導とセミナー 前期後半プロジェクト制作	深尾	演習	研究作品制作を進める	90
14 /	作品制作指導とセミナー 前期後半プロジェクト完成 発表準備	深尾	演習	前期最終発表の準備	90
15 /	前期最終発表 制作された複数の作品を展示し、合評を通じて後期の卒業制作研究に検討を加える	深尾	演習 合評	後期に向かった課題の把握	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
専門演習 I	久米央也(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
Seminar I							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・幼稚園や保育園、認定こども園で、園児が算数の素地を遊びながら学べるためにできること（カリキュラム開発や教材作り、保育環境など）を考えることができる。 ・園児が遊びながら算数の素地を学ぶことができる教材を作成したり、保育環境やカリキュラムをまとめたりした結果を発表することができる。							
授業の内容 園児が数・量・図形に興味を持ち、遊びながら算数の素地を学ぶには、どのような教育プログラムや教材、保育環境を用意すればよいのかについて、各自がテーマを決めて研究を進めていく。まずは、算数の素地とは何かについて、文献から研究し、自分にあったテーマを決め出す。研究し開発した内容については、中間発表会で相互評価をしていく。							
教科書	なし						
参考書	テーマにあった参考書を提示します						
担当者からのメッセージ	幼児教育において、数・量・図形の興味関心や感覚を養うことは大切なねらいのひとつである。それぞれが、テーマをもって主体的に調査研究を進めていく。成績評価の「受講態度」については、「主体的に取り組んでいるか」を観点とする。「わたしは大学で確かに～について研究しました」と言えるように、サポートしていく。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎時間、研究の進捗状況について、個別に指導をしていく。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	主体的に自分の研究したいことに対し取り組んでいたかを評価する				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	20	課題について自分の考えが持っていたかについて評価する				
	その他	30	算数の素地を培う教材について評価する				
	自由記載						
オフィスアワー	久米研究室 火曜日 12時15分～12時50分（事前に連絡してください）						
担当教員E-mail	h-kume@sumire.ac.jp（久米）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 専門演習について学び方を理解する 幼児期に必要な算数的活動について学ぶ(文献を読む)	久米	演習	論文・文献を読む	100
2 /	幼児期に必要な算数的活動について学ぶ(文献を読む・実際に体験する)	久米	演習	論文・文献を読む	100
3 /	幼児期に必要な算数的活動について学ぶ(文献を読む・実際に体験する)	久米	演習	論文・文献を読む	100
4 /	幼児期における数学的思考の素地を育てる遊びについて考え体験する	久米	演習	体験したことをまとめる	100
5 /	研究テーマを決める テーマに従って研究計画を立てる	久米	演習	研究テーマの計画を立てる	100
6 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材を作成する)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
7 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材を作成する)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
8 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材を作成する)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
9 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材を作成する・試す)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
10 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材を作成する・試す)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
11 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材を作成する・試す)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
12 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(幼稚園で試す)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
13 /	研究成果のをまとめる	久米	演習	修正点・改善点をまとめる	100
14 /	研究成果の発表準備をする	久米	演習	発表準備をする	100
15 /	研究成果について発表をする 相互評価をする	久米	演習	発表の成果をまとめる	100
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
専門演習 I	李 霞(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
Seminar I							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・幼児教育・保育の特徴を知る。 ・3.4.5歳児の発達と保育者の役割について理解する。 ・幼児との関わり方や幼児に対する援助の方法を学び、運用することができる。							
授業の内容 幼児教育は生きる力の基礎を培うことを目的としており、保育者には子どもの目線に合わせたより良い保育の実践を提供する努力が求められる。生きる力の基礎を育むために必要な視点や方法とは何かを究明するために、本授業では、3.4.5歳児の発達と保育者の役割及び、幼児との関わり方や幼児に対する援助の方法を中心に見ていく。							
教科書	なし						
参考書	本学では販売しません 安見克夫『3・4・5歳児への言葉かけ 実践！ふれあいテクニック』Gakken 原坂一郎『子どもがこっちを向く「ことばがけ」』ひかりのくに 若林千種『気になる子の保育がうまくいく方法』ひかりのくに						
担当者からのメッセージ	グループワークも多く取り入れているため、積極的な参加が不可欠である。 講義内容について、常に「自分はどう思うか」「自分ならどうするか」を考えながら受講すること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回、授業を受けた感想を一枚ミニレポートに書く。 授業内容に対する学生たちの理解を深めるために、重要な視点・論点が含まれるもの、学生の中で良くできた感想や模範解答を授業開始時にスライドにて紹介する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	毎回の授業を受けた感想をポートフォリオに記入してもらい、授業内容についての理解度を評価する				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	40	一学期の授業を振り返り、気づいたこと、重要だと思ったことをレポートにまとめること				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	李研究室 月・火・水曜日 12:15～12:45 sumireメールにて事前に連絡ください（お名前・相談事項・来室希望時間を明記すること）。						
担当教員E-mail	k-lee@sumire.ac.jp（李）						
教員相互授業参観	2～6回公開（二週間前までに連絡ください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション： 幼児理解とは何か	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習するよう指示する。	60
2 /	幼児をまるごと受け入れるとはⅠ ・子どもが泣いたとき ・子どもがうそをついていると思われたとき	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習するよう指示する。	60
3 /	幼児をまるごと受け入れるとはⅡ ・食事中にトラブルがあった時 ・おねしょやお漏らしをしたとき	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習するよう指示する。	60
4 /	幼児をまるごと受け入れるとはⅢ ・挨拶の返事ができないとき ・子どものあいさつに元気がないとき ・子ども達の返事が間延びしているとき	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習するよう指示する。	60
5 /	幼児をまるごと受け入れるとはⅣ ・集団活動に取り組みえないとき ・大人に甘えるとき	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習するよう指示する。	60
6 /	子どもに満足感を与えるためにⅠ ・子どもが泣き止まないとき ・子どもが次々と自分の要求を言うとき	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習するよう指示する。	60
7 /	子どもに満足感を与えるためにⅡ ・子どもが騒ぎ出すとき ・遊びに集中できないとき	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習するよう指示する。	60
8 /	子どもに満足感を与えるためにⅢ ・子ども達に対することばがけの工夫	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習するよう指示する。	60
9 /	すべきことを具体的にいうⅠ ・水を出しっぱなしにしているとき ・ごみのポイ捨てをしたとき ・歩行中、車が近づいてきたとき ・子どもの不注意で痛い目に遭ったとき	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習するよう指示する。	60
10 /	すべきことを具体的にいうⅡ ・子どもに興味をもたせたいとき ・子どもたちが並ばないとき ・食べるのに時間がかかるとき ・手洗いが長すぎる時	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習するよう指示する。	60
11 /	すべきことを具体的にいうⅢ ・休み前の注意事項をいうとき ・誕生会で子どもに年齢を聞くとき ・子どもが危ないことをしているとき ・食事のマナーが悪いとき	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習するよう指示する。	60
12 /	検討会Ⅰ	李	演習	復習 発表会に向けて準備を進むよ う指示する。	60
13 /	検討会Ⅱ	李	演習	復習 発表会に向けて準備を進むよ う指示する。	60
14 /	検討会Ⅲ	李	演習	復習 発表会に向けて準備を進むよ う指示する。	60
15 /	発表会	李	演習	復習 一学期の授業を振り返り、気 づいたこと、重要だと思った ことをレポートにまとめる。	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
専門演習 I	三上 佳子(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar I							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・ 本学附属幼稚園の同一クラスに継続して保育参加し、遊びを楽しんだり、子どもと関わる喜びを実感している。 ・ 子どもの遊びの様子や保育者の関わりを記録し、子どもや保育者の気持ちや思いを理解しようとしている。 ・ 「自己課題」や「目指す保育者像」をもち、保育者との対話やグループワークに参加する。							
授業の内容 幼稚園及び教育行政の経験を踏まえ、専門演習Iを指導する。 保育者は、遊びの中で子どもと関わる楽しさを見出し、子ども理解や子どもの育ちを願った丁寧な関わりが求められている。本授業では、学生が、なりたい保育者像や育てたい子ども像を掲げ、保育現場や保育実践の映像等を通して、子どもの興味関心など気持ちや思いを丁寧に見取り、保育者の関わりについても観察・記録をする。また、保育者との対話から、保育者の意図的な関わりについても学ぶ機会を設ける。							
教科書	なし						
参考書	高山静子「保育者の関わり方の理論と実践」 無籐隆『子どもの姿ベースの新しい指導計画』 0～2歳児『子どもの姿ベースの新しい指導計画』 3～4歳児『子どもの姿ベースの新しい指導計画』						
担当者からのメッセージ	保育現場等で直接、子ども達と関わったり学んだりする貴重な機会である。保育者の関わりを学ぶ中で『子どもたちの気持ちを尊重する』『一人一人の興味から遊びは始まる』『保育は楽しい』ことを大切に参加してほしい。本授業では、演習やグループワークをするが自主的に考えて行動したり、学生同士が協力して進める態度・姿勢及びまとめを評価の対象とする。毎時、専用ファイルを持参すること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	自己課題や目指す保育者像を意識し、演習後に振り返りや記録をする。 振り返りシートや記録は、コメントを付け定期的に点検し、成果を指導に生かしていく。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	主体的に課題に取り組んでいたかの評価				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	20	課題提出				
	その他	30	まとめの評価				
自由記載							
オフィスアワー	三上研究室 水曜日 12時15分～12時50分(事前に連絡ください)						
担当教員E-mail	y-mikami@sumire.ac.jp (三上)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション(専門演習の学び方) 保育現場や映像等から、遊びの楽しさや子どもと関わる喜びを実感する。	三上	講義 演習	講義内容をまとめる	90
2 /	「目指す保育者像」「自己課題」を明らかにする。保育参加に必要な保育者の関わりについて学ぶ。	三上	講義 演習	授業でできなかった振り返りシートをまとめる	90
3 /	保育実践から、子どもの興味関心など思いを丁寧に見取り、保育者の関わりについて記録をする。	三上	講義 演習	授業でできなかった振り返りシートをまとめる	60
4 /	本学附属幼稚園で保育参加をし、子どもと遊ぶ。保育者の関わりについても観察する。	三上	参観・参加 学外授業	授業でできなかった園参観の振り返りをまとめる	60
5 /	本学附属幼稚園で保育参加をし、子どもと遊ぶとともに、子どもの様子や保育者の関わりについて記録する。	三上	参観・参加 学外授業	授業でできなかった園参観の振り返りをまとめる	60
6 /	本学附属幼稚園で保育参加をし、子どもと遊ぶとともに、子どもや保育者の気持ちや思いについて記録から考察する。	三上	参観・参加 学外授業	授業でできなかった園参観の振り返りをまとめる	60
7 /	グループワークをしながら、遊びの場面での子どもの様子や保育者の関わりについての色々な記録方法を学ぶ。	三上	講義 演習	授業でできなかった関わりの記録を作成する	90
8 /	本学附属幼稚園の保育者を講師に招聘し、子どもの様子や保育者の関わりについて学ぶ。	三上	演習 外部講師招聘	関わりの模擬保育の振り返りシートをまとめる	60
9 /	遊びを通して、子どもの興味関心や保育者の関わりについて学ぶ。	三上	講義 演習	授業でできなかった振り返りシートをまとめる	60
10 /	本学附属幼稚園で保育参加をし、保育者の行動・言葉・表情・まなざし・関わりのタイミングについて記録する。	三上	参加 学外授業	授業でできなかった園参加の振り返りをまとめる	60
11 /	本学附属幼稚園で保育参加をし、保育者の行動・言葉・表情・まなざし・関わりのタイミングについて記録する。	三上	参加 学外授業	授業でできなかった園参加の振り返りをまとめる	60
12 /	本学附属幼稚園で保育参加をし、保育者の行動・言葉・表情・まなざし・関わりのタイミングについて記録する。	三上	参加 学外授業	授業でできなかった園参観の振り返りをまとめる	60
13 /	保育者と対話をしながら、関わりのポイントについて整理する。	三上	演習 外部講師招聘	授業でできなかった振り返りシートをまとめる	60
14 /	「目指す保育者像は何か」「どのような子どもに育てほしいか」を意識し、グループごとに保育者の関わりを考察する。	三上	演習	グループで考察した保育者の関わりについてまとめる	90
15 /	保育者の関わりについて、グループごとに中間のまとめを作成	三上	演習 中間発表	後期に向けて、保育者の関わりの中間のまとめを作成し、評価する	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
専門演習 I	松井 典子(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar I							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・音を中心とした表現活動の知識・技能を修得することができる。 ・修得した知識から音に関するあそびなどを協働して創造し、表現することができる。 ・協働で制作した作品を発表することができる。							
授業の内容 国際バカロレア (IB) 認定校のプライマリー・イヤーズ・プログラム (PYP) において幼児音楽教育の実務経験を持つ教員による演習授業である。情報リソースを活用し、授業を行う。またGoogle classroomを用いた双方向型授業を取り入れ実施する。 音を中心とした多様な表現活動を体験し、活動を通して知識・技能を習得する。習得した知識を応用し、オリジナルの表現活動を創造し、保育・教育現場及び子育て支援で実践することを目的とする。							
教科書	なし						
参考書	授業の中で提示する。						
担当者からのメッセージ	「表現」を通して自己実現や創る喜びを体験してください。 表現を通して、コミュニケーション力を高めながら意欲的に協働して学びあうことを重要視します。 各回の授業の詳細は、グループ討議において決定します。そのため、ゼミナールの内容や計画に関して、自分の考えを持ち、主体的に取り組んでいただきたい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業で配付するレジュメや資料は必ずファイリングすること。振り返りシートは、毎回記録すること。シートに対してコメントや検印を行う。 最終回には、ファイルを提出すること。 質問に対する回答やフィードバックは、授業内やGoogleClassroomを通じ行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業の積極的取り組み度				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	20	授業の振り返りシートの記録及び提出				
	その他	30	制作課題の取り組み度、発表				
	自由記載						
オフィスアワー	松井研究室 火曜日 12時15分～12時50分 その他随時受付 電子メールによる事前予約が望ましい						
担当教員E-mail	n-matsui@sumire.ac.jp (松井)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 記録について	松井	講義とグループ討論	講義内容をまとめる	90
2 /	児童文化財とは パネルシアターについて	松井	講義と演習 グループワーク	オリエンテーションの内容を 振り返る	90
3 /	うたのパネルシアターの制作① グループ分け、役割分担について	松井	演習 グループワーク	活動内容の振り返り 記録の綴り	90
4 /	うたのパネルシアターの制作② 絵人形の作製	松井	演習 グループワーク	活動内容の振り返り 記録の綴り	90
5 /	うたのパネルシアターの制作③ 音づくり	松井	講義と演習 グループワーク	活動内容の振り返り 記録の綴り	90
6 /	うたのパネルシアターの制作④ パネルシアターを演じる	松井	講義と演習	活動内容の振り返り 記録の綴り	90
7 /	うたのパネルシアター発表会の リハーサル	松井	演習	活動内容の振り返り 記録の綴り	90
8 /	うたのパネルシアターの発表会	松井	演習	活動内容の振り返り 動画録画による振り返り 記録の綴り	120
9 /	おはなしのパネルシアターの制作① 作品の決定 絵人形の作製	松井	演習 グループワーク	活動内容の振り返り 記録の綴り	90
10 /	おはなしのパネルシアターの制作② おはなしに音をつける	松井	演習 グループワーク	活動内容の振り返り 記録の綴り	90
11 /	おはなしのパネルシアターの制作③ パネルシアターを演じる	松井	演習 グループワーク	活動内容の振り返り 記録の綴り	90
12 /	おはなしのパネルシアターの制作④ 発表作品の練習	松井	演習 グループワーク	活動内容の振り返り 記録の綴り	90
13 /	おはなしのパネルシアターの制作⑤ 発表作品の練習 動画録画による振り返り	松井	演習 グループワーク	活動内容の振り返り 記録の綴り	90
14 /	パネルシアターのリハーサル 動画録画による振り返り	松井	演習 グループワーク	活動内容の振り返り 記録の綴り	90
15 /	まとめ パネルシアターの発表会	松井	演習	レポート及びファイルの提出	120
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
専門演習 I	永久 欣也(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
Seminar I							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・保育の歴史や現代の課題について考察・文章化しようとする事ができる。 ・自ら課題を見つけ自分なりの結論を模索することができる。 ・対話的姿勢を身につけることができる。 ・プレゼンテーションのための資料収集やスライド作成ができる。							
授業の内容 保育の分野にも国際化の波は押し寄せてきているが、多文化共生の保育のあり方や現代の課題について、自らの興味に基づく研究を考察・文章化し、パワーポイントやパネルなどを用いての発表をしていく。また、多文化共生の保育のための教材研究も行っていく。							
教科書	なし						
参考書	適時アドバイスしていく						
担当者からのメッセージ	必要な文献や資料収集は各自で購入または図書館などを積極的に利用し、自ら問いをもって主体的に参加することで学びを深めること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	個別に進行状況や今後の見通し等を確認し指導していく。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	授業への積極的な姿勢や資料収集等への取り組み				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	20	個々のテーマでの中間報告				
	その他	40	研究成果の準備・発表等				
自由記載							
オフィスアワー	永久研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 事前にメール等での連絡があれば他の時間への調整は可						
担当教員E-mail	k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 専門演習の進め方	永久	講義 演習	授業内容の振り返りと要点を 整理する 自らの研究テーマを考える	90
2 /	研究テーマの設定と研究方法	永久	講義 演習	授業内容の振り返りと要点を 整理する 研究テーマの概要を考える	90
3 /	個々のテーマの発表と文章の書き方について	永久	講義 演習	授業内容の振り返りと要点を 整理する	90
4 /	研究方法の理解 「文献や資料収集について」	永久	講義 演習	授業内容の振り返りと要点を 整理する	90
5 /	研究内容の構成と文章作成	永久	講義 演習	授業内容の振り返りと要点を 整理する	90
6 /	個々のテーマの発表	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を 整理する	90
7 /	個々の研究発表に向けての資料収集	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を 整理する	90
8 /	個々の研究発表に向けての準備	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を 整理する	90
9 /	個々のテーマでの研究発表	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を 整理する	90
10 /	多文化共生の保育のための教材製作 (企画・立案)	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を 整理する	90
11 /	多文化共生の保育のための教材製作) (製作実践	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を 整理する	90
12 /	保育教材を用いた模擬保育の実践	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を 整理する	90
13 /	模擬保育の振り返り	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を 整理する	90
14 /	個々のテーマの再構築を考える (後期活動に向けて)	永久	講義 演習	授業内容の振り返りと要点を 整理する	90
15 /	前期のまとめ	永久	講義 演習	授業内容の振り返りと要点を 整理する	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
専門演習 I	保田 恵莉(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar I							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・園や施設の中での遊びや生活が子どもにとって大切なことに気づき、教師(保育者)の援助の在り方を学ぶことができる。 ・環境構成や子どもの背景にある地域社会、家庭の問題を自ら調べ、子どもの幸せに関して共に考えることができる。 ・チームでの話し合いを取り入れ、相互理解と共感と共にinclusiveな考え方を認め合いながら製作や発表に結んでいく。 ・自分の課題を他者に伝えることができる。 授業の内容 <p>公立幼稚園及び子育てコーディネーター・メンタルヘルス心理士の資格の基に、専門演習 I を指導する。保育・社会福祉学の根底には常にモンテッソーリ教育学が存在する。イタリアの女性博士マリア・モンテッソーリが障害児教育の真理を開拓した経過から障害児福祉が重要な役割を持つこと、また、健常児にも0歳からの教育が重要であり、包括した社会福祉の重要性に視点をあてた専門演習 I を目的とする。施設や附属幼稚園・附属すみれ保育園での学外見学・研修の場面を大切に扱い、支援の必要な子どもに対して「こんなとき、どうすればいいのかな?」と、思考し、実践できる学生を育てる。学生への個別学習も重視する。</p>							
教科書	なし						
参考書	保育のテキストだけでなく、哲学・心理学・社会福祉学も取り入れながら、必要に応じてテキストを教員が準備する。						
担当者からのメッセージ	受講の時以外にも気付いたことやまとめておきたいことがあれば、研究室を訪れ、一緒に勉強したいと思います。善い人間関係を築き、信頼と喜びの持てる専門演習 I にしていきましょう。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	間接的、直接的、どちらも取り入れながら、学生自身が納得できる課題の取り組みにしたいと考えています。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	小テスト						
	定期試験						
	レポート						
	その他	100	提出物、課題への取り組み、出席、自主的態度など				
	自由記載						
オフィスアワー	火曜日・水曜日(お昼休み)、保田研究室 「予約を取ってもらえると予定が組め、有難いです」 講義後にも質問は受け付けます。						
担当教員E-mail	e-yasuda@sumire.ac.jp (保田)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	イントロダクション	保田	説明を聞く 討議	予習・復習	90
2 /	映像による専門演習の学びに関する紹介	保田	視覚で内容を知る 討議	予習・復習	90
3 /	課題テーマを決めよう	保田	討議、テーマ表の作成1	予習・復習	90
4 /	課題テーマを決めよう	保田	討議、テーマ表の作成2	予習・復習	90
5 /	附属幼稚園での学習	保田	見学「観察」により課題を学ぶ	予習・復習	90
6 /	附属幼稚園での学習	保田	見学「支援を必要とするこども」について、教師の声を聞く	予習・復習	90
7 /	施設での学習	保田	見学「観察」と施設長の講話により、課題を学ぶ	予習・復習	90
8 /	施設での学習	保田	施設の遊びについて、討議演習1	予習・復習	90
9 /	施設での学習	保田	施設の遊びについて、討議演習2	予習・復習	90
10 /	障害児福祉についての学習	保田	支援を求めめるこどもと援助すべき社会・家庭の仕組み1	予習・復習	90
11 /	支援を求めめるこどもと援助すべき社会の仕組み	保田	支援を求めめるこどもと援助すべき社会・家庭の仕組み2	予習・復習	90
12 /	附属すみれ保育園での学習	保田	見学「観察」と保育者の講話により、課題を学ぶ	予習・復習	90
13 /	附属すみれ保育園での学習	保田	討議、演習	予習・復習	90
14 /	課題の発表	保田	個別またはチームでの発表、意見交換	予習・復習	90
15 /	課題の発表とまとめ	保田	個別またはチームでの発表 専門演習Ⅰのまとめ	予習・復習	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
専門演習 I	菅 眞佐子(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
Seminar I							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・園や家庭で子どもがどのような遊びを楽しんでいるか、具体的な姿をとらえ共感することができる ・園や家庭で子どもが出会う遊びがどのように子どもの成長を支えているのか心理発達の見点から分析的にとらえることができる ・資料収集や文献購読の方法を理解し関心を持つテーマについて実際に資料収集・文献購読ができる							
授業の内容 園や家庭での子どもが出会う様々な遊びについて、そのそれぞれがどのような教育的効果を持つのか、子どもの姿の観察と心理発達についての理論的考察を往還しながら読み解いていきます。積み木、粘土、砂場、栽培、絵本、折り紙といった遊びの中から受講生自身が関心を寄せるテーマの一つを選択し、観察と文献購読を中心にしてそのテーマについての理解や問題意識を深めます。							
教科書	なし						
参考書	適宜紹介します						
担当者からのメッセージ	子どもが遊びの中で何を楽しみ、何を学んでいるのか、心理発達の視点から読み解き、保育における援助に活かせる専門的知識を身につけます。 遊びの中から各自が関心を寄せるテーマをひとつ選択し、その遊びの魅力やそこに期待できる教育的効果について自身の関心を深めながら分析・考察していきましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	子どもの遊びの姿を自らの関心に沿って分析的に見ていくこと、また、それにより深まる関心によって資料や文献をあたる作業から、遊びの楽しさを追体験しそれを自身の人格的要素の一つとして統合していくことも目的としています。新たな自分を発見するつもりで、観察や文献収集に取り組んでいきましょう。成果を随時小レポートでまとめ、相互交流するなかでフィードバックしていきます。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	70	テーマの選択やそれへの取り組み、意見交流や発表が意欲的に行われていたかを評価する				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	30	取り組みへの意欲、視点の独自性について評価する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	菅研究室 前期火曜日12：15～12：45、後期金曜日12：15～12：45 (事前に調整ができれば、他の時間帯でも可) いずれの場合も事前にメールでの連絡をお願いします。						
担当教員E-mail	m-suga@sumire.ac.jp (菅 (すが))						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 乳幼児期の遊びについてこれまで学んできたことを振り返る	菅	演習	授業内容をまとめる	60
2 /	乳幼児期の遊びについて、どのような遊びがあるか、それぞれにどのような教育的効果が期待できるか、概観する	菅	演習	授業内容をまとめる	60
3 /	自身の関心のある遊びのテーマを選択し、観察・記録、文献購読の計画を立てる	菅	演習	授業内容をまとめる	60
4 /	文献購読やレジュメ作成の方法について学ぶ	菅	演習	収集した資料・文献を読み込む	60
5 /	自身が選択したテーマについて、資料・文献を収集してみる	菅	演習	収集した資料・文献を読み込む	60
6 /	幼稚園訪問により子どもの遊びを観察し記録する	菅	参観・観察、学外授業	観察記録を整理し考察する	60
7 /	遊びの観察の記録を整理し、どのような姿が捉えられたか、まとめ、意見交流する	菅	演習	授業内容をまとめる	60
8 /	幼稚園訪問により子どもの遊びをさらに観察・記録する	菅	参観・観察、学外授業	観察記録を整理し考察する	60
9 /	遊びの観察の記録を整理し、どのような姿が捉えられたか、まとめ、意見交流する	菅	演習	授業内容をまとめる	60
10 /	観察を通して得られた観点から、テーマを深める方向について考える	菅	演習	授業内容をまとめる	60
11 /	観察結果を踏まえて、テーマにアプローチする方向性を検討し、資料・文献を収集する	菅	演習	収集した資料・文献を読み込む	60
12 /	これまでの研究成果についてまとめる	菅	演習	まとめを完成する	60
13 /	研究成果発表のための資料を作成する	菅	演習	資料作成を完成する	60
14 /	研究成果について発表し、意見交流をする	菅	演習	発表・意見交流から学んだことをまとめる	60
15 /	発表・意見交流を踏まえて、今後の研究の方向性について検討しまとめを報告する	菅	演習	まとめと今後の展望についてレポートを作成する	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
専門演習Ⅱ	北尾 岳夫(専 任)	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
Seminar II							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・子どもの`野外活動、や`体験活動、の意義を理解し、その計画の立案と実践ができる。 ・保育現場での様々な行事やイベントの企画立案ができ、中心となって運営することができる。 ・`運動遊び、に関する指導計画の立案と実践ができる。 ・自分たちの取り組みをまとめたプレゼンテーションができる。							
授業の内容 北尾が担当する専門演習については、`体験活動、`野外活動、`運動遊び、という3つのキーワードを設定する。前期の専門演習Ⅰからの流れを受けた具体的な実践活動をするなかで、附属幼稚園の子どもたちとの関わりも予定している。また、専門演習活動報告へ向けて、自分たちの取り組みをまとめてプレゼンテーションできる能力も身につけていただく。 北尾担当の専門演習を選択した学生は、幼児体育Ⅲも受講すること。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	専門演習は、担当教員の専門性のもとに、各自の興味関心に対する知識と理解を深める科目である。したがって、主体的な`学び、の度合いや、専門演習活動報告に向けての取り組み姿勢が受講態度として評価の対象となる。受け身になることなく、担当教員との積極的なコミュニケーションを図りながら、自分の得意分野を作り上げて欲しい。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	必要に応じて、質問に対する回答やフィードバックを行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	ゼミの活動に対する積極的な姿勢				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	ゼミでの取り組みに関わる貢献度とグループ内での人間関係性				
自由記載							
オフィスアワー	北尾研究室 月曜～木曜日 12時15分～12時45分 *木曜日12時40分～13時10分						
担当教員E-mail	t-kitao@sumire.ac.jp (北尾)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	活動報告に向けての流れ確認	北尾	演習	活動報告に向けた流れを確認し課題を検討しておく	90
2 /	運動遊び実践案の作成	北尾	演習	運動遊び案作成の準備	180
3 /	運動遊び実践	北尾	演習	運動遊び実践の準備、調整	180
4 /	運動遊び実践の振り返り	北尾	演習	運動遊び実践についてのレポート作成	180
5 /	体験活動案の作成	北尾	演習	体験活動に向けた準備、調整	180
6 /	体験活動の安全確保のための具体案検討	北尾	演習	体験活動に向けた準備、調整	180
7 /	体験活動に必要な物品の検討	北尾	演習	体験活動に向けた準備、調整	180
8 /	体験活動実践に向けた役割分担決定	北尾	演習	体験活動に向けた準備、調整	180
9 /	体験活動に向けたシミュレーション	北尾	演習	体験活動に向けた準備、調整	180
10 /	体験活動実践	北尾	演習	体験活動実践の準備と後片付け	180
11 /	活動報告に向けての準備(役割分担の決定)	北尾	演習	報告会に向けた準備と調整	180
12 /	活動報告に向けての準備(発表資料の準備)	北尾	演習	報告会に向けた準備と調整	180
13 /	活動報告に向けての準備(発表に向けたシミュレーション)	北尾	演習	報告会に向けた準備と調整	180
14 /	専門演習活動報告Ⅰ	北尾	演習	ゼミ報告の準備	180
15 /	専門演習活動報告Ⅱ	北尾	演習	活動報告全体に対するレポート作成	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
専門演習Ⅱ	柚木たまみ(専 任)	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar II							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・幼児教育保育における音楽表現活動の様々な実践例を知り、それをもとに自ら実践することができる。							
授業の内容 この授業は、長年にわたる教育者、音楽表現者としてのキャリア、そして音楽療法士としての臨床経験を生かした「生きた」音楽づくりを目指すものである。 各々がテーマに沿った研究を進めていく。一例として近藤真子（文教大学）考案の「クロックオーケストラ」等を基に、新しい幼児教育のあり方について可能性を探る。 知識を得て、実践し、その結果と考察をまとめるという流れを確実に進行。							
教科書	なし						
参考書	「クロックオーケストラ」 https://bunkyo.repo.nii.ac.jp/ 他、授業内で随時提示、紹介						
担当者からのメッセージ	学生の立場としての学びを、いよいよ教育者、保育者として生かす時が近づいています。 多くの実践を応用して活かすことができるように、言語化してまとめる力もしっかり定着させましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	テーマ研究の進捗状況を随時確認し、助言していく。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	研究のまとめと発表に向けた準備のプロセスにおける積極性と意欲を評価する				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	20	研究を進める中で随時小レポートを提出する				
	その他	50	研究発表会の成果を評価する				
	自由記載						
オフィスアワー	柚木研究室 金曜日 12時15分～13時 その他随時受付 E-mailによる予約が望ましい						
担当教員E-mail	t-yunoki@sumire.ac.jp（柚木）						
教員相互授業参観	研究発表会を公開						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	専門演習Iで決定したテーマの見直し、修正	柚木	講義、演習	専門演習Iの見直し、振り返り	60
2 /	テーマの見直し、修正	柚木	講義、演習	専門演習Iの見直し、振り返り	60
3 /	現場実践の準備	柚木	演習	実践準備	60
4 /	現場実践の準備	柚木	演習	実践準備	60
5 /	現場実践の準備	柚木	演習	実践準備	60
6 /	現場実践の準備	柚木	演習	実践準備	60
7 /	テーマ研究に関する現場実践	柚木	実習	実践準備	90
8 /	テーマ研究に関する現場実践	柚木	実習	実践準備	90
9 /	実践の振り返り	柚木	演習	実践の振り返りレポート作成	60
10 /	実践の振り返り	柚木	演習	実践の振り返りレポート作成	60
11 /	研究発表会に向けての準備	柚木	演習	発表準備	60
12 /	研究発表会に向けての準備	柚木	演習	発表準備	60
13 /	研究発表会に向けての準備	柚木	演習	発表準備	60
14 /	発表会	柚木	演習、実習	発表準備	60
15 /	発表会	柚木	演習、実習	発表準備	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
専門演習Ⅱ	深尾 秀一(専 任)	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
Seminar Ⅱ							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・造形作品制作をとおして「自己における絶対」の探求ができる。 ・素材の扱いについて、技術や知識を学ぶ。 ・美術教育の重要性を理解する。							
授業の内容 領域を造形とし、個々の作品制作をとおして「自己における絶対」の探求を主眼としています。自己に内在するイメージの造形表現における具現化を目標にし、そのための素材研究や教材研究などの美術教育についても考えていきます。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	個々の問題意識を中心に進めるため、主体的な取り組みが必須です。素材の取り扱いの違いにより、時間外作業もあります。なお、作品制作に関する材料費は個人持ちとなる事があります。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	研究課題作品に関して、中間発表、および発表展覧会の評価を行います。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	課題制作への主体的な取り組みを評価				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート						
	その他	70	研究成果及びその研究作品の評価				
自由記載							
オフィスアワー	深尾研究室 水曜日 16時10分～17時10分（事前予約が望ましい） その他メールでの質問随時受付 件名に学籍番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	h-fukao@sumire.ac.jp（深尾）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 後期研究計画書の作成	深尾	講義と演習	研究の方向性を広い視野で検討しておく	90
2 /	後期研究計画書に基づいて個人指導	深尾	講義と演習	計画書案を完成させる	90
3 /	作品制作指導とセミナー 後期前半プロジェクト エスキースの作成	深尾	演習	研究作品制作を進める	90
4 /	作品制作指導とセミナー 後期前半プロジェクト作品試作	深尾	演習	研究作品制作を進める	90
5 /	作品制作指導とセミナー 後期前半プロジェクト制作	深尾	演習	研究作品制作を進める	90
6 /	作品制作指導とセミナー 後期前半プロジェクト中間発表準備	深尾	演習	中間発表準備を進める	90
7 /	後期中間発表 卒業制作について	深尾	講義と演習	発表準備をしておく	90
8 /	作品制作指導とセミナー 卒業制作プロジェクト研究計画書作成	深尾	講義と演習	卒業制作案・研究作計画書を検討	90
9 /	作品制作指導とセミナー 卒業制作プロジェクト試作作品制作	深尾	演習	研究作品制作を進める	90
10 /	作品制作指導とセミナー 卒業制作プロジェクト作品制作	深尾	演習	研究作品制作を進める	90
11 /	作品制作指導とセミナー 卒業制作プロジェクト作品完成	深尾	演習	研究作品及び研究を完了する	90
12 /	卒業制作プロジェクト展示準備	深尾	演習	展示方法を検討しておく	90
13 /	卒業制作プロジェクト展示	深尾	演習	展示準備	90
14 /	発表会Ⅰ	深尾	演習	発表会当日の準備	90
15 /	発表会Ⅱ	深尾	演習	発表	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
専門演習Ⅱ	久米 央也(専 任)	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
Seminar Ⅱ							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・ 幼稚園や保育園、認定こども園で、園児が算数の素地を遊びながら学べるためにできること（カリキュラム開発や教材作り、保育環境など）を調査研究することができる。 ・ 園児が遊びながら算数の素地を学ぶことができる教材開発の成果や、保育環境やカリキュラムのまとめた結果を研究発表することができる。							
授業の内容 園児が数・量・図形に興味を持ち、遊びながら算数の素地を学ぶには、どのような教育プログラムや教材、保育環境を用意すればよいのかについて、各自がテーマを決めて研究を進めていく。演習Ⅰの中間発表会での相互評価で分かった課題をもとに、研究方法等を修正する。最後に、研究成果（論文、教材など）をまとめ、研究発表会で発表する。							
教科書	なし						
参考書	テーマにあった参考書を提示する						
担当者からのメッセージ	幼児教育において、数・量・図形の興味関心や感覚を養うことは大切なねらいのひとつである。各自が、テーマをもって主体的に調査研究を進めていく。成績評価の「受講態度」については、「主体的に取り組んでいるか」を観点とする。「わたしは大学で確かに～について研究しました」と言えるように、サポートしていく。研究成果物は実際に幼稚園で試行してもらう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎時間、研究の進捗状況について、個別に指導をしていく。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	主体的に自分の研究したいことに対し取り組んでいたかを評価する				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	20	園児の観察レポートや教材の分析レポートから授業の理解度を評価する				
	その他	30	作成した教材が幼児の数学的思考力を育むことができるかを評価する				
	自由記載						
オフィスアワー	久米研究室 火曜日 12時15分～12時50分（事前に連絡してください）						
担当教員E-mail	h-kume@sumire.ac.jp（久米）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	専門演習Ⅰで見つけた課題を克服するための 研究内容や方法の修正を考える 研究テーマを設定する 研究計画を立てる	久米	演習	研究計画を見直す	100
2 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材の準備)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
3 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材の作成)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
4 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材の作成)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
5 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材の作成)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
6 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材の作成)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
7 /	中間発表に向けて準備をする	久米	演習	中間発表の準備をする	100
8 /	中間発表をする 相互に研究成果の中間発表を評価する 自らの課題を見つける	久米	演習	他の発表を評価する	100
9 /	課題克服のために研究計画を修正する 研究テーマに従って、調査、研究を進める	久米	演習	研究計画の修正をする	100
10 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材の作成・使い方の説明作成)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
11 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める 作成した教材等を幼稚園で試す 研究の成果をまとめて、研究発表会の準備をする	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける 幼稚園での活動をまとめる	100
12 /	教材等に修正を加え改善する 発表に向けての準備をする	久米	演習	研究成果の発表準備をする	100
13 /	教材等に修正を加え改善する。 発表に向けての準備・練習をする	久米	演習	研究成果の発表準備をする	100
14 /	発表会Ⅰ	久米	演習	他の発表を評価する	100
15 /	発表会Ⅱ	久米	演習	専門演習を振り返る	100
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
専門演習Ⅱ	李 霞(専 任)	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
Seminar II							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・ 幼児教育・保育の特徴を知る。 ・ 幼児との関わり方や幼児に対する援助の方法を身につける。							
授業の内容 幼児教育は生きる力の基礎を培うことを目的としており、保育者には子どもの目線に合わせたより良い保育の実践を提供する努力が求められる。生きる力の基礎を育むために必要な視点や方法とは何かを究明するために、本授業では、3.4.5歳児の発達と保育者の役割及び、幼児との関わり方や幼児に対する援助の方法を中心に見ていく。							
教科書	なし						
参考書	本学では販売しません 原田綾子『言葉かけ練習帳』日本能率協会マネジメントセンター 湯沢英史『関わりことばーコミュニケーション能力を伸ばしますー』すずき出版 三宅美絵子『0歳からのアドラー流怒らない子育て』秀和システム						
担当者からのメッセージ	グループワークも多く取り入れているため、積極的な参加が不可欠である。 講義内容について、常に「自分はどう思うか」「自分ならどうするか」を考えながら受講すること。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	毎回、授業を受けた感想を一枚ミニレポートに書く。 授業内容に対する学生たちの理解を深めるために、重要な視点・論点が含まれるもの、学生の中で良くできた感想や模範解答を授業開始時にスライドにて紹介する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	毎回の授業を受けた感想をポートフォリオに記入してもらい、授業内容についての理解度を評価する				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	40	一学期の授業を振り返り、気づいたこと、重要だと思ったことをレポートにまとめること				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	李研究室 月・火・水曜日 12:15~12:45 sumireメールにて事前に連絡ください(お名前・相談事項・来室希望時間を明記すること)。						
担当教員E-mail	k-lee@sumire.ac.jp (李)						
教員相互授業参観	2~6回公開(二週間前までに連絡ください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション： 子どもが伸びる言葉って？	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習するよう指示する。	60
2 /	ふだんの生活と習慣に関する言葉かけⅠ ・何をしてもだ～らだらのんびり ・忘れ物が多い	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習するよう指示する。	60
3 /	ふだんの生活と習慣に関する言葉かけⅡ ・失敗した、そのときに・・・ ・ちょっと気になる・・・そのクセ、その瞬間	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	復習 「子どもが片付け上手になる にはどうすればいいの？」考 え、レポートにまとめる。	60
4 /	人間関係に関する言葉かけⅠ ・ケンカが始まった！ ・元気がない ・友だち関係の気がかりに	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習するよう指示する。	60
5 /	人間関係に関する言葉かけⅡ ・人への関心を持たせ、社会性を育てるため に ・人と関わりたい気持ちを強める言葉	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習するよう指示する。	60
6 /	人間関係に関する言葉かけⅢ ・仲間集団を意識させるために ・人の内面に気づかせる言葉	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習するよう指示する。	60
7 /	人間関係に関する言葉かけⅢ ・相手への思いやりを促すとき ・相手との関わりを考えさせよう	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習するよう指示する。	60
8 /	人間関係に関する言葉かけⅣ ・人や物への理解を深めるために ・相手の考えを受け入れるための言葉かけ	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	復習 「話し合う」ってどうやるの？ を考えて、レポートにまとめる。	60
9 /	自己肯定感を育むためにⅠ ・行動をコントロールする力を高めよう ・気持ちを落ち着かせてくれる言葉は？	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習するよう指示する。	60
10 /	自己肯定感を育むためにⅡ ・自分の気持ちを表現するために ・「自分という存在」に気づかせよう	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、 各自予習するよう指示する。	60
11 /	言葉かけのための自分への勇気づけ ・子どもにダメ出しをしたくなるときの心理とは ・できないことより、できたことに目を向ける	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答・演習	復習 「園児の保護者から子どもの喧嘩 についての苦情がきたときの対 応」を考え、レポートにまとめる。	60
12 /	検討会Ⅰ	李	演習	復習 発表会に向けて準備を進むよ う指示する。	60
13 /	検討会Ⅱ	李	演習	復習 発表会に向けて準備を進むよ う指示する。	60
14 /	検討会Ⅲ	李	演習	復習 発表会に向けて準備を進むよ う指示する。	60
15 /	発表会	李	演習	復習 一学期の授業を振り返り、気 づいたこと、重要だと思った ことをレポートにまとめる。	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
専門演習Ⅱ	三上 佳子(専 任)	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar II							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・保育現場に主体的に参加し、年間を通じて子どもの成長を実感したり、保育者の関わりについて学んだりすることができる。 ・保育者の関わりの中で「自己研究課題」を明確にし、自己研究課題に類似するグループで協同的な学びをすることができる。 ・ポスターやパワーポイント等で最終まとめをし、研究の成果を発表し、保育者の関わりについて自分なりの考えを持つようになる。							
授業の内容 幼稚園及び教育行政の経験を踏まえ、専門演習IIを指導する。 専門演習Iを継続し、保育現場や映像を通して、子どもや保育者の気持ちや思いが理解できるように、主体的な保育参加や記録を重ねる。また保育者と対話したり、グループワークをする中で、保育者の関わりについての「自己研究課題」を明確にし、グループでポスターやパワーポイント等を活用して研究成果を発表する。							
教科書	なし						
参考書	高山静子 「保育者の関わり方の理論と実践」 無籐隆『子どもの姿ベースの新しい指導計画』0～2歳児『子どもの姿ベースの新しい指導計画』 3～4歳児『子どもの姿ベースの新しい指導計画』						
担当者からのメッセージ	保育現場等で直接、子ども達と関わる貴重な機会である。保育者の関わりを学ぶが、その中で『子どもたちの気持ちを尊重する』『一人一人の興味など子ども理解から保育は始まる』ことを大切に参加してほしい。本授業では、保育現場に行ったり、保育者を授業に講師として招待したりし、演習やグループワークをする。自主的に考えて行動したり、学生同士が協力して進める態度・姿勢及びまとめを評価の対象とする。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	演習後の振り返りシートや記録を活用し、保育者の関わりについて学ぶ。振り返りシートや記録等は、コメントを付け定期的に点検し、成果を指導に生かしていく。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	主体的に課題に取り組んでいたかの評価				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	20	課題提出				
	その他	30	まとめの評価				
自由記載							
オフィスアワー	三上研究室 水曜日 12時15分～12時50分(事前に連絡ください)						
担当教員E-mail	y-mikami@sumire.ac.jp (三上)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 保育実践映像等から、子ども理解を深めるとともに、保育者の関わりについて自己研究課題をもつ。	三上	演習	自己研究課題をもつ 子ども理解につながる記録を まとめる	90
2 /	本学附属幼稚園で保育参加をし、指導計画を通して子どもの姿や保育者の関わりを記録し、自己研究課題を振り返る。	三上	保育参加・学外授業	授業でできなかった保育参加 における保育者の関わり の振り返りをまとめる	60
3 /	本学附属幼稚園で保育参加をし、指導計画を通して子どもの姿や保育者の関わりを記録し、自己研究課題を振り返る。	三上	保育参加・学外授業	授業でできなかった保育参加 における保育者の関わり の振り返りをまとめる	60
4 /	本学附属幼稚園で保育参加をし、指導計画を通して子どもの姿や保育者の関わりを記録し、自己研究課題を振り返る。	三上	保育参加・学外授業	授業でできなかった保育参加 における保育者の関わり の振り返りをまとめる	60
5 /	自己研究課題ごとのグループが保育者と対話をしながら、保育者の関わりポイントについて整理する。	三上	演習 外部講師招聘	保育者の対話から保育者の関 わり の振り返りをまとめる	60
6 /	自己研究課題が類似した内容で、グループを構成し、記録を整理する。	三上	演習	授業でできなかったグループ の振り返り等をまとめる	90
7 /	自己研究課題が類似した内容で、グループを構成し、記録を整理する。	三上	演習	授業でできなかったグループ の振り返り等をまとめる。	60
8 /	本学附属幼稚園で保育参加し、子どもの姿や保育者の関わりを色々な方法で記録する。	三上	保育参加 学外授業	授業でできなかった記録を完 成させる	60
9 /	本学附属幼稚園で保育参加し、子どもの姿や保育者の関わりを色々な方法で記録する。	三上	保育参加 学外授業	授業でできなかった記録を完 成させる	60
10 /	保育者と対話しながら、参加での保育者の関わり の自己研究課題についてポイントを整理する。	三上	演習 外部講師招聘	授業でできなかった振り返り をまとめる	60
11 /	保育者の関わり の自己研修課題のまとめにつ いてグループごとに発表の仕方を考え、準備する。	三上	演習 パワーポイント・ポスター 等の作成	授業でできなかったパワーポ イントやポスター等の資料を 作成する	90
12 /	保育者の関わり の自己研究課題のまとめを準備する。	三上	演習 パワーポイント・ポスター 等の作成	授業でできなかったパワーポ イントやポスター等の資料を 作成する	90
13 /	保育者の関わり の自己課題まとめをパワーポ イントや指導案等に作成し、発表の仕方を考 え、準備する。	三上	演習 発表の準備	授業でできなかったパワーポ イントやポスターを完成し、 発表の準備をする	90
14 /	発表	三上	発表・他の発表の評価	発表・他の発表の評価をまと める	60
15 /	発表	三上	発表・他の発表の評価	発表・他の発表の評価をまと める	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
専門演習Ⅱ	松井 典子(専 任)	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar II							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・ゼミナールⅠで修得した知識・技能をもとに活用することができる。 ・幼児の表現の発達を理解し、音を中心とした表現活動を構想し、計画することができる。 ・考案した表現活動をまとめ、外部へ発信することができる。							
授業の内容 国際バカロレア (IB) 認定校のプライマリー・イヤーズ・プログラム (PYP) において幼児音楽教育の実務経験を持つ教員による演習授業である。情報リソースを活用し、授業を行う。また、Google classroomを用いた双方向型授業を取り入れ実施する。 ゼミナールⅠの学びを応用・発展し、保育現場で実践できる多様な表現活動を探究し、考案する。また、教材研究を行い、様々な指導法や環境構成等を学ぶ。ゼミナールⅡは、保育実践をとおして、振り返り、活動内容の改善点などを討議し、実際の保育現場で活かすことができる音楽表現を協働して学ぶ。							
教科書	なし						
参考書	授業の中で提示する。						
担当者からのメッセージ	主にグループワークを行うので、積極的に授業に参加し、コミュニケーション力を身につけてほしい。 また他者の表現活動に共感し、学び合いさまざまな表現活動をとおして豊かな感性を磨いてほしい。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	個々にコメントし、今後の課題をアドバイスする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	授業の積極的参加度				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	20	振り返りシートへの記録及び提出				
	その他	40	発表、レポート課題の提出				
自由記載							
オフィスアワー	松井研究室 火曜日 12時15分～12時50分 その他随時受付 電子メールによる事前予約が望ましい						
担当教員E-mail	n-matsui@sumire.ac.jp (松井)						
教員相互授業参観	発表会については公開する。						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発達と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション	松井	講義と演習	ゼミナールⅠの振り返りをしておく	90
2 /	パネルシアターの創作について ブレインストーミング	松井	講義と演習 グループ討議	指定された文献を読み事前学習しておく 記録の綴り	90
3 /	パネルシアターの題材を考える1	松井	講義と演習 グループ討議	記録の綴り 次週の活動内容の準備	90
4 /	パネルシアターの題材を考える2	松井	講義と演習 グループ討議	記録の綴り 次週の活動内容の準備	90
5 /	パネルシアターの題材を考える3	松井	講義と演習 グループ討議	記録の綴り 次週の活動内容の準備	90
6 /	絵人形の制作1	松井	講義と演習 グループワーク	記録の綴り 次週の活動内容の準備	90
7 /	絵人形の制作2	松井	演習 グループワーク	記録の綴り 次週の活動内容の準備	90
8 /	パネルシアターの音楽の創作1	松井	演習 グループワーク	記録の綴り 次週の活動内容の準備	90
9 /	パネルシアターの音楽の創作2	松井	演習 グループワーク	記録の綴り 次週の活動内容の準備	90
10 /	パネルシアターの発表に向けて 発表の練習	松井	演習 グループワーク	記録の綴り 次週の活動内容の準備	90
11 /	パネルシアターの発表に向けて 発表の練習	松井	演習 グループワーク	記録の綴り 次週の活動内容の準備	90
12 /	リハーサル 発表の練習 動画録画による振り返り	松井	演習 グループワーク	記録の綴り リハーサルの振り返り	90
13 /	リハーサル 動画録画による振り返り	松井	演習 グループワーク	記録の綴り リハーサルの振り返り 発表会の準備	90
14 /	発表会Ⅰ	松井	演習	発表会	90
15 /	発表会Ⅱ	松井	演習	記録の綴り(発表会の振り返り)	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
専門演習Ⅱ	永久 欣也(専 任)	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
Seminar II							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・保育の歴史や現代の課題について考察・文章化しようとする事ができる。 ・自ら課題を見つけ、自分なりの結論を模索することができる。 ・対話的姿勢を身につけることができる。 ・プレゼンテーションのための資料収集やスライド作成ができる。							
授業の内容 専門演習Ⅰでの研究を基に、多文化共生の保育のあり方や現代の課題について、より深く研究を考察し、パワーポイントやパネルなどを用いての発表をしていく。また、多文化共生の保育のための教材研究も行っていく。							
教科書	なし						
参考書	適時アドバイスしていく						
担当者からのメッセージ	必要な文献や資料収集は、各自で購入または図書館などを積極的に利用し、自ら問いをもって主体的に参加することで学びを深めること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	個別に進行状況や今後の見通し等を確認し指導していく。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	研究発表に向けての取り組みの姿勢				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	20	各自の取り組みの中間報告				
	その他	40	研究成果の発表・協力の姿勢				
	自由記載						
オフィスアワー	永久研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 事前にメール等での連絡があれば他の時間への調整は可						
担当教員E-mail	k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 後期研究テーマの再確認	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
2 /	多文化共生の保育に向けての話し合い	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
3 /	研究指導1 学外アンケート調査実施に向けて	永久	講義 演習	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
4 /	研究指導2 学外アンケート調査準備	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
5 /	研究指導3 個々の研究テーマの発表	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する レポート作成	90
6 /	研究指導4 個々の研究のための準備	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する 自らの発表方法を考える	90
7 /	研究指導5 プレゼンテーションの仕方について	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 発表準備	90
8 /	研究指導6 個々の研究発表	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
9 /	研究指導7 学外アンケートの集計と整理	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
10 /	研究指導8 学外アンケートのまとめ作業	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
11 /	多文化共生のための教材製作 (保護者向けの企画・立案)	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
12 /	多文化共生のための教材製作 (保護者向けの製作実践)	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
13 /	ゼミ発表会準備	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
14 /	ゼミ発表会	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
15 /	後期まとめ	永久	講義 演習	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
専門演習Ⅱ	保田 恵莉(専 任)	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar II							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・園や施設の中での遊びや生活が子どもにとって大切なことに気づき、教師(保育者)の援助の在り方を学ぶことができる。 ・環境構成や子どもの背景にある地域社会、家庭の問題を自ら調べ、子どもの幸せに関して共に考えることができる。 ・チームでの話し合いを取り入れ、相互理解と共感と共にinclusiveな考え方を認め合いながら製作や発表に結んでいく。 ・自分の課題を他者に伝えることができる。							
授業の内容 公立幼稚園及び子育てコーディネーター・メンタルヘルス心理士の資格の基に、専門演習Ⅰを指導する。保育・社会福祉学の根底には常にモンテッソーリ教育学が存在する。イタリアの女性博士マリア・モンテッソーリが障害児教育の真理を開拓した経過から障害児福祉が重要な役割を持つこと、また、健常児にも0歳からの教育が重要であり、包括した社会福祉の重要性に視点をあてた専門演習Ⅱを目的とする。施設や附属幼稚園・附属すみれ保育園での学外見学・研修の場面を大切に扱い、支援の必要な子どもに対して「こんなとき、どうすればいいのかな?」と、思考し、実践できる学生を育てる。学生への個別学習も重視する。							
教科書	なし						
参考書	保育のテキストだけでなく、哲学・心理学・社会福祉学も取り入れながら、必要に応じてテキストを教員が準備する。						
担当者からのメッセージ	受講の時以外にも気付いたことやまとめておきたいことがあれば、研究室を訪れ、一緒に勉強したいと思います。善い人間関係を築き、信頼と喜びの持てる専門演習Ⅱにしていきたいと思います。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	間接的、直接的、どちらも取り入れながら、学生自身が納得できる課題の取り組みにしたいと考えています。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	小テスト						
	定期試験						
	レポート						
	その他	100	提出物、課題への取り組み、出席、自主的態度など				
	自由記載						
オフィスアワー	火曜日、水曜日(お昼休み)「できれば予約をお願いします」 質問などは、講義後にも受け付けます。						
担当教員E-mail	e-yasuda@sumire.ac.jp (保田)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	イントロダクション 「すみれガーデンにて」	保田	専門演習Ⅰの振り返り、 専門演習Ⅱの説明及び討議	予習・復習	90
2 /	障害児福祉の重要性 保育現場から求められる「こどもの支援」	保田	「こどもと医療」についての知識を得る 0歳からの教育とは	予習・復習	90
3 /	障害児福祉の重要性 地域社会・家庭から求められる「こどもの支援」	保田	「こどもと福祉」についての知識を得る 0歳からの教育の重要性	予習・復習	90
4 /	附属幼稚園での学習 「観察・参加」	保田	2回、3回の授業で学んだことを観察に活かし、園訪問を行う	予習・復習	90
5 /	附属幼稚園での学習 「観察・参加」	保田	「観察・参加」後に、附属幼稚園の先生方に質問をする時間を得、深い学びをする	予習・復習	90
6 /	施設での学習 「施設職員さんの使命」	保田	社会的に求められる福祉観とこどもの最善の利益について、学習する	予習・復習	90
7 /	施設での学習 「施設実習の役割」を再確認する	保田	実習生としてのこども観を再認識し、こどもの最善の利益について学習する	予習・復習	90
8 /	子育て支援室での遊び1	保田	発達の良い気になるこどもに対する配慮・援助を考察した遊び1	予習・復習	90
9 /	子育て支援室での遊び2	保田	発達の良い気になるこどもに対する配慮・援助を考察した遊び2	予習・復習	90
10 /	子育て支援室での環境の工夫	保田	発達の良い気になるこどもに対する配慮・援助を考察した環境の工夫	予習・復習	90
11 /	自己課題の追求 討議	保田	専門演習Ⅱで歩んできた課題についての分析と、今後のまとめについて省察する	予習・復習	90
12 /	附属すみれ保育園での学習 「観察・参加」	保田	見学「観察・参加」と、保育者の講話によるこども理解	予習・復習	90
13 /	附属すみれ保育園での学習 「観察・参加」	保田	12回の授業を受けて、課題reportとまとめ	予習・復習	90
14 /	各自の課題発表	保田	個別または、チームでの発表 意見交換	予習・復習	90
15 /	各自の課題発表とまとめ	保田	個別または、チームでの発表 意見交換 専門演習Ⅱのまとめ	予習・復習	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
専門演習Ⅱ	菅 眞佐子(専 任)	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
Seminar II							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・園や家庭で子どもが会おう遊びがどのように子どもの成長を支えているのか心理発達の観点から分析的にとらえることができる ・園や家庭で子どもが会おう遊びの教育的効果を理解し効果を高めるための援助の方法や教材の提案ができる ・研究成果について適切な方法で報告することができる							
授業の内容 専門演習Ⅰで研究対象として選択した遊びについて、遊びの観察や文献購読によりその遊びの特性や期待できる教育的効果についての理解をさらに深めるとともに、その遊びを通して子どもが学びを深めるための援助の方法について、指導計画や教材の形で具体的に提案します。							
教科書	なし						
参考書	随時紹介します						
担当者からのメッセージ	子どもが遊びの中で何を楽しみ、何を学んでいるのか、心理発達の視点から読み解き、保育における援助に活かせる専門的知識を身につけます。 専門演習Ⅰで選択した遊びについて、子どもの観察や文献研究をさらに重ねて専門的な理解を深め、その遊びを子どもが楽しみより深い学びを得られるような指導計画、あるいは教材について具体的に考え提案してみます。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	子どもの観察や文献収集・購読をさらに深めていきます。毎時行う作業内容の確認や、討論・小レポートを通して、方法的な適切性や取り組みの独自性を指導し、その中でフィードバックしていきます。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	70	テーマの選択やそれへの取り組み、意見交流や発表が意欲的に行われていたかを評価する				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	30	取り組みへの意欲、方法論としての適切性、視点の独自性について評価する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	菅研究室 前期火曜日12：15～12：45、後期金曜日12：15～12：45 (事前に調整ができれば、他の時間帯でも可) いずれの場合も事前にメールでの連絡をお願いします。						
担当教員E-mail	m-suga@sumire.ac.jp (菅 (すが))						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 専門演習Ⅰで学んだことを確認し、選択したテーマへの取り組みを深めていく各自の方向性について考える	菅	演習	授業でやり残した作業を行い、完成する	60
2 /	計画した方向性に従い、文献収集をさらに進める	菅	演習	授業でやり残した作業を行、完成する	60
3 /	収集した文献を購読しレジュメを作成する	菅	演習	授業でやり残した作業を行い、完成する	60
4 /	より焦点化した観点で子どもの遊びの姿を観察し適切に記録する(幼稚園訪問)	菅	参観・観察、学外授業	授業でやり残した作業を行い、完成する	60
5 /	観察記録を整理し、遊びの分析を深める	菅	演習	授業でやり残した作業を行い、完成する	60
6 /	観察から得られた遊びの分析と、文献購読から得られた知見と関連付けて考察する	菅	演習	授業でやり残した作業を行い、完成する	60
7 /	考察した内容から、選択した遊びについて、その遊びを深めるための指導計画や教材作成の計画を立てる	菅	演習	授業でやり残した作業を行い、完成する	60
8 /	選択した遊びについて、その遊びを深めるための指導計画や教材作成に取り組む	菅	演習 必要に応じて幼稚園訪問を行う	授業でやり残した作業を行い、完成する	60
9 /	選択した遊びについて、その遊びを深めるための指導計画や教材作成に取り組む	菅	演習 必要に応じて幼稚園訪問を行う	授業でやり残した作業を行い、完成する	60
10 /	選択した遊びについて、その遊びを深めるための指導計画や教材作成を完成する	菅	演習	授業でやり残した作業を行い、完成する	60
11 /	成果の概要をまとめ、意見交流を通して何をどう伝えと良いか、報告する方法について議論する	菅	演習	授業でやり残した作業を行い、完成する	60
12 /	発表資料を適切な方法で作成する	菅	演習	授業でやり残した作業を行い、完成する	60
13 /	成果の発表と相互評価	菅	演習	相互評価を振り返り、成果について多様な観点からとらえてまとめる	60
14 /	成果の発表と相互評価	菅	演習	相互評価を振り返り、成果について多様な観点からとらえてまとめる	60
15 /	専門演習Ⅰ・Ⅱを通した学びを振り返り、今後自分が保育者としてどのように成長していきたいか、展望を明確にする	菅	演習	自らの今後の成長過程をイメージし文章化する	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
保育リーダー論Ⅱ	三上 佳子(専 任)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Childcare leader theory Ⅱ							
資格等取得との関連		保育士資格の選択					
授業の到達目標 ・保育者としての成長過程のイメージや見通しをもち、自らのキャリア選択を行う際に役立てることができる。 ・保護者・保護者対応、危機管理についての事例から、グループ協議やロールプレイを実施し、「対応力・判断力」を理解している。 ・職員間の協働や人材育成についての事例から、グループ協議やロールプレイを実施し、「コミュニケーション力」を高めることができる。 ・保育現場の専門的観点から幼児理解や保護者相談につながる「対応力・コミュニケーション力等」を理解している。							
授業の内容 幼稚園及び教育行政の経験を踏まえ、保育リーダー論Ⅱを指導する。 園長・主任・若手教員など保育経験者や専門分野の講師をゲストティチャーとして招聘し、話題提供をいただく。そして講師との対話やグループディスカッション・ロールプレイ等を行い、「コミュニケーション力」「対応力」「判断力」のスキルを学び、保育者としての成長過程のイメージや見通しをもち、自らのキャリア選択を行う際に役立てていくものとする。本授業は、アドバンスアワーの学生のみが履修できる保育士選択必須科目である。							
教科書	なし						
参考書	授業の中で提示する。						
担当者からのメッセージ	この時期に携わる保育者が自ら学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質・能力を生涯にわたって高めていく必要があります。新規採用時に「子どもは好きだけど、保育は難しい」「保育者としてやれるのか」など不安を感じていることを、保育経験者がどのように乗り越え、「コミュニケーション力」「対応力」「判断力」等を身につけていったのかについて知り、自分なりに考えていく機会です。現場の保育経験者を招聘しますので、グループでディスカッションやロールプレイをしながら、実践につながる専門性を積極的に学ぼうとする授業態度が必要です。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された記録用紙・課題は添削して返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	受講態度				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	60	提出課題				
	その他	20	ロールプレイ等の課題				
自由記載							
オフィスアワー	三上研究室 水曜日 12時20分～12時50分 事前にメール等で予約を取ること						
担当教員E-mail	y-mikami@sumire.ac.jp (三上)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション なりたい保育者像を考える 保育士者としての成長過程のイメージや見通しを持つ	三上	講義と演習	講義内容の復習	60
2 /	新規採用時に「保育の楽しさや子どもと関わる喜びが感じられるために、実践することは何か」について学ぶ	三上	講話と演習 ゲストティーチャーの講話を受けて、演習	講義内容の復習	60
3 /	保護者護者対応、危機管理についての事例から、グループ協議やロールプレイを実施し、「対応力・判断力」を学ぶ	三上	講話と演習 ゲストティーチャーの講話を受けて、演習	講義内容の復習	60
4 /	職員間の協働や人材育成についての事例から、グループ協議やロールプレイを実施し、「コミュニケーション力」を学ぶ	三上	講話と演習 ゲストティーチャーの講話を受けて、演習	講義内容の復習	60
5 /	保育現場の専門的観点から幼児理解や保護者相談につながる「対応力・コミュニケーション力等」を学ぶ	三上	講話と演習 ゲストティーチャーの講話を受けて、演習	講義内容の復習	60
6 /	保育リーダーになるために、必要な保育者としての成長過程のポイントについて、パワーポイントを作成する	三上	講義 パワーポイントについて グループ協議をし、パワーポイントを作成	講義内容の復習	60
7 /	保育者としての成長過程のポイントについて、パワーポイントを作成し、発表の準備をする	三上	グループでパワーポイントを作成し、発表の準備をする	講義内容の復習	60
8 /	保育リーダー論のまとめを発表し、評価する	三上	グループの発表と振り返りをする	講義内容の復習	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
公務員教育保育職特別講義Ⅱ	久米 央也(専 任)	2年次	前期	2	講義	選択	
	松村 都子(専 任)						実務経験
Special Lecture for Kindergarten Nursery Teacher Recruitment Examination Ⅱ							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・公立の幼稚園、保育所、認定こども園への就職を目指し、試験に合格するためのスキルを身につける。 ・採用試験における主要科目（数的推理・判断推理）の出題傾向を理解する。 ・論文の書き方、面接の応え方について基本的な技能を身につける。							
授業の内容 さまざまな過去問題（主に数的推理、判断推理）を提示し、解説を行う。その後、練習問題を解いていき、理解を深めていく。また、模擬論文、模擬面接を繰り返し行い、採用試験に対応できるようにする。なお、毎回一般常識、漢字にかかわる課題が出るので、その課題を次の授業までにきっちりこなしていくことが求められる。							
教科書	なし						
参考書	適宜紹介する						
担当者からのメッセージ	公務員試験に合格したいという熱意を持って受講すること。また、毎回の課題はきっちりと取り組むとが大切である。短い期間なので集中して学ぶこと。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	次回の授業の冒頭に、課題について解説をし回収する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	積極的に学ぼうとしているかを評価する				
	小テスト	40	毎回実施する小テストで、学んだことを理解しているかを評価する				
	定期試験						
	レポート						
	その他	40	模擬テストを実施し、学んだことを理解しているかを評価する				
自由記載							
オフィスアワー	久米研究室 火曜日 12時15分～12時50分（事前に連絡をください） 松村研究室 火曜日 12時15分～12時50分（事前に連絡をください）						
担当教員E-mail	h-kume@sumire.ac.jp（久米） m-matumura@sumire.ac.jp（松村）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 基礎学力の確認	久米 松村	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
2 /	判断推理1 命題、集合、発言	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
3 /	判断推理2 対応関係、試合、順序関係	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
4 /	判断推理3 暗号、規則性、方角、経路、平面図形、空間 図形	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
5 /	数的推理1 計算、数列、損益算、金銭算	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
6 /	数的推理2 金銭算、料金割引、年齢算	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
7 /	・専門試験についての概要 ・模擬専門試験	松村	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
8 /	数的推理3 速さ、仕事算、水槽算	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
9 /	数的推理4 旅人算、通過算、流水算	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
10 /	数的推理5 濃度算	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
11 /	・実技試験についての概要 ・模擬実技試験	松村	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
12 /	数的推理6 場合の数 確率	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
13 /	数的推理7 角度、平面図形、空間図形	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習 面接の予習	100
14 /	・面接試験についての概要 ・模擬面接試験	松村	講義と演習	面接の自主練習 (様々な質問の回答を考えて おく)	100
15 /	論文対策	松村	講義と演習	論文の完成	100
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
専門演習 I	松村 都子(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar I							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・絵本や言葉遊び、手遊び等を、なぜ子どもが喜ぶのか、その魅力や教材観を探ろうとする。 ・児童文化財を通して「言葉」に関心を持ち、言葉の育ちが学びを支え人との関わりを豊かにすることを理解する。 ・グループワークの中で、自分の学びや考えを表現することができる。							
授業の内容 保育現場での実践経験を踏まえた授業を行う。 絵本や言葉遊び、手遊び等を子どもは喜ぶ。これら児童文化財は、主な保育の活動に成ることは少ないが、子どもの生活や遊びにしっかりと浸透し、うれしさや楽しさを共にし悲しみや切なさを支え、日常を豊かにしてくれる。 授業では、児童文化財の魅力や保育実践における教材観について考える。そのことを通して、「言葉」を介して子どもが育つことについて学んでいく。 グループワークでの語り合い(自分の意見を話し他者の考えを聞くことから考えをまとめる)を大事にするとともに、言葉に関する制作をする。							
教科書	なし						
参考書	授業の中で提示する。						
担当者からのメッセージ	いろいろな児童文化財に出会い、絵本リストの作成や簡単な制作をしながら、保育者になった時の自分自身の“ひきだし”にたくさんさんの保育のヒントを詰め込みましょう！ グループワークを中心に授業をします。自分の考えや思い、自分のよさ（もち味や得意）を発揮し、積極的な姿勢を期待します。それぞれの学生が主体的に、計画的に、そして協同的に学びを進めていきましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	絵本リスト作成や振り返りシート等、定期的に点検し指導をします。丁寧な記述を求めます。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	主体的、計画的に、協同して授業に参加できたか				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	30	振り返りシート、絵本リスト等課題の提出				
	その他	30	まとめの評価				
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受けることを基本に、メールで日程調整し教員研究室でも受け付ける。						
担当教員E-mail	m-matumura@sumire.ac.jp (松村)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション (自己紹介・専門演習の進め方について) テーマについて考える	松村	講義・グループ討議	授業記録	60
2 /	絵本を考える “知識を深める” ビブリオトーク&バトル	松村	講義・演習・グループワーク	絵本リスト作成 授業記録と次週の授業の準備	60
3 /	絵本を考える “感性を磨く”～『おおきなかぶ』から～ ビブリオトーク&バトル	松村	講義・演習・グループワーク	絵本リスト作成 授業記録と次週の授業の準備	60
4 /	絵本を考える ～図書館司書さんとの出会い～ ビブリオトーク&バトル	松村	講義・演習・グループワーク	絵本リスト作成 授業記録と次週の授業の準備	60
5 /	言葉とあそぼう 言葉遊びのいろいろ	松村	演習・グループワーク	絵本リスト作成 授業記録と次週の授業の準備	60
6 /	言葉とあそぼう スリーヒントかるたの制作	松村	演習・グループワーク	絵本リスト作成 授業記録と次週の授業の準備	60
7 /	言葉とあそぼう [まとめ]	松村	講義・演習・グループワーク	絵本リスト作成 授業記録と次週の授業の準備	60
8 /	手遊び(うた遊び)をあそぼう 手遊び(うた遊び)のいろいろ	松村	演習・グループワーク	絵本リスト作成 授業記録と次週の授業の準備	60
9 /	手遊び(うた遊び)をあそぼう 手遊び(うた遊び)の展開	松村	演習・グループワーク	絵本リスト作成 授業記録と次週の授業の準備	60
10 /	手遊び(うた遊び)をあそぼう 手遊び(うた遊び)の展開 簡単ペーパーサート制作	松村	演習・グループワーク	絵本リスト作成 授業記録と次週の授業の準備	60
11 /	手遊び(うた遊び)をあそぼう [まとめ]	松村	講義・演習・グループワーク	絵本リスト作成 授業記録と次週の授業の準備	60
12 /	保育実践に向けて 絵本リストの紹介と読み聞かせ	松村	演習・グループワーク	絵本リスト作成 授業記録と次週の授業の準備	60
13 /	保育実践に向けて	松村	演習・グループワーク	絵本リスト作成 授業記録と次週の授業の準備	60
14 /	保育実践に向けて	松村	演習・グループワーク	絵本リスト作成 授業記録と次週の授業の準備	60
15 /	前期の総括 [まとめ] 後期に向けて	松村	講義・演習・グループワーク	絵本リスト作成 授業記録	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
専門演習Ⅱ	松村 都子(専 任)	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar Ⅱ							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・専門演習Ⅰで習得した知識・技能を生かして、劇ごっこ（お話づくり）について考えることができる。 ・言葉を交わす中にお話が生まれる過程を知ることを通して、子どもの発達や保育の内容を理解し、幼児期の劇ごっこを構想することができる。 ・専門演習Ⅰの学びや考案した人形劇をまとまりとして企画し、発信できる。							
授業の内容 幼児期後期の子どもが展開する劇ごっこについて、専門演習Ⅰの学びを生かしながら考察していく。 指人形を制作し、お話づくりから劇ごっこへの展開を演習する中で、子どもの発達や保育内容を学んでいく。実際の現場の劇遊びを知る機会や協同で考案した人形劇を外部に発表する機会を設けていく。							
教科書	なし						
参考書	授業内で提示する						
担当者からのメッセージ	子どもの遊びとしての劇ごっこは、大人のイメージする演劇とは違ったものです。言葉を交わして遊ぶ延長線上にあるお話づくりや劇ごっこについて学んでいくことから、保育現場の劇遊びの内容についてもお話しします。人形劇をつくっていきますので、制作やお話づくり、劇場づくり等、それぞれが主体的、計画的に、協同して進めていこうとする態度や課題提出の期限を守ること、積極的な取り組みを期待します。自己の持ち味を生かし、アイデアを出し合いながら、生き生きとした言語表現活動を楽しみましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	制作から発表までの計画に基づき進めていくことができているかを個別に、またグループとして確認します。活動の記録、振り返りシートを定期的に点検し、指導します。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	主体的、計画的に、協同して授業に参加できたか				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	30	振り返りシート、協同の取り組み課題の期限や提出				
	その他	30	まとめの評価				
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受けることを基本とし、メールで日程調整後、教員研究室でも受け付ける。						
担当教員E-mail	m-matumura@sumire.ac.jp（松村）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発達と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 専門演習Ⅰから後期へのつながり 研究計画作成	松村	講義・グループ討議	研究計画の作成 授業記録と次週の活動の準備	60
2 /	指人形制作	松村	講義・グループワーク	授業記録と次週の活動の準備	60
3 /	指人形制作	松村	講義・グループワーク	授業記録と次週の活動の準備	60
4 /	劇ごっこ～お話が生まれる～	松村	講義・演習・グループワーク	授業記録と次週の活動の準備	60
5 /	人形劇に向けて グループ分け お話づくり	松村	演習・グループワーク	授業記録と次週の活動の準備	60
6 /	人形劇に向けて お話づくり	松村	演習・グループワーク	授業記録と次週の活動の準備	60
7 /	人形劇に向けて 劇場づくり	松村	演習・グループワーク	授業記録と次週の活動の準備	60
8 /	人形劇に向けて 演出の効果の工夫(小道具・音響)	松村	演習・グループワーク	授業記録と次週の活動の準備	60
9 /	中間まとめ 専門演習Ⅰを生かす工夫	松村	講義・グループワーク	授業記録と次週の活動の準備	60
10 /	人形劇の発表に向けて(まとめとして) リハーサル	松村	演習・グループワーク	授業記録と次週の活動の準備	60
11 /	人形劇の発表と意見交換	松村	講義・演習・グループワーク	授業記録と次週の活動の準備	60
12 /	人形劇の発表の見直し	松村	講義・演習・グループワーク	授業記録と次週の活動の準備	60
13 /	発表会Ⅰ	松村	講義・演習	授業記録と次週の活動の準備	60
14 /	発表会Ⅱ(動画)	松村	講義・演習	授業記録と次週の活動の準備	60
15 /	総括(まとめ) 今後に向けて	松村	講義・グループワーク	授業記録	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
レクリエーション演習 (幼教)	山中 博史(専 任)	2年次	前期	1	演習	-	○
							実務経験
Exercise Recreation							
資格等取得との関連	レクリエーション・インストラクター資格の必修						
授業の到達目標 ・レクリエーション活動のねらい、ルールを理解し、技術を身につける。 ・活動内容を理解し提供（支援・指導）できる能力をつける。							
授業の内容 1 回生で受講したレクリエーション概論をベースに、レクリエーションインストラクターの資格取得に必要なレクリエーション種目を演習する。レクリエーション活動のねらい、ルールを理解し、技術を身につけることを目的とする。それと同時に活動の内容を理解し提供する（支援指導する）ことができるようにする。 なお本演習はレクリエーション・インストラクター資格取得の必修科目である。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	本演習で学んだことを後期のレクリエーション指導法実習で、幼児の指導に生かして欲しい。受講態度は、積極的に演習に取り組んでいるかで評価します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	必要に応じて、フィードバックを行い、最後の試験に対応できるようにする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	70	演習に積極的に取り組んでいるかを評価する				
	小テスト	30	各種目の理解度を確認するために実施する				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	体育研究室 火・水・木・金曜日 16時30分～18時						
担当教員E-mail	hyamanaka@sumire.ac.jp (山中)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP4) 【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	体操 (ウォーミングアップ・導入の遊び)	山中	演習	演習内容をまとめる	90
2 /	体操 (クールダウンを含めた体ほぐし)	山中	演習	演習内容をまとめる	90
3 /	鬼ごっこ	山中	演習	演習内容をまとめる	90
4 /	かけっこ	山中	演習	演習内容をまとめる	90
5 /	マットを使った遊び	山中	演習	演習内容をまとめる	90
6 /	縄を使った遊び	山中	演習	演習内容をまとめる	90
7 /	ボール遊び (サッカーを中心に)	山中	演習	演習内容をまとめる	90
8 /	ターゲットバードゴルフ	山中	演習	演習内容をまとめる	90
9 /	フライングディスク	山中	演習	演習内容をまとめる	90
10 /	キャッチングザスティック・バンブーダンス	山中	演習	演習内容をまとめる	90
11 /	サツマイモの苗植え	山中	演習	演習内容をまとめる	90
12 /	ペタンク	山中	演習	演習内容をまとめる	90
13 /	インディアカ	山中	演習	演習内容をまとめる	90
14 /	ウォークラリー	山中	演習	演習内容をまとめる	90
15 /	ふりかえり・試験	山中	講義	講義内容をまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
レクリエーション指導法実習 (幼教)	山中 博史(専 任)	2年次	後期	1	実習	-	○
							実務経験
Coaching Method of Recreation							
資格等取得との関連	レクリエーション・インストラクター資格の必修						
授業の到達目標 ・附属幼稚園の園児を対象に遊びの支援、指導を行う。 ・支援力、指導力を高める。							
授業の内容 レクリエーション概論、レクリエーション演習で学んだことをもとに、本学附属幼稚園の協力を得て、実際に園児を対象に指導の補助、そして指導を行う。 また、学外での事業に参加してレクリエーション支援の現場でのレクリエーション活動、レクリエーション提供を体験する。 なお本実習はレクリエーションインストラクター資格取得の必修科目である。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	附属幼稚園の協力得て実際に幼児を対象に「遊び」の指導を行う。安全面では十分に配慮してもらいたい。 日本レクリエーション協会や滋賀県レクリエーション協会の主催する学外での行事に参加者やスタッフとして参加する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	毎回の演習の中で必要に応じてフィードバックを行う。 課題としてレポートを提出をしてもらうこともある。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	80	実習に積極的に取り組んでいるかを評価する				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	20	実習を振り返り、レポートを提出する				
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	体育研究室 火・水・木・金曜日 16時30分～18時						
担当教員E-mail	hyamanaka@sumire.ac.jp (山中)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ガイダンス 附属幼稚園との関わりの説明 園児の指導について注意事項の説明	山中	講義	実施要項の理解	90
2 /	附属幼稚園児の指導補助(トランポリン・巧 技台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
3 /	附属幼稚園児の指導補助(トランポリン・巧 技台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
4 /	附属幼稚園児の指導補助(トランポリン・巧 技台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
5 /	附属幼稚園児の指導補助(トランポリン・巧 技台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
6 /	附属幼稚園児の指導補助(トランポリン・巧 技台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
7 /	附属幼稚園児の指導(トランポリン・巧技台・ ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
8 /	附属幼稚園児の指導(トランポリン・巧技台・ ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
9 /	附属幼稚園児の指導(トランポリン・巧技台・ ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
10 /	附属幼稚園児の指導(トランポリン・巧技台・ ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
11 /	附属幼稚園児の指導(トランポリン・巧技台・ ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
12 /	附属幼稚園児の指導(トランポリン・巧技台・ ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
13 /	レクリエーションスポーツ大会参加	山中	学外実習	実習内容を振り返る	90
14 /	レイカディアフェスティバル参加	山中	学外実習	実習内容を振り返る	90
15 /	ふりかえり・レポート作成	山中	講義	今までを振り返りレポート作 成	90
/					